

第六十四回
帝國議會
貴族院

米穀統制法案特別委員會議事速記録第四號

昭和八年三月十五日(水曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會イ
タシマス、前會ニ引續イテ質問ヲ致シタイ
ト思ヒマス

○松本眞平君 政府委員ニ承リタイト思ヒ
マスガ、御示シニナリマシタ米穀ノ生産費
調査ノ事例ニ依リマスト云フト、一石當リ
生産費額ガ二十圓八十七錢ト自作農及小作
農ガナッテ居リマスガ、是ハ段當リドレ位
ノ收穫ヲ基本ト致シタノデアリマスカ、其
點ヲ先ヅ伺ッテ見タイ

○政府委員(荷見安君) 此御手許ニ差上ゲ
マシタ生産費調査ノ事例ハ、是マデ昭和七
年ニ調査イタシマシタ米穀生産費ノ調査
ノ、農家ノ中ノ自作農小作農一戸ヅ、ヲ例
ニ取リマシタノデ、ソレヲ只今米穀生産費
トシテ米穀法ノ基準價格ニナッテ居リマス
二十圓八十六錢ニ近イモノガ欲シイト云フ
ノデ、其近イモノヲ千三十戸ノ中デ見付ケ
マシテ、石當リ二十圓八十七錢ト云フノガ
出テ居ッタノデ、ソレヲ拾ッテ參リマシタ、
唯段當リノ收穫ガ何程カト云フコトハ、一
ツノ農家ニ付キマシテハ、チョット只今手

許ニアリマセヌノデ申上ゲ兼ネマスガ、全
體ノ農林省デ昭和七年ニ調査イタシマシタ
自作農家ノ段當リ收穫ノ平均ハ此處ニ持ッ
テ居リマスカラ、ソレハ申上ゲラレルト云
フ譯ニナリマス、ソレデ農林省調査ニ依リ
マスル、農家一戸ノ段當リ生産收量ハ二石
四斗七合ト云フコトニナッテ居リマス
○松本眞平君 ソレハ何處ニ載ッテ居リマ
スカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ差上ゲタモ
ノニハ書イテアリマセヌノデ、唯生産費ノ
費目別ノ事例ヲ一ツ二ツ示セト云フノデ審
議ノ際ニ差上ゲタ材料ヲ、其儘差上ゲタノ
デアリマス

○松本眞平君 サウ致シマスルト云フト、
此二十圓八十七錢ト云フ基礎ハ、大體ニ於
テ段當リ二石四斗七合位ノ收穫ヲ基本トナ
シタト云フコトニ承知イタシテ宜シウゴザ
イマスカ

○政府委員(荷見安君) 農林省デ昭和七年
ニ基準價格ヲ作成スルニ米穀生産費調査ヲ
致シマシタ際ノ自作農家ノ段當リ收量ハ、
平均ガ二石四斗七合ニナッテ居リマス
○松本眞平君 左様イタシマスルト云フト、

此御配付ニナリマシタ米穀要覽ノ九頁ノ表
ニ依リマスルト云フト、段當リ收量ガ一番
シマヒガ一石八斗五升四合トナッテ居リマ
ス、勿論是ニハ陸稻モ入ッテ居リマスガ、
要スルニ全耕地面積ト收穫トノ比較ニ於テ
ハ、恐ラクハ一石九斗前後デアラウト私ハ
想像ヲ致シマス、二石四斗七合取レルト云
フ平均指數デ生産費ヲ計算イタシタノト、
一石九斗前後ニ依ッテ生産費ヲ計算スルノ
トハ大分相違ヲ來シマスノデ、私共ハ全國ノ
平均段當リ收穫ノ一石九斗ヲ標準トシテ生
産費ヲ計算スルコトガ妥當デハアルマイカ
ト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマスノデ、此
點ニ付テ一應御話ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 其點ニ付テ申上ゲ
マスガ、此「米穀要覽」ニアリマスル只今御
話ノ數字ハ、全國ノ作付面積……栽培面積
カラ割出シマシタ段當リ收量デ、中ニハ不
作地デーツモ取レヌト云フヤウナモノモ含
ンダ全部ノ平均ニナリマスカラ、相當低イ
モノニナリ得ルト思ヒマスガ、私共ガ生産
費調査ヲ致シテ居リマスル調査農家ハ、大
體ニ於テ主ナ米產地ニ於キマスル最モ普及
シタ品種ヲ栽培スル經營ノ中等ナ農家デゴ

ト、其標準ヲドレ位ニ置クカ、非常ニムツカシイコトニナリマスカラ、大體出來ルダケ中等ト云フ所デ餘リ收穫ノ多過ギルト云フモノヲ選ンデハ只今御話ノヤウナ結局收穫量が過分ナモノヲ取ルト云フコトニナリマスカラ、是ハ不適當ト云フ考デ實行イタシテ居ル譯デアリマス

○松本眞平君 御話ノ通り、帝國農會ノ調べ其他ノコトモ存ジテ居リマス、御話ノ通りデアリマス、デアリマスルガ、私ハソコニ根本的ナ、或ハ意見ガ相違シマスカ知レマセヌケレドモ、中農或ハ小農、自作農ト云フヤウナモノ、アナタ方が見タ適當ナモノトシテノ御調べハ正ニ其通りデアラウト思ヒマスルケレドモ、併シ内地一般ニ對シテ價格ノ統制ヲシヤウ、全國到ル所カラ出來タ米ノ統制ヲシヤウ、其生産費ヲ見ルト云フ場合ニ於テハ、私ハ農林省ノ御示シニナル米穀要覽ニ記載シテアル總テノ段歩ニ依ッテ全收穫ヲ割ッテ得タ即チ總平均數ト云フモノヲ基礎ニスルコトガ當然デハアルマイカ、斯ウ云フ議論ナンデスガ、其點ニ付テ私ハドウモ、全國ノ米價ノ統制ヲスルノデアリマスルカラ、或ハ不作地モアラウシ、收量ノ豐饒ナ地モアラウ、或ハソコニハ精農モアラウシ惰農モアラウケレドモ、

要スルニ此平均指數ト云フモノヲ取ッテ、

ソレデ全國ノ米價ノ生産ノ基礎ニスルト云フコトガ、私ハヨリ合理的デハアルマイカト斯ウ云フ風ニ考ヘマスノデ、アナタ方ノ御考ト少シク基礎ノ上ニ相違ガアル、併シ此基礎ノ上ノ相違ト云フコトハ、二石四斗七合ニ對スル私共一石九斗位ヲ考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、サウ致シマスルト云フト、生産費ノ上ニ於テ約二割モ相違ガアルノデ、二十圓八十七錢ト云フモノハ、私共ガ考ヘルヤウナ意味合カラスルト、恐ラクハ二十四圓ナリ五圓ニモナルト云フヤウナ計算ガ出マスノデ、是ハ非常ニ大ナル影響ヲ來スト思フノデアリマスルガ、其邊ニ付キマシテハ御考ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御話ノ點モ

考ヘラレルコトデハアルト思ヒマスガ、大體生産費調査ヲ致シマスと云フノハ、農家ノ實際生産シマスルニ、ドレ位ノ費用ガ要ルカト云フコトヲ精密ニ調べマシテ、其平均ヲ取ルコトガ一番確カナ方法デアリマシテ、此一石八斗五升四合ト云フ全國ノ段當平均收量ト云フモノヲ用ヒマスとスレバ、ソレニ投ジマシタ生産費モ亦、相當動カナケレバナラヌモノデハナカラウカ、勞力ノ關係ニ於キマシテモ、或ハ使用イタシマ

シタ土地ノ資本利子或ハ小作料等ノ關係ニ於キマシテモ、餘程劣等ナ土地迄モ含ムノデアリマスカラ、結局此平均一石當リノ生産費ヲ出シマス爲ニ、割ル方ノ數ハ少クナルノデアリマスガ、割ラレル方ノ數モ亦少クナッテ參リマスカラ、實際出シマシタ生産費ヲ此平均數ヨリ割リマシテハ、ドウモ工合ガ惡イヤウニ考ヘルノデアリマスガ……

○松本眞平君 ソコハ結局見解ノ相違ト云フコトデアリマスガ、割ラレル方ノ數字モ成程相違ハアリマスケレドモ、私共全國ノ米價ヲ統制スル生産費ヲ出スト云フヤウナ意味合カラ言フト、ドウシテモ是ハ全部ノ平均指數ニ依ルト云フコトガ、合理的デヤアルマイカ、其結果トシテ成程肥料代、或ハ其他ニ於テモ相違ガアルカモ知レマセヌ、相違ガアルカモ知レナイケレドモ、此平均ノ一石八斗何升ト云フモノト、アナタ方ノ御調査ノ基礎デアアル二石四斗七合ト云フモノハ、非常ニ相違ガアル、二割以上モ相違ガアルト云フコトニナルト、ドウモ是ハ大分基礎ニ影響ヲ來スモノデヤアリマスマイカト思フノデアリマスガ、私共マア聞イテ居リマス所ニ依ルト云フト、ドウモ此農林省ノ調査ガ中庸ノ農家トカ云フヤウナコトヲ言ッテモ、マアドウシテモ精農デモナケ

レバ十分ナ材料モ得ラレナイシ、旁、兎角

精農ノ方ノ基礎調査ガ基準ニナッテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスルノデ、果シテ此數字ヲ承ッテ見ルト云フト、一方ニハ一石八斗何升ト云フモノガ出デ居ル一方ナタ方ノ方ノ基礎ハ二石四斗七合ト云フヤウナコトデアッテ、ドウモ此點ハ私ハ平均指數ノ方ヘ是正ヲナサル方ガ、ヨリ合理的デモアルシ、ト云フヤウナ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、外ノ委員諸君ニモ亦、之ニ付テハ色々御意見モアラウト思ハレマスガ、一ツ生産費ヲ出ス基準ヲ何處ニ取ルカト云フコトニ付テハ、尙ホ殘サレタル問題トシテ、ドウゾ御考慮ヲ戴キタイト斯ウ思ヒマス、ソレカラモウ一ツ生産費ニ關聯ヲ致シタ問題デアリマスガ、第二ノ問題トシテハ、此利潤ト云フ問題デ、此第一回ニ私チヨット其問題ニ觸レタノデアリマスルガ、ドウモ私共、如何ナル種類ノ營業ヲシテモ、兎ニ角政府ガ買上ゲルトカ、或ハ或ル補償ヲスルトカ云フモノノ中ニハ、生産費ト云フ數字ニ利潤ヲ加ヘルト云フコトガ適當デハアルマイカ、此程大臣ノ御説明ニ依リマスト云フト、生産費ノ中ニハ利潤ハ入ラヌト云フノデ、勿論私ハ生産費ノ中ニ利潤ヲ加ヘルト云フ意味デヤナイノデ、生産費「プ

ラス「利潤ト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル、何カ之ニ對シテハ騰ル時ガアルカラ、其時ニ利潤ガアルデヤナイカト云フ御説明デアッ
タヤウニモ思ヒマスガ、尙ホ其點ニ付テハ、十分私了解ニ苦ミマス點ガアリマスル
ノデ、生産費「プラス」利潤ト云フモノヲ以テ、最低買上價格ト爲サル御意思ハアリマ
セヌカドウカ、更ニ一應承リタイト思ヒマス

公定スル時ノコトヲ頭ニ入レマシテ始終話
ガ出テ來ルヤウニ思フノデスガ、生産費、
物價其他ヲ參酌シテ茲ニ最低價格ト云フモ
ノヲ決メマシテモ、御承知ノ通り生産費ト
云フモノハ中庸ノ生産費カラ現ハレルノデ
アリマスカラ、モウ其生産費デ買ハレテ、
ソレデモマダ利潤ガ得ラレナイ、生産費ノ
高イ所デハサウ云フ境遇ノ所ガ出來マス、
其代リニ又約半數ノ米ト云フモノハ、ソレ
デ決メテソレデ利潤ヲ得ルコトニナッテ居
リマス、總テ此生産費ヲ押ヘテ、ソレカ
ラ一定ノ利潤ヲ附加ヘル、ソレ以上デハ其
米ヲ賣ラセナイノダ、斯ウ云フ隨分田畑ニ
付テサウ云フ風ニシテヤル制度デモアリマ
スレバ……專賣ト云フヤウナ問題ヲ考ヘル
時ニナルト、利潤ト云フ問題ハ或ル程度迄
這入テ來ルト思ヒマススケレドモ、今日ノヤ
ウニ最高最低ノ幅ヲ決メテ參リマス時分ニ
ハ、其最低價格ヲ決メル時ニ利潤ノ觀念ヲ
入レルト云フコトハ、非常ニ條理ニ合ハナ
イコトニナリマセウ、若シ入レルトスル
ト、ソレ以上ニハモウ米ノ價ヲ騰ゲテハイ
ケナイノダト云フ反面ノ論理ヲドウシテモ
喚起ス結果ニナルノデハナイカ、ト斯ウ云
フ風ニ思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) サウ云フ意思ハ
ゴザイマセヌ、デ利潤ヲ加ヘテ價格ヲ公定
スルト云フ場合ハ、價格ヲ一本ニ公定スル
時ナラバ起ルト思ヒマス、詰リモウソレ以
上騰ルコトハ米ニ對シテハ許サナイ、何圓
何十何錢ト賣ルニモ買フニモソレデ行クト
云フヤウナコトデアル場合ナラバ、利潤ト
云フ觀念ガ這入テ來ナケレバナラヌト思
ヒマスガ、米ノ値段ニ幅ヲ持タセテ置キマ
ス時ニハ、利潤ト云フ觀念ヲ入レテ其公定
ヲスルト云フコトハ、非常ニ不條理ノコ
トニナルト思フノデアリマスガ、若シ利潤
ト云フ觀念ヲ入レルナラバ、米ノ値段ヲソ
レ以上ニハ賣ラセナイ、サウ云フコトニナ
レバ利潤ト云フ觀念モ來ルノダ、能ク利潤
ト云フモノガ這入テ來ナイト價格ヲ公定
スルコトハ不都合デハナイカト云フ議論ガ
出マスガ、價格公定ト云フコトハ、一本デ

○松本眞平君 御話モ至極御尤ノ點モアラ
ウト思ヒマス、要スルニ生産費「プラス」利
潤ト云フ觀念ハ、御話ノ通り價格一本ト云
フコトデアリマスレバ、モウ是ハ當然這入
ラザルヲ得ナイ問題デアラウト思ヒマス、
併ナガラ現在ノ生産費ト云フヤウナ御調ベ
ノ立前カラ云ッテ、若シ生産費、政府ノ所謂
生産費ニ近イ所ノ數字ヲ以テ、農家ガ假ニ
全部買上ゲラレタト云フヤウナ場合ニ於テ
ハ、農家ノ生活狀態ト云フモノハ是ハモウ
想像ニ餘リアル程度デアラウト思ヒマス
ル、是等ニ付テハ政府ノ方デハ、最高最低
ト云フモノガアッテ騰リ得ルノデアッテ、下
ヲ押ヘルノデアアルカラト云フコトデハアリ
マスケレドモ、私共ココ數年間モ狀況ヲ見
又後デ私ハ臺灣米ノコトヲ承リタイト思ヒ
マスガ、此臺灣米等ノ非常ナル増産、非常
ナル壓迫ト云フヤウナコトヲ考ヘマスルト
云フト、米價ト云フモノハ先ヅドウシテモ
最低價格ノ附近ヲ常ニ往來スルノデハアル
マイカ、斯様ニ考ヘマス、又季節的ノ調節
等モアリマススケレドモ、矢張り主モニ小作
若クハ中以下ノ小農ノ大部分ハ、此出來秋
ニ賣ル、出來秋ノ相場ト云フモノハ、先ヅ
最低價格近イモノ、若クハ或ハ政府ノ色々
ナ御取扱ニ面倒等ガアレバ最低以下ニデモ
下ッテ居ルヤウナ場合ニ、大部分中小農ト云

フモノガ賣放スヤウナ機會ニ到來スルノデ
ハアルマイカ、左様ナコトニナルト云フト、
農家ト云フモノノ利潤ト云フモノハ全ク見
出スコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ相成ラウ
斯ウ云フ風ニモ私ハ考ヘマス、成程利潤ト
云フモノヲ考ヘル場合ニ於テ、價格一本ト
云フコトデナケレバト云フヤウナコトモ、
御議論トシテハ成程左様ナ説モアリマス
ガ、併ナガラ一本デナクトモ、出來得レバ
是ハ價格ヲ一本ニデモ決メレバ尙ホ理想デ
アラウトモ思ヒマスデスガ、假令一本デナ
イトシテモ、政府ガ最低値段ヲ決メルト云フ
場合ニ於テ、利潤ト云フ觀念ヲ全部デナク
テモソコハ織込ムト云フコトハ、私ハ決シ
テ不合理ナ問題デハナカラウト斯ウ考ヘル
ノデアリマス、尙マア最高最低ト云フコト
ニ付テハ、一體政府ハ此幅ヲ餘程廣ク考
ヘテ居リマスノデスカ、狹ク考ヘテ居リマ
スカ、其邊ハ承ルコトガ出來マスデスカ
○國務大臣(後藤文夫君) 是ハ前ニモ申上
ゲマシタガ、相當ノ幅ガ出來ルモノト考ヘ
テ居リマスガ、狹クシヤウトカ廣クシヤウ
トカ云フヤウナ考ハ無イノデス、若シ此法
律ノ定ムル所ニ依ッテ自然ニ幅ヲ推シテ、
大凡最低ガ付クノデアリマス、生産費ト物
價其他ノ經濟事情ヲ見マスノト、一方ハ生

計費其他ノ物價等ノ經濟事情ヲ見ルノト、生産費カラ……生計費カラ割出シタ米價ト云フモノハ數字デ參リマス、尤モソレガ今ノヤウナ外ノ事情ニ依ッテ修正サレマスケレドモ……ソレデ非常ナ不作デモアリマスト、生産費ハ非常ニ高クナル、サウシテ家計費ノ狀況ハチヨットモ變ラヌトシマスト、サウ云フ時ニハ最低米價ガ上ッテ、上ノ方ハチヨットモ動カナイカラシテ、幅ガ稍、狭クナルト云フ時ガアリマス、ソレカラ又其反對ノ場合ニハ稍、廣クナルト云フ時モアルダラウト思ヒマス、凡ソドノ位ニナルカト云フコトハ、具體的ノ數字ハ勿論申セナイノデス、唯過去ヘ米穀法ノ實施ニ於テドンナモノガ出テ居ルカト云フコトナラバ御話ガ出來マス、ソレナラバ大體推測ガ出來ルト思ヒマス、今生産費デ以テ基準ヲ決メテ二十圓八十何錢ガ今出テ居リマス、家計費カラ割出シタ米價ト云フモノガ……

○松本眞平君 其家計費ト云フモノハ幾ラニナッテ居リマス

○國務大臣(後藤文夫君) 家計費ハ尙ホ是ハ御質問ガアルコトト思ッテ居リマスケレドモ、家計費カラ出タモノハ是ハ今確信ヲ以ッテ申セナイノデス、家計費ヲ以テ米價ヲ調ベタト云フコトハ、去年初メテ一回ヤッ

テハ見タケレドモ、家計費ノ調ベハ出來テ居リマスケレドモ、ソレ等家計費ニ基イタ米價ト云フモノヲ幾ラニ割出シタ宜イカト云フ確信ノアル數字ハ出テ居リマセヌ、稍、三十圓位ナ數字ヲ一應作ッテハ居リマス、併シ是ハマダチットモ確信ヲ持ッテ數字デハアリマセヌ、殊ニ家計費カラ出シタ米價ト云フモノヲ、直チニ此米穀法ノ新制度ノ施行ト共ニ用ヒ得ルト云フ見込ヲマダ持ッテ居リマセヌノデス、家計費カラ米價ヲ割出スト云フ問題ハ、非常ニムヅカシイ問題デス

○松本眞平君 更ニ此利潤ト云フ問題ニ關シマスルノデスガ、私共モ一體米價ガ一本ニナレバソレハ理想的デアルト考ヘルノデアリマスガ、併シ左様ニ參ラヌト云フコトデス様ナ統制案ガ出タノデアリマスルカラ、利潤ト云フ問題ニ付テハ、ドウモ議論ノ根柢ハ十分デハナイノデアリマスガ、併ナガラ上値ハ上値トシテ、下値ヲ或ル程度マデ上ゲテ、所謂生産費ヲ或ル程度マデ上ゲテ、ソコデ其幅ガ縮マルト云フヤウナコトデアル以上ハ、一向ソレハ差支ナイノデス、其生産費……現在ノ農家ノ疲弊困憊ダトカ何ト云フヤウナ狀況ハ、全ク生産費ト云フヤウナモノノ基礎ガ、農林省方面ノ調査ト云フモノハ何時モ低イ結果ヲ來ス、

其關係上或ハ率勢米價ナドト云フヤウナモノニシテ見マシタ所ガ、我ミガ普通考ヘテ居ル標準カラ申スト云フト、如何ニモ低イノデアッテ、私共ハ是非生産費ト云フモノヲ或ル程度迄ニ、合理的ニハ十分之ヲ上ゲル必要ガアルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、一本デナケレバ利潤ヲ見ルコトハ不合理ダトハ、私ハ言ヒ得マイト思フ、假令一本デナクテモ、政府ガ或ル値ト或ル値ノ上値ト云フモノト下値ト云フモノヲ抑ヘテ、其中ヘ追込マウト云フ以上ハ、此

生産費ニ向ッテ或ル種ノ農家ノ利潤ト云フモノヲ加ヘルト云フコトヲ考慮サレテモ、一ツモ不合理デハナカラウ、況ヤ此高クナル時ガアルカラ宜イデヤナイカ、其他ノ利益ガアルデヤナイカト云フヤウナコトハ、全ク農家ト云フヤウナ職業ヲ驅ッテ先ヅ投機ノ對象物ニデモスルヤウナ意味合モアリマスノデ、隨分天災地變、其他已ムヲ得ザル事柄ガ一方ニアルノデアルカラ、私共ノ理想トシテハ、相當ノ利潤ガアッテ、或ル値段ガ如何ナル場合デモ一本デアアルノハ宜イト思フノデアリマスケレドモ、併シ是ハ此統制案ニ於テハ、利益ノ方ハ幾ラデモ與ヘルノデアルカラト、斯ウ云フヤウナマア御議論ニナルノデアリマス、ソコノ所

ニハ多少相違モアリマスルガ、要スルニ公定ニ依ッテ其利潤ヲ農家ニ得サセヤウト云フ、ソレガ利潤デアアルカラ宜イデヤナイカト云フヤウナ議論ハ、チヨット無理デアラウカト斯ウ考ヘマスノデス、併シ是ハマアドウモ意見ノ相違デアルト云フコトデアレバ是モ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) イヤ意見ノ相違

デハナイヤウニ思フノデス、先キカラノコトハ……モウ一ツ私モ申シタイト思ッテ居タノデスガ、先キノ米穀調査ノ生産費ノ調べ方ニ付テノ御議論ハ、意見ノ相違デヤナイノデス、私トノ話ノ意見ノ相違デヤナイ、ガドウモ御考ガチヨット私ハ分リ兼ねルノデス、私共何モ農家ニ利潤ヲ得サセタクナイト云フ意味デハアリマセヌノデス、利潤ヲ大イニ得サセタイノデアリマスガ、併シ斯ウ云フ制度デ行キマスルト、生産費ニ利潤ヲ加ヘテ行クト云フコトガドウシテモ考ヘラレヌコトニナルノデ、モット斯ウ云フ米價統制法デハイカヌノダ、專賣制度デモ布ケ、農家ガ例ヘバ米ガ二十五圓ト云フコトニナッテソレデ宜イノダ、ソレカラモウ上ラナクッテモ宜シイノダ、ト云フヤウナ立前ヲ取ルト、國家ガ全部ノ米ヲ專賣ノヤウニ、或ル一定ノ値段ヲ以テ買上ゲ、或ル一定ノ

値段ヲ賣ルト云フヤウデ制度ニナレバ、御話ノ

ヤウナモノニナッテ來ルト思フノデスケレド

モ、矢張り米ヲ一種ノ自由商品トシテ賣ラセル

此一般ノ日本ノ今ノ經濟組織ノ中デ、其仕

組ヲ壞サヌデノ働キトシマス、此利潤ヲ

入レテ見タイト云フ御希望ニハ非常ニ私同

情申上ゲルノデスケレドモ、ドウモ入レル

譯ニ行カナクナル

○松本眞平君 ソコガ私共ト考ガ違フ、是

ハ全然私共ハ自由商品デアルトハ認メテ居

リマセヌ、幾分カノソコニ……成程專賣法

ノ如キ或ル一定ノ値段ニ定メラレタモノデ

アルト同様ニハ考ヘナイ、考ヘナイケレド

モ、是ハ全然自由商品デアルトハ考ヘナ

イ、政府ガ或ル程度ノ上下ノ範圍ヲ限定シ

テ置イテソレヲ統制シヤウト云フコトニ

依ッテ、自由商品タル自由ヲ束縛シテ居ル

モノデアアル、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス

○國務大臣(後藤文夫君) 束縛ヲシテ居ラ

ナイノデス、取引ハ自由ナンデス、誰ニ賣ッ

チャイカヌトカ何トカ言ッテ居ラナイノデ

ス、唯政府ガ經濟ノ資力ヲ以テ一定ノ値幅

ヲ公定シテ置イテ、公定ノ中ヘ追込マウト

云フ努力ヲシテ居ルト云フコトデス

○松本眞平君 併シ上値、下値ハアナタ方

ノ方ガ押ヘテ居ルト云フコトハ事實デス、

價格ニ於テハ……

○國務大臣(後藤文夫君) 價格ニ於テハ押

ヘルノデス

○松本眞平君 ダカラ價格ニ於テ押ヘテ居

ルノデスカラ全然自由ト云フコトハナイ

○國務大臣(後藤文夫君) 經濟的ニハ全ク

放任シテ居ルノト違ヒマスガ、詰リソレダ

カラ利潤ト云フ觀念ガ最低價格ヘ這入ッテ

來ルト云フ譯ニハドウモ行カヌノデス

○松本眞平君 ソレダカラソコニ幾ラカ

「コムベンセーション」ヲ與ヘルノデアルト、

斯ウ云フ意味デス私ハ……

○國務大臣(後藤文夫君) マア御意見ノ相

違デモナイヤウニ思ヒマスガ、又別ノ機會

ニユックリ御話イタシマス

○松本眞平君 其話ハマア長クナルヤウデ

スカラ……モウ一ツ私ハ承リタイ、是ハ米

穀ノ統制ヲ致シマスニ付テハ、米穀ノ検査

ヲ國營ニスルガ便宜デアラウト私共思ヒマ

スガ、現在ノ政府ノ御考デハ、是ハ米穀ノ

検査ト云フモノハ現在通り進ムト云フ御考

デアリマスノデスカ、其點ヲ一度……

○國務大臣(後藤文夫君) 現在通りデ此際

ハ進ムト云フ考デ居リマス、國營検査ノコ

トニ付テモ隨分ノ併セテ研究ヲ致シマシ

タガ、中ニハ大變ナコトニナルノデアリ

マス、實情ニ直チニ適セナイ、唯統制ト云

フ上カラノ便利ヲノミ主ニシタ國營検査ヲ

一氣ニ行フト云フコトガ、果シテ今日ノ農

家ノ爲ニ、又米ノ取引ノ上カラ言ッテ便利

デアルカドウカト云フコトニ、可ナリ疑問

ガアリマス、餘程考究シタ後デナイト……

併シ漸次統一シテ行キタイト云フ考ヲ持ッ

テ居リマス

○松本眞平君 ソコデ此米穀ノ統制ヲ私共

見マスルト云フト、國營デナケレバ十分ニ

ハウマク完璧ヲ期スルコトガ出來ヌト思ヒ

マスノデ、成ルベク検査ノ國營ヲサレルヤ

ウニ、又其時期ヲ早メルヤウニ希望ヲ致シ

テ置クノデアリマス、ソコデ私ハ此臺灣米

ニ對スル政府ノ統制ノ方法ヲ承ッテ見タイ

ト思フノデアリマスガ、現在臺灣、朝鮮米

ナドノ生産費ト云フモノハ、相當安イヤウ

ニ承知イタシテ居リマス、而モ朝鮮總督府

アタリノ獎勵ニ依ッテ非常ニ増産計畫等モ

アッテ、年々歳々非常ナ産額ノ増加ヲ來シ、

而モ一方ニハ段當リノ増加モスルト云フヤ

ウナコトデ、生産費ガ安ク、而モ非常ナル

増産ガアルト云フコトニ依ッテ、常ニ内地米

ヲ壓迫シテ居ルヤウニ私共考ヘテ居リマ

ス、此朝鮮、臺灣方面ニ對スル内地ノ米穀

統制トノ關係ハ如何ヤウナ風ニナッテ居リ

マスルノデスカ、此統制法ニ依リマスルト

云フト、第四條カニ極ク簡單ニ書イテアリ

マスルガ、此點ヲ一ツ御話ヲ承リタイト思

ヒマス

○政府委員(荷見安君) 申上ゲマスガ、米

穀統制法ノ立前カラ致シマス、只今御話

ノアリマシタ規定ガ朝鮮米臺灣米ニ對シマ

スル統制方法ニナリマスノデ、ソレハ朝鮮

米臺灣米ト云フモノガ内地ノ米價ヲ壓迫ス

ルコトハ、御話ノヤウナ生産費ノ安イ、ソ

レカラ移入サレマス數量モ多イト云フ事ガ

原因ノ一ツデハアリマスケレドモ、特ニ甚

シイノハ朝鮮米ノ出來秋ニ、内地ニ一度ニ

米ガ移入サレテ參ル、ソレデ丁度其時期ガ

内地米ノ出廻リ期ト一致イタシマス爲ニ、

米價ニ非常ニ惡影響ヲ來スト云フコトニナ

リマスノデ、其事ヲ法制ノ力ニ依ッテ經濟

的ニ統制シテ參リタイ、ソレニハ出廻リ數

量ヲ成ルケ平均的ニ致シマヌヤウニ、澤

山出マス時其過剩ニナルト認メラレル部分

ヲ買取リマシテ、出廻リ期以後ニ賣却スル

ト云フコトニシテ、所謂年内ニ季節的調節

ヲ致シマスト其事ニ役立ツダラウト云フノ

デ、此統制法ノ規定ハ出來テ居リマス、勿

論之ノミデ完全ヲ期スルト云フ譯ニハ參リ

マセヌカラ、米穀統制調査會等ニ於キマス

ル答申ノ次第モアリマシテ、朝鮮又ハ臺灣ニ於キマスル自治的ノ統制問題、ツマリ向ウデ商業倉庫ト農業倉庫ヲ設ケマシテ、其商業倉庫農業倉庫ニ米ヲ貯藏サセ、ソレヲ投資シマセズ濟ムヤウニ、低利資金ヲ融通イタシマシタリ、又ハ其他ノ補助金アタリモ出スト云フヤウナ事ヲシテ、賣控ヘヲサセルト云フ施設ヲスル、サウ云フ風ナ施設ト相俟チマシテ、此政府ノ買上賣拂ト云フコトモ作用シテ、朝鮮米ガ季節的ニ内地ノ米價ニ影響ヲ及ボシ、又朝鮮米價ニモ不利益ヲ來スト云フコトノ無イヤウニト云フ立前ニナッテ居リマス、御尋ノヤウニ此統制法ニ於キマシテハ、只今御話ノ通りノ規定ノミニナッテ居リマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) チョット申上ゲマスケレドモ、農林大臣ハ今チョット衆議院ノ方デ提案理由ヲ説明ニ行カレマシテ、直キニ參リマス

○松本眞平君 御話ノ點デノ質問ナンデゴザイマスガ、一體此朝鮮カラ參リマスル白米モ、矢張ニ米ト云フ意味合デ玄米同様考慮ニ入レテオヤリニナッテ居ルノダラウト思ヒマスルガ、其點ハドウデゴザイマスガ、又今ノ御話デ誠ニ朝鮮臺灣ノ方面トノ關係ガ適當ニ參レバ宜シイノデアリマスガ、何

シロ朝鮮臺灣ニ於テハ年々或ハ百萬石若クハ百五十萬石モ増加スルデアラウト思ヒマスルノデ、政府ガ成ルベクアチラデ買ヒ、季節的ニ適當ニ月別ニ移入スルト云フヤウナ事デモ、最初ノ一年、即チ昨年から今年位ニカケテハヤリ切レルカモ知レナイガ、現在ノヤウナ内地臺灣朝鮮ヲ通ジテノ供給過剩ト云フヤウナ形カラ見マスト云フト、一、二年經チマスト云フト、政府ノ方デモチョット買切レスト云フヤウナコトデモ出來ルヤウナ形ガアリハシナイカ、左様ナ場合ニ於テ、若シ朝鮮臺灣ヨリ内地デ必要ナル數量以外ノ移入ガアルヤウナ場合ニ於テハ、之ヲ阻止スルコトガ出來ルドウカ、阻止シタ場合ニ於テハ朝鮮及臺灣ニ於ケル米ハ之ヲドウスルカ、輸出ニ振向ケルト云フ御考デアルカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テ重ネテ御説明ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 第一ノ朝鮮カラ參リマス白米ヲドウ云フ風ナ積リデ統制スル見込デアルカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ御承知ノヤウニ朝鮮ニ於キマシテハ、精米業者ガ農民カラ直接ニ粳デ以テ安く買入ヲ致シマシテ、其粳ヲ玄米ニ直サズニ一息ニ白米ニ致シマシテ、安く内地ニ賣ッテ參リマス、ソレガ爲ニ朝鮮米ノ安イ白米ガ

内地ニ參リマシテ、内地米價ニ相當好クナイ影響ヲ與ヘテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデ、私共ガ季節調節ヲ致シマス時、粳ノ直接買入ト云フコトヲ實行イタシテ見タラバ宜カラウト云フ考デ、今回ノ季節調節デハ粳ノコトモ入レテ見タノデアリマスガ、内地ノ粳ノ買入ハ只今致シテ居リマセヌ、ソレハ保管上カラ申シマシテモ、隨分「セキ」ヲ要スル問題デ困リマスカラ、致シテ居リマセヌ、朝鮮ノ白米ハ御話ノヤウニ内地ノ米價ヲ壓迫イタシマスノデ、ソレヲ調節イタシマス爲ニ粳ノ買入ニ致シタラ宜カラウト云フノデ、粳ノ買入ヲスルコトニ致シマシタ、此粳ガ比較的高ク生産者カラ買ハレルト云フコトニナリマス

ト、ソレガ非常ニ安くコチラニ參リマシテ米價ヲ壓迫スルト云フ程度ガ、幾ラカ緩和サレルデハナイカト考ヘテ居リマス、但シ今年ハ始メテノ試ミデアリマシテ、又向ウニ適當ナ粳ノ検査ナドモ出來テ居リマセヌシ、買入モ餘程面倒デアリマシタノデ、成績ハ……大變粳ノ買入ノ數量ハ上ッテ居リマセヌ、段々ニソチラノ方ガ適當ニ參レバ宜クハナイカ、幾分力宜クハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ大體ノ總産額ノ御話デゴザイマスガ、是ガ今年明年ハ此

位ノ施設デ宜イカモ知レナイガ、先キニ行ッテ非常ニ生産額ガ増加シテ移入ノ數量ヲ増加シタラドウスルカト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、米穀統制調査會デモ色々御研究ガアリ、各委員ノ案ナドモアッタノデアリマスガ、大體ニ於キマシテ、内地朝鮮臺灣ヲ通ジテ生産ノ統制ト云フコトヲ計畫的ニ實行イタシタイ、ソレニ付テハ適當ナ委員會デモ拵ヘテ研究イタスヤウニト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此内地ニ於ケル米穀ノ需給數量推算額ト云フヤウナコトモ十分出來ルダケ念ヲ入レテ致シマシテ、此生産増殖計畫ト云フヤウナコトヲ止メルコトニ致シマセヌデモ、或ハ必要ガゴザイマスレバ消極的ニマア行ク、積極的ニ開墾ノ助成ト云フヤウナコトハ差控ヘルト云フヤウナコトニデモ、必要アレバ致シテ宜クハナイカト云フヤウナ空氣ガ大分アツタヤウニ承知シテ居リマス、併シは何レ委員會ヲ設ケマシテ研究スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、ドウ云フ風ニナリマスルカ、其結果ニ依ラスト分リマセヌガ、兎ニ角生産増殖計畫ト云フモノヲ計畫的ニ統制シヤウト云フコトニ御話合タケハナッテ居リマス

○松本眞平君 只今白米ノ御返答ヲ得タ

ノデアリマスガ、御承知ノ通り現在朝鮮米ト云フモノハ、玄米トシテハ餘リ内地米ト格差ガ付イテ居リマセヌガ、白米ニ致シマスト云フト、概カラ直グ白米ニスルト云フヤウナ關係デ、或ハ粗惡米ヲ白米トスレバ、先ヅ餘リ分ラヌト云フヤウナ關係カラ、朝鮮カラ這入ルモノガ假ニ七百萬石トスルト、其三百五十萬石、半數位ハ白米デ參ルト云フコトガ現狀デゴザイマスノデ、其玄米ト玄米トヲ比較スルト云フト格差ガ餘リ無イガ、白米ニナルトドウシテモ一圓五十錢以上ノ格安ナモノデ朝鮮米ガ這入ッテ來ルト云フヤウナコトデモアリマスシ、又臺灣米ニ於テハ、現在ニ於テモ矢張り一圓五十錢乃至二圓位ノ格差ヲ持ッテ居リマセヌヤウナノデ、ドウモ畢竟生産費ハ安イシ、増産計畫ハアルト云フヤウナコトデアリマスカラ、朝鮮臺灣米ト云フコトニ付テ十分ナル徹底的ナ政策ヲ御用ヒニナラヌト云フト、内地米ノ價格ヲ壓迫スルト云フコトハ、到底免レマイト思フ、只今御話ノ、朝鮮ノ増産計畫アタリハ幾分カ考慮スルト云フヤウナ御話デアッデ、要スルニ増産計畫ヲ中止スルノデハナイトシテモ、マア縮小ヲスル位ノ御話合ハ付イテ居ルカノ如キノ御口吻デアリマスノデ、無論ソレヲモ必要デアルカ

ハ知レマセヌガ、更ニソレ以上ニ相當ナル朝鮮臺灣ニ對シテ御考ヲ御用ヒニナラヌト云フト、是ハ到底内地米ノ價格ノ壓迫ト云フモノハ、年々歳々更ニ甚シキヲ加フルモノデハアルマイカト云フ風ニ私共考ヘルノデアリマス、或ハ嚴重ナル許可制デモ用ヒテ之ヲ統制ヲシ、一方ニハ朝鮮臺灣ニ於ケル過剩ハ之ヲ輸出スルト云フヤウナ程度ニ迄ノ統制ヲナサレル御考ガアルカドウカト云フヤウナ點モ、此機會ニ於テ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 只今御話ノヤウナ御議論ハ是マデモ相當有力ニ主張サレテ居ル御説デゴザイマスケレドモ、私共ハ只今デハ前御答申上ゲマシタヤウニ、此米穀統制法ノ規定ノ運用ト竝ニ朝鮮臺灣ニ於ケル自治的ナ統制ノ實行ト云フコトニ依ッテ、致シテ行クト云フダケシカ申上ゲル譯ニ參リマセヌ

○松本眞平君 私ハ是デ質問ヲ止メマス

○藤原銀次郎君 私ハ關聯シタ問題デ、政府委員ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、私ノ質問ハ大臣ガ後刻御出デニナリマシタ時ニ、改メテ申上ゲルコトニ致シマスガ、只今ノ松本サンカラノ御質問ニ付キマシテ、關聯シテ政府委員ニ御尋ネ致シタイノハ、

私共ノ考デハ、朝鮮臺灣及内地、斯ウ比較イタシマススト云フト、政府ハ生産費ヲ土臺ニシテ、サウシテ米ノ最高最低ノ値段ヲ決メテ、其間デ統制ヲシヤウト云フノガ此統制法ノ目的デアリマスガ、朝鮮臺灣ノ生産費ト内地ノ生産費トノ間ニハ非常ナ差ガアリマスコトハ、先刻松本サンノ御話ノ通りデアリマスガ、此朝鮮臺灣ノ生産費ノ安イモノト、内地ノ生産費ノ高イモノトヲ、同ジヤウナ計畫ノ下ニ之ヲ統制シヤウト云フヤウナ御話ノヤウニ承ッテ居リマス、今ノ質問應答ヲ伺フト、内地ノ生産費ノ方ガ高クテ、朝鮮臺灣ノ生産費ガ安イカラ、朝鮮臺灣ノ米ガ内地ニ續々來ルノデアリマスカラ、ダカラ之ヲ唯政府ガ買上ゲルト云フトダケデハ、此統制ノ目的ヲ達シナイト思ヒマス、其内地ノ最高最低ノ値段ハ、内地ノ生産費ニ依ッテ内地ノミノ生産費ヲ標準ニシテ御決メニナリマスガ、又ハ朝鮮臺灣ノ生産費ト内地ノ生産費ヲ、按分シテ、サウシテ其最高最低ノ値段ヲ御決メニナリマスノデアリマスガ、其邊ヲハキリト一ツ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 此生産費ノ調査ハ内地ダケニ付テ行ヒマス、ソレデ基準價格ノ最低價格ヲ決定イタシマスル時ニ用フル

生産費ハ、内地米ノ生産費ノミニ依ッテヤルコトニナッテ居リマス

○藤原銀次郎君 サウシマススト、其内地ノ生産費ト朝鮮臺灣ノ生産費ト生産費ガ違ヒマスカラ、其生産費ヲ基準トシテ米ヲ御買上ゲニナルトスレバ、内地ノ農民ハ一定ノ利潤サヘモ得ラレナイ、先刻松本サンノ御質問ニ依ルト、一定ノ利潤サヘモ得ラレナイ、漸ク生産費カツ／＼デ米ヲ賣買シナケレバナラヌ其時ニ當ッテ、朝鮮、臺灣ノ農民ハ非常ナ利益ヲ見テ米ヲ賣ル、斯ウ云フコトニナッテ此統制法ハ内地ノ農民ヲ壓迫シテ、サウシテ朝鮮、臺灣ノ農民ヲ援ケルト云フコトニナルト思ヒマスガ、其邊ハ如何デアリマスガ

○政府委員(荷見安君) ソレハ内地米ノミニ付テ公定價格ヲ見ル積リデ居リマスノデ、買入ヲ致シマスルノハ公定價格ノ最低價格ニ依ッテノ買入ハ内地米ノミ致シマス、季節調節ニ付キマシテハ、出廻リ數量ニ應ジマシテ、朝鮮米モ臺灣米モ内地米モ買ヒマスケレドモ、只今申上ゲマシタ公定價格ノ決定ニ用ヒマスル生産費ハ、内地米ノ生産費ヲヤリマスノデ、從ッテ公定價格ニ依ッテノ買入ヲ致ス必要ガ起リマシタ場合ハ、内地米ノミニ付テ買入ヲ行フト思ヒマス

○藤原銀次郎君 サウ致シマスト内地米ノ

ミ買入レテ朝鮮米ハ買入レニナラナケレバ、政府委員ノ御答辯ノ通りデ調節ガ出来マセウト思ヒマスガ、若シ朝鮮米ガ政府デハ御買上ゲニナラナイト云フコトハ是デ分リマシタケレドモ、大阪ナリ東京ナリ、ドン／＼朝鮮米ガ這入テ來レバ、ソレデ内地米ヲ壓迫シテ、内地米ノ値段ト云フモノガ下落スルト云フコトニナルト思ヒマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

○政府委員(荷見安君) 内地米ノ價格公定

ト云フコトヲ致シテ參リマス、買入ヲスル場合ハ内地米ガ買入レラレルコトハ、只今申上ゲタ通りデアリマスガ、朝鮮米ガ其間ニ非常ニ澤山ニ出テ來ルト云フコトニナッテハ適當デアリマセヌカラ、是ハ季節的ノ調節、ソレカラ自治的ノ調節ト云フコトニ依ッテ、餘リニ出テ來ナイヤウニ統制シテ行カウ、斯ウ云フ立前ニナッテ居リマス

○藤原銀次郎君 出テ來ナイヤウニ統制ス

ルト云フ御説ハ詰リ斯ウダラウト思ヒマス、要スルニ補助金ヲヤルトカ、買フトカ、色ミナコトデアリマセウト思ヒマスガ、何レニシテモ内地ノ米ノ値段ヲ高クシテ、朝鮮、臺灣ノ米ノ値段ハ、生産費ガ安イノデアリマスカラ、内地ノ生産費ノ方が高ケレバ、

朝鮮、臺灣ノ米ガ内地ニ來ルト云フコトハ

是ハ當然ノコトデアッテ、丁度水ガ高い所カラ低い所ニ流レルヤウニ、朝鮮、臺灣カラ内地ノ方ニ米ノ來ルコトハ當然ノコトデアッテ、政府ガ買ハフト買フマイト、政府ガ法律ヲ以テ移入ヲ禁止デモ爲サラナケレバ、朝鮮、臺灣ノ米ガ内地ニ來テ、内地ノ市場ヲ壓迫スルト云フコトハ、當然ノコトデア

ル、サウシマス、ツマリ私ガ先刻申上ゲタ

通りニ、内地ノ農民ハ一定ノ利潤スラモ得ラレナイ、然ルニ朝鮮、臺灣ノ農民ハ非常ナ利益ヲ得ラレル、斯ウ云フコトニ私ハナルト思ヒマスガ、サウ御覽ニナリマセヌカルカトモ思ヒマスガ、内地ノ米價ガ最低價格デ維持サレル時ニ、朝鮮米ガドン／＼出テ來ルト云フノハ、餘程内地ノ米價ヨリ安イカラ、御話ノヤウニ水ノ高キヨリ低キニ流レル如クニ出テ來ルノデアリマシテ、朝鮮米ガ相當利潤ヲ加ヘタ高い値ニ賣レルト云フコトニナリマス、高キカラ低キニ就クヤウニハナカ／＼出テ來ナイコトニナルノ

デハアルマイカ、斯ウ思ッテ居リマス、唯

幾分生産費ガ朝鮮ノ方ニ於ケル米ハ低い關係カラ致シマシテ、有利ニナル場合ハアルカモ知レマセヌケレドモ、サウ安賣ヲシテ

ドン／＼賣ッテハ來ナイダラウト思ヒマス、

相當ノ値デナケレバナカ／＼離サナイデハナイカト思ヒマス、ト云フノハ、朝鮮カラ出テ參リマスル米ニ付キマシテモ、是迄ノ經驗ニ依リマス、自ラ限度モゴザイマスノデ、サウ殘ラズコチラニ出テ來ルト云フコトハ困難デハナカラウカト、是ハ見込デアリマスガ考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 詰リサウスルト云フト、

朝鮮、臺灣ニ於ケル生産費ハ内地米ノ生産費ヨリ安イ、ソレカラ朝鮮、臺灣トノ間ノ運費諸掛リノ相違ヲ生産費カラ差引イタモノヨリモ、マダ朝鮮、臺灣ノ生産費ノ方ガ安ケレバ、私ガ申ス通りニ必ズ朝鮮、臺灣ノ農民ガ利潤ヲ得テ、内地ノ農民ハ苦ムコトニナルト思ヒマスガ、併シ是ハ政府委員ガ何ト御答辯ニナリマシテモ、サウナルベキ筈デアリマスカラシテ、茲デ論争ヲ致シマスコトハ避ケマシテ、何レ又色ミ機會モゴザイマセウカラ、更ニモウ一ツ進ンデ其點ニ關聯シテ御尋シタイト思ヒマスガ、私ハマダ統計上ノ數字ニ付テハヨク承知シテ居リマセヌガ、朝鮮ノ米ノ産額ハ只今ノ所一段當リ凡ソドノ位ゴザイマスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 朝鮮ノ政務總

監ガ見エテ居リマスカラ、政務總監……

○政府委員(今井田清徳君) 朝鮮ノ米ノ一

段當リノ産額ハ、玄米ト致シマシテ平均約一石デアリマス

○藤原銀次郎君 丁度政務總監ガ御出デゴ

ザイマスカラ、政務總監ニ御質問申上ゲタイト思ヒマスガ、朝鮮ニ於ケル米ノ生産費ハ一石凡ソ幾ラト御覽ニナッテ居リマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 朝鮮ニ於ケル

米ノ生産費ハ實ハ正確ナル調査ガナイノデアリマス、甚ダ申譯ナイ次第デアリマスルガ、今日マデ調べマシタ所デハ、各道デ僅カノ戸數ヲ取りマシテ、ソレニ依リマシテ調査シタモノデアリマスノデ、平均ノ正確ナル生産費ノ調べデナイヤウニ考ヘテ居リマス、ソレニ依リマス、チヨット今調べテ……

○藤原銀次郎君

ソレデハ御調査中ノ時間ヲ利用シテ、更ニ別ナ其問題ニ關聯シタ他

ノ問題ヲ承リタイト思ヒマス、朝鮮ノ米ノ生産高ハ一段ニ付テ一石、是ハ私共モ豫テ此位ノモノデアラウト云フコトヲ承ッテ居リマシタガ、内地ニ於ケル米ノ生産高ハ一段ニ付テ政府ノ御示シニナッテ居ル米穀要覽ニ依リマシテモ、一石八斗何ガシ、通常ニ申シマスルト云フト、約二石ト云フ風ニ

皆申シテ居リマスカラ、丁度先ヅ之ヲ極ク大雜把ニ申シテ、極ク簡單ニ分リ易ク申スト云フト、内地ハ約一石八斗、朝鮮ヨリ倍ノ生産高デアル、ソコデ是ガ問題ニナルノデアリマスガ、私ノ見ル所ニ依リマススト云フト、此農業ト云フモノハ、米ヲ作ルト云フコトハ、米作農業ト云フモノハ、大變ニ有利ナ農業……内地ニ於テハ有利ナ農業、デハアリマセヌケレドモ、朝鮮、臺灣ニ於テハ非常ナ有利ナ農業ニ今日ハナッテ参リマシタ、要スルニ米ノ値段ガ高クナツタカラ、先刻私ガ申ス通りニ、朝鮮臺灣ノ農民トシテハ非常ニ有利ナ農業ニナッテ参リマシタカラ、此農業ノ改良ト云フコトニ付テ、非常ニ農民ガ努力スルヤウニナツタ、又朝鮮總督府ニ於キマシテモ、非常ニ農事ノ改良ニ付テ御獎勵ニナッテ居ル、臺灣總督府モ亦然リ、ソレデ其灌溉用水ノ改良トカ、或ハ肥料ノ獎勵トカ、耕作ノ改良トカ云フヤウナコトデ、段々ニ農業ノ改良ヲ御ヤリニナッテ來テ、著シク影響ノアリマスノハ肥料ノ獎勵ト灌溉用水ノ改良ト兩方デアラウト思ヒマスガ、此結果毎年朝鮮デ農民ノ使ヒマス肥料ガ非常ニ急速力ニ殖エテ参リマシタノハ、是ガ即チ肥料ガ殖エテ來ルト云フコトハ、米ガ殖エテ來ルト云フコトニナル、デ

アルカラ年々米ノ増産ト云フモノガ非常ニ多クナッテ参リマシテ、終ヒニハ遠カラザル未來ニ於テ朝鮮ノ米ノ産額ガ只今一段一石ノモノガ、必ズ近キ將來ニ殆ド内地ト匹敵スルヤウニ是ハ殖エテ來ルト思ヒマス、耕作ノ段別ヲ殖ヤサナイデモ、今ノ段別ダケヲ耕ヤシテモ、是ガ倍ニナルグラウト思フ、況ヤ其外ニ色色ナ改良ヲ、或ハ増産計畫ノ御獎勵等ガアッテ、耕作ノ段別ヲ御殖ヤシニナルモノダカラ、加速度ニ非常ニ米ノ産額ト云フモノガ殖エテ來ル、サウスルト云フト、今日デサヘモ七百萬石トカ、一千萬石トカ云フヤウナ相當山ナ米ガ内地ニ參ッテ、内地米ヲ壓迫シテ居ルノデアリマシテ、今日ノ所デハ大阪ノヤウナ朝鮮ニ近キ大都市デハ、殆ド朝鮮米ヲ常食ニシテ居ルト云フヤウナ實況デアリマス、此次ニハ東京モ矢張り朝鮮米ヲ殆ド常食ニスルト云フヤウナコトニナッテ來テ、内地市場ヲ朝鮮米ガ非常ナ速力ヲ以テ壓迫スルト云フコトニ私ハナリヤセヌカト思フ、唯先刻政府委員ノ御説明ノ通りニ、増産計畫ヲ中止シテ行クトカ何トカ云フヤウナ、サウ云フ姑息の御手段ヲ御ヤリニナッテモ、一方ニ於テ農民ガ米ヲ作ルト云フコトハ朝鮮ノ農業トシテハ一番有利ナモノデアルト心得テ、肥料ヲ施シテ耕作ヲ改

良シテ、此一段ノ收穫ガ倍ニナルト云フコトニナツタナラバ、非常ニ朝鮮ノ農民ハ努力シテ來ルト思ヒマスガ、是ハ朝鮮ノ農民トシテハ有利ナコトデアリマシテ、我々ハ朝鮮ノ爲ニソレハ決シテ惡イコトト思ッテ居リマセヌ、朝鮮トシテハサウ云フ計畫ヲ御ヤリニナッテ朝鮮ノ農民ガ裕福ニナッテ利益ヲ得ルコトヲ私共ハ希望スル、是ハ國家トシテ國家的の見地カラ見テ非常ニ贊成スルコトデアリマスガ、同時ニ統制法ヲ以テ此内地ノ米價ヲ維持シヤウト云フ御計畫ヲ爲サイマス時ニハ、其朝鮮産米ガ斯ノ如ク増加シテ滔々ト洪水ノ流ルルガ如ク内地ニ移入スルト云フコトニナツタ時ニ、政府ハドウ云フ風ニ爲サイマスカト云フコトヲ承リタイ、今ノヤウナ御説明デ、其統制ガ維持ガ出來ルト云フ御考デゴザイマセウカ、ト斯ウ云フノデス、是ハ朝鮮總督府ニ伺フノデアリマセヌ、政府委員ニ伺ヒタイ

○政府委員(荷見安君) 生産統制計畫ト云フモノヲ將來實行スルト致シマシテモ、サウ云フコトデハ中々朝鮮ハ困難デアッテ、朝鮮ニ於テドン／＼肥料ヲ入レ、農事ヲ改良シテ米ヲ收穫スレバ、耕地面積ヲ擴張シナクテモ收穫ガ殖エルノデハナイカト云フ、斯ウ云フ御話ノヤウニ考ヘマス、是ハ朝鮮ニ於キマシテモ出來ルダケ肥料ヲ使ッテ多收穫ヲ計ルト云フコトニナリマスレバ、相當收穫ハ増加イクスコトト考ヘマス、併ナガラ肥料ヲ多量ニ用ヒルト云フコトニナレバ、其他ノ努力モ總テガ餘計ニ用ヒラレルコトニナッテ、初メテ生産額ガ増加スルコトト考ヘルノデアリマス、此生産費ハ安クテ收穫量ガドン／＼増スト云フ譯ニハ參ラヌノデヤナイカト考ヘマス、尤モ其效果ガドレ程ニナリマスカ、是ハ私共今カラ豫測スルコトハ困難デアリマスガ、相當程度ノ生産増殖計畫ノ統制ガ立チマシテ、其外ニ朝鮮總督府ニ於ケル移出ヲ平均的ナラシムル制度ガ立チマシテ、内地ニ於キマシテモ、統制法ノ働キト云フモノガ相當行ハレテ行ケバ、差當テハ適當ナル所ノ效果ヲ擧ゲ得ルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○政府委員(今井田清徳君) 先程御尋ノ生産費ノ御答ヲ致シマスガ、先程申シタ通りニ從來各道極ク少數ノ戸數ニ付テ調べタモノデアリマシテ、正確トハ申上ゲ兼ねマスガ、其調べニ依リマス、昭和元年カラ昭和六年度迄ノ……、此昭和六年ノ分ニ付キマシテハ全道ノ中二道ダケ調査ガ出來テ居ナイノデアリマス、ソレヲ除キマシテ、アトノ平

均ヲ見マスト云フト、米一石十圓四十一錢、而シテ是ハ極ク少數ノ農家ニ付キマシテ調査シタモノデアリマスルノデ、又其調査方法ガ完全デアルト申兼ネルノデアリマスガ、從テ非常ニ正確ニ朝鮮ノ一般ノ平均ノ生産費ヲ見ルモノトシテハ不完全ノモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ八年度ニ於キマシテハ今日ノ米穀需要等カラ考ヘマシテ、詳細ノ生産費ヲ調査スルノ必要ガアルト存ジマシテ、相當ノ經費ヲ計上イタシマシテ、正確ノ生産費ヲ調査イタスコトニ致シタノデアリマス

○藤原銀次郎君 只今ノ御説明デ能ク了解イタシマシタガ、粃一石ト云フコトデアリマシタガ、是ハ朝鮮デハ粃一石ハ玄米ニ致シマシテ、搗減リ何ボト見マシタナラバ、ドノ位ノ玄米ニナリマスモノデゴザイマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 玄米ニ致シマスルト、搗減リ迄見マシテ約倍位ニ見テ居リマス、生産費ト致シマシテ、十圓トスレバ玄米ニ換算スレバ二十圓、斯様ナ大體ノ見當ヲ付ケテ居リマス

○絲原武太郎君 關聯シテ私モ御問ヒ致シタイト思ヒマス、朝鮮、臺灣米ノ内地移入ニ付キマシテハ、屢、私ハ質問モ致シテ居リ

マス、殊ニ豫算總會デモチヨット御問ヒ申上ゲテ置キマシタカラ、質問ハ差控ヘテ居リマシタ、只今御兩人ノ方カラ御質問ニナリマシタ通り、是ハ極メテ内地ノ米穀統制ノ上ニ於キマシテ最重要ナルコトデ、殆ド私ハ是ガ議論ノ中心ニナリハシナイカト思フノデアリマス、屢、繰返シテ申シマシテ恐縮デゴザイマスガ、一體朝鮮、臺灣ノ兩地カラ從來米穀ガ移入シナカタ時ノ内地ノ米價ノ狀況ト、是ガ多量ニ移入シテ參リマスヤウニナリマシテカラノ米價ノ狀況、變動ノ狀況等ヲ見マス、朝鮮、臺灣ニ於キマシテ多額ナ増産計畫ガ實行セラレマシテ、内地ノ壓迫ト云フモノハ是ハ統計上ニ現ハレテ居リマスカラ、是ハモウ私ガ其點ハ申ス迄モナイコトデアリマス、此事ニ付キマシテ色々米穀委員會其他ニ於テモ論議セラレテ居リマシタガ、進ンデ生産統制ノ方マデ其議論ガ及ンデ居ルヤウデゴザイマス、只今政府委員カラ詳シク其事ニ付テモ御話ニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、今回ノ米穀統制案ヲ御立案ニナリマシタニ付キマシテハ、恐ラク私ハ進ンデ朝鮮米ト臺灣米ノ管理竝ニ内地ヘノ移入ハ、政府ニ於テ獨占的ニナサルモノト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ本法案ヲ見マスルト、或ハ出廻り期ニ

於テ季節的ニ控ヘサセルトカ、或ハ地方ニ於テ……地方ト申シマシテモ朝鮮、臺灣ニ於キマシテ貯藏ヲ獎勵シテ、季節ニ内地ヘ入ラスコトニスルトカ、極メテ微温的ナ統制ニナッテ居ルノハ、私ハ本案ノ最モ遺憾トシテ居ル所デアリマス、是ニ付キマシテ只今政府委員ノ方カラ御答ニナリマシタ所ヲ聽キマス、先ヅ是ニ依ッテ統制ガ出來得ルモノナリト云フヤウナ御考デ、政府ハアラセラレルヤウデゴザイマスルガ、私ハ斯様ナ程度ニ於キマシテハ、内地米ノ統制ハ、俗ニ申シマス木ニ縁テ魚ヲ求メルト云フヤウナコトニナリハシナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、私ノ御問ヒスル要點ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、臺灣朝鮮カラ移入イタシマスル米ヲ、政府ガ獨占的ニ之ヲ管理ヲナサルト云フコトニ付キマシテ御調査ニナッテ居リマスガ、一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 只今御尋デゴザイマスガ、朝鮮米、臺灣米ノ増殖ガ實行サレテ、其移入數量ガ相當増加サレテ參ッタコトガ、内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フコトハ、是ハ皆認メマスル所ナノデ、之ニ對シテドウ云フ方策ヲ執ルカト云フコトニ付キマシテハ、屢、色々ナ方カラ研究サレテ居リマス、殊ニ最近此統制法案ヲ立案イタシマスル元ノ米穀統制調査會ノ審議ノ中ニ於キマシテモ、或ハ朝鮮米ノ移入許可制度ヲ採ルトカ、或ハ朝鮮米ノ管理ヲ致シマス力、色々ナ案ガアリマシテ、色々ナ方面カラ十分御審議ガアッタノデゴザイマスルガ、只今ノ社會上經濟上ノ狀況ニ於キマシテハ、審議ヲ願ッテ居リマスル程度ノ經濟施設ニ依ル統制ト云フコトガ最モ適當デアラウ、斯ウ云フコトニ御認メニナリマシテ、ソレニ依ッテ案ヲ立テ、居ル次第デアリマシテ、其效果ト云フコトニ付キマシテハ、私共ト致シマシテハ、此統制法ガ實行サレ、又朝鮮臺灣ニ於ケル移出ノ調節ト云フコトガ行ハレマスナラバ、相當ノ效果ヲ擧ゲ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○絲原武太郎君 私ハ更ニ重ネテ御尋申上ゲルヤウデ恐縮デゴザイマスガ、若シ此米穀統制案ノ資金ヲ以チマシテ、大部分只今申上ゲマスヤウニ、臺灣竝ニ朝鮮米ノ管理的ニ此資金ヲ運用セラレマシテ、移入或ハ移入抑制ト云フコトヲナサレタナラバ、殆ド内地ニ於キマシテハ、自然放任トマデハ申シマセヌケレドモ、此法案ノ運用ノ範圍ハ非常ニ狹マデ來マシテ、結局其方ガ却テ私ハ米穀ノ統制ヲ自然的ニナサルコト

ニナルノデヤナイカト思フノデス、只今政府委員ノ御話デハ、相當此朝鮮ナリ臺灣ノ方ニ於キマシテモ、移出ノ統制ニ依ッテ之ヲ緩和サレト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、此朝鮮臺灣ヨリ内地ニ移出シマス米ノ統制ガ兩總督府ノ内ニ於テ相當出來得ルト云フ覺悟ガアリマスカ、是ハ出來マスレバ朝鮮總督府ノ方ノ御意見ヲ承テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(今井田清徳君) 現在ニ於キマシテハ、出來秋ニ一時數箇月ノ間ニ澤山ノ米ガ内地ニ殺到イタシマシテ、サウシテ内地ノ米價ニ相當ノ影響ヲ與ヘテ居ルヤウニ考ヘマス、是ガ一時ニ殺到シマセスデ、月別平均的ニ内地ニ移入シテ參ルト云フコトニナリマスレバ、内地ノ米價ニ及ボス影響モ比較的少ナルダラウトス様ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ見地カラ致シマシテ、今回ノ法律ニ於キマシテモ、月別平均ナラシムル爲ニ朝鮮米ヲ買上ゲルト云フコトニ相成ッテ居ルカト存ジマスガ、尙ホ其一時的殺到ヲ防止スル爲ニ、朝鮮内ニ於キマシテモ相當ノ施設ヲ致シタイト云フコトデ、目下手續中デアリマスルガ、其方法ニ依リマスルト、即チ成ルベク一時ニ殺到シナイヤウト、朝鮮内ニ米ヲ留メテ置キタイ、留メル

ニ付キマシテハ、之ヲ保管スル所ノ施設竝ニ保管中ニ於キマシテ之ニ對シテ資金ノ供給ト云フヤウナコトモ致シ、尙ホ貯藏ヲ獎勵スル方ニ付キマシテハ、或ル程度ノ貯藏獎勵金ヲ交付スルト云フヤウナ方法モ取リタイ、尙ホ其外ニ朝鮮内ニ於ケル米ノ消費ヲ成ルベク容易クスル、一體内地ハ澤山米ガ參リマスルガ、朝鮮人ノ生活程度ガ、消費ノ點カラ見マシテモ、内地ノ半額位シカ消費シテ居リマセス、食料トシマシテハ、其他ノ雜穀ヲ食ベテ、サウシテ米ヲ賣リマシテ漸ク生計ヲ立ッテ行クト云フ狀況ニア

ルノデアリマス、從テ成ルベク文化ノ進ムト共ニ、朝鮮ニ於ケル米ノ消費モ漸次増加シテ行クト云フヤウナ方法モ出來ルダケ早クシタイト云フヤウナコトデ、左様ナ方法ヲ取リタイト考ヘテ居リマス、斯様ナ方法ニ依リマシテ、内地ニ殺到スル米ヲ少クスル、又内地ニ參ル總數量ハ依然トシテ同ジデアリマシテモ、是ガ毎月平均的ニ來ルヤウニシタイ、斯様ナコトデ種々ノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマスガ、米穀法ノ運用、統制法ノ運用竝ニ我々ノ經濟的施設、此兩方相俟チマスレバ相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○絲原武太郎君 只今ノ御意見デ了承イタシマシタガ、私ハ附加ヘテ申上ゲマスガ、若シ此朝鮮米ノ内地移入ヲ出廻期ノ上デ抑制ヲスルト云フコトヲ完全ニ致シマスコトニナリマスレバ、ドウシテモ事實移出ヲ一時のニシマシテモ認可制度ニマデ進マナケレバ、此效果ハ甚ダ疑ハシイコトト思フノデアリマス、是ハ私ノ意見デアリマスカラ附加ヘテ申シテ置キマス、尙ホ續イテ先刻松本君カラ御質問ニナリマシテ御意見ガアリマシタ際ニ、私ハ關聯シテ矢張り同一ノヤウナ質問竝ニ意見ヲ申シテ置キタイト思ッテ居リマシタノデアリマスガ、米ノ生産費ノ問題デアリマス、松本君カラ申サレマシタヤウニ、政府ハ全國ニ於キマシテ千三十軒ノ農家ニ對シマシテ生産費ノ調査ヲ實行セラレテ居リマス、本年ノ豫算ヲ見マスト、之ヲ擴張シテ二千戸ノ調査ヲセラレルト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ必

要ナル農家ヲ選定シテ生産費ヲ算出スルト云フコトヲ目的トシタイト云フ御説明ノヤウニ了解イタシテ居リマスガ、茲デ一番大切ナル生産費中最モ問題ノ起リマスコトハ、收穫量ト云フコトガ又問題ニナルノデアリマス、此點ハ松本君ト全然私ハ同意見デアリマス、政府ノ方ノ御説明デ見マスルト、二石四斗七合ヲ以テ、此現在ノ生産費ヲ算出スルニハ此收穫量ニセラルルヤウニ伺ッテ居ルノデゴザイマスガ、一方……只今御質問モゴザイマシタガ、農林省ノ調査ノ發表ニ依リマス、一石九斗弱ト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、而シテ大體カラ見マスルト、一般ノ田畑ノ收穫數量ノ少イ所ガ却テ生産費ハ多ク掛カル、手數ガ多ク掛ル、從テ此點カラ申シマスルト、今申シマシタヤウニ、政府ノ方カラ申サレマス所ノ中庸生産費ト云フコトニ付テ、甚ダ茲ニ疑ヲ存スルコトニナリマス、又是ガ生産費ニ對シマシテ非常ナ全國ニ相違ガ生ズルコトニナルト思ヒマス、之ニ依リマシテ此全國平均ニ一段歩ノ收穫モ一石九斗ト云フヤウニ見マシタ方ガ、私ハ適當デヤナイカト思フノデアリマス、其點ニ付キマシテ政府當局ハ如何ナル御考デゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御質問ハ生

産費ノ算出ニ用ヒマスル段當リノ收穫量ヲ、全國平均ノ段當リノ收穫量ヲ用ヒタナラバドウカト云フヤウナ御話ノヤウニ考ヘマスガ、其點ニ付キマシテハ先キニ申上デマシタヤウニ、大體我ミノ立前ハ、現實ノ生産費ヲ調査イタシマシテ其平均ニ依ッテ標準ヲ立テヤウト云フコトニ致シテ居リマスノデ、御話ノヤウニ全國平均ノ段當リノ收穫量ヲ用ヒテ算出スルコトハ非常ニ困難デアリマス、尤モ生産費調査ト云フモノガ十分年ヲ重ネテ參リマスル中ニ、或ハ肥料代、或ハ勞賃、農舍費、農具費ト云フヤウナモノハ、石當リノ生産費ノ中ニ占ムル割合ガドレ位デアルカト云フコトモ、統計的ニ略、一定ノ標準ヲ得ラレルト云フコトニナリマスト云フト、サウ云フモノノ價格ノ上下或ハ勞賃ノ異動ト云フヤウナモノカラ、指數等ニ依ッテ算出スレバ、餘程廣イ範圍ニ及ボスコトガ出來ルカト思ヒマスガ、只今マデハサウ云フ風ナ指數ヲ取ルマデノ調査ハ、勿論年所ガ淺イノデ出來テ居リマセヌノデ、現實ノ生産費ヲ調べテ其現實ノ生産費ニ依ッテ基準ヲ立テテ行クト云フ外ニ方法ガナイヤウニ考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 以上ハ兩委員ノ御質問ニ關聯シマシテ質問イタシタノデゴザイマスガ、更ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、朝鮮ノ今後ノ米産ニ付テ總督府ノ増産ノ御方針……所謂耕地擴張又ハ整理ニ依ル増收ヲ致シマスモ、或ハ耕地改良ニ依ッテ自然的ニ増收シマスモノ、又ハ耕地ノ増加ヲ圖ルトカ云フヤウナコトニ付キマシテノ總督府ノ御方針ヲ大體承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(今井田清徳君) 朝鮮ニ於キマシテハ、御承知ノ通り數年來朝鮮ノ經濟資力ノ増進並ニ帝國ノ食料政策ノ見地カラ産米増殖計畫ヲ立テテ、年々是等ノ計畫ノ實施ヲ致シテ參ッタノデアリマス、今日米穀政策ト云フ問題ガ斯様ニ喧シイ問題ニナリマシタ爲ニ、或ハ産米増殖計畫ヲ打切ッタルドウカト云フヤウナ議論モアルノデアリマス、併ナガラ帝國ノ食料ノ前途ヲ考ヘテ見マスレバ、今直チニ此産米増殖計畫ヲ打切ルベキ時期デハナイノデヤナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ産米増殖計畫ヲ立テマシタ當時ニ於キマシテハ、相當米價ガ高イ價格ヲ維持シテ居ッタノデアリマス、其米價ヲ標準トシマシテ計畫ヲ立テマシタノデ、今日米價ガ下落シテ參リマスレバ、其計畫ト云フモノハ收支償ハナイ、或ル意味ニ於キマシテ實行甚ダ

容易ナラザル状態ニ相成ッタノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、其當時ニ於キマシテハ、粳ガ一石十二圓ト云フ價格ヲ維持スレバ計算ガ立ツヤウニ計畫ヲ立テタノデアリマスガ、今日ニ於キマシテハ、左様ナ計畫ハ到底維持出來ナイノデアリマス、當初ノ計畫ト云フモノハ、今日ニ於キマシテハ、非常ニ經營困難ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ狀況カラ致シマシテ、此一二二年ニ於キマシテハ、此計畫ハ豫定通り實行出來ナイト云フコトニナッタノデアリマス、從ッテ豫定ニ比ベマシテ、今日デハ此計畫ト云フモノハ甚ダ少クシカ出來ナイト云フ實況デアリマスカラシテ、當初豫定イタシマシタ通りノ計畫ノ實行並ニ之ニ伴フ米ノ増殖ト云フモノハ、今日ニ於キマシテハ出來ナイノデアリマス、偶朝鮮米ノ増産ガ問題ニナリマシタノデアリマスガ、米價ノ關係上自然其計畫モ亦縮少スルノ結果ニ立ッテ居リマス、之ヲ將來如何様ニスルカト云フト、只今申シマシタ通り、今日ニ於テ直チニ計畫ヲ打切ルベキ時期デハ必シモナカラウト思ヒマス、併ナガラ今日ノ實狀カラ見マシテ、又米穀政策ノ見地カラ、及ビ朝鮮ノ此産米増殖計畫ノ當時ノ關係カラ見マシテ、今日以上ニ特ニ獎勵シ

テ之ヲ擴張スベキ時期デモナイヤウニ考ヘテ居リマス、實際上ニ於キマシテ十分ニ計畫通りニ實行出來ナイ、又多少手控ヘマスガ、實際ニ於テ非常ニ手控ヘラシテ居リマスガ、ソレ以上ニ手控ラスル程度デ暫クノ時期ヲ見テ、サウシテ將來ノ計畫ヲ立テタガ適當デヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ總督府ニ於キマシテ、朝鮮米ノ經濟的統制並ニ生産制限ト云フ方面ニ付キマシテ、今日ニ於テ相當考究スル必要アリト認メマシテ、既ニ是等ノ點ニ付キマシテ研究スベキ機關ヲ設ケマシテ、朝鮮内ノ各方面ノ有力者ノ人々ヲ選ンデ委員會ヲ組織シマシテ、經濟的統制並ニ生産的統制ト云フ方面ニ目下研究中デアリマス、今日ニ於キマシテハ斯様ナ情勢ニ相成ッテ居リマス、直チニ産米増殖計畫ヲ打切ルト云フコト迄ハ尙ホ考ヘ及ンデ居ナイ次第デアリマ

○絲原武太郎君 モウ一ツ伺ヒマス、從來總督府ニ於キマシテ計畫ニナッテ居リマシタ朝鮮米ノ最終ノ増收ノ想定數量ハ、ドウ云フ目標ノ下ニ増産計畫ガ行ハレテ居ッタノデアリマスカ

○政府委員(今井田清徳君) 産米増殖計畫ニ依リマシテ増收シ得ル額ガ、最終完成後

ニ於キマシテ約八百萬石、斯様ニ豫定イタシテ居リタリマス

○絲原武太郎君 更ニ進ンデ承リタイト思ヒマスガ、昨年ノ朝鮮收穫量ハ何程デアリマシタカ

○政府委員(今井田清徳君) 千六百十四萬石ト存ジテ居リマスガ、尙ホ正確ナ數字ハ後程調べマシテ申上ゲマス

○藤原銀次郎君 今ノ絲原サンノ御質問ニ關聯イタシマシテ、私カラ朝鮮總督府ニ御要求ヲ申上ゲタイト思ヒマスノハ、先刻來ノ質問應答デ御承知ノ通りニ、此朝鮮米ト云フモノト、ソレカラ内地米トノ關係ガ、非常ニ重大ナ問題ニナッテ參リマシテ、是ガ此統制法ノ一ツノ根幹トナルヤウナ非常ニ重大問題トナッテ居ルノデアリマスカラ、甚ダ御迷惑デ恐入リマスケレドモ、此最近十年位、若クハ我ミガ今政府カラ頂戴シテ居ル數字ハ大正十年カラニナッテ居リマスカラ、大正十年カラデ宜シウゴザイマスガ、米作ノ段別ト、大正十年カラ今日ニ至ル、最近デ宜シウゴザイマス、即チ七年度デモ宜シウゴザイマスシ、已ムヲ得ナケレバ六年度デモ宜シウゴザイマスガ、大正十年カラ最近ニ至ル米作ノ段別、及生産高、ソレカラシテ朝鮮ニ於テ消費シタ高ト内地其

他へ移出シタ高ト云フ此數字ヲ、最近ノ機會ニ此處へ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(今井田清徳君) 承知イタシマシタ

○政府委員(荷見安君) 今ノ藤原サンノ御尋デスガ、差當リマシテ御覽下サレタイト思ヒマスガ、朝鮮總督府カラ御出シニナルト、少シ違ヒガアレバ別デアリマスガ、米穀要覽ノ四十頁ノ所ニ今ノ御話ノモノガ出テ居リマスカラ……

○阪本彰之助君 少シ政府委員ニ御尋ネンテ見タイコトガゴザイマシタガ、午前中ニ政務總監ノ御出席ノ間ニ、臺灣ノ政府委員モ御出デニナッテ居ルヤウデスガ、チョットソレダケヲ伺ッテ見タイト思ヒマスガ、今、今井田政府委員ノ御陳述デ大體ハ了解イタシマシタガ、全體此米ノ增收獎勵ト云フコトハ、内地デモ米穀法ノ目カラ見ルト矛盾シテ居ル、頻ニ區畫整理トカ何トカ云ッテ米ヲ餘計取ルコトヲ勸メル、色ミナコトヲシテ其方ニハ手ヲ延バシテ居ル、サウシテ米ガ出來過ギテ安イカラ困ルト云ッテ金ヲ使ッテ買フト、甚シイ矛盾デアル、ソレヲ一向構ハズ、同ジ農林省ノ中デモ、一方デハ頻ニ勸メテ居ル、買フ方デハ難儀シテ誠ニ澤山ノ金ヲ使ッテ居ルト云フコトハ、内地デモ無

論ト存ジマスガ、殊ニ朝鮮臺灣ノ如キハ今ノ御話ノ方針折角御心配ニナッテ居ルト云フコトヲ聞イテ、大イニ喜ビマスル譯デアリマスガ、併シ此生産ハドノ方面カニ向ッテ獎勵シナケレバナラヌ、米ヲ今御調査中ト云フノデスカラドウナルカ分リマセヌガ、私共冀フ所ハ大抵米ナドハ御止メニナッテ、何カ他ノ方面ニ向ッテ御獎勵ニナリタイヤウニモ考ヘマスルガ、其邊ヲ……御調査中デアリマスレバ、此上ノ御答辯ハ出來ヌカモ存ジマセヌガ、朝鮮及臺灣ニ於テハ、臺灣ニ於テモ頻ニ米作ヲ御獎勵ニナル、嘉南大圳トカ申シテ數千萬圓ノ金ヲ使ッテ計畫ヲ御立テニナッテ居ル、此目的ヲ達スレバ大シタコトデゴザイマセウガ、是ハ日本ノ從來ノ仕來リデアッテ、決シテ朝鮮臺灣ガ惡イト申スノデハアリマセヌガ、勸メル方ハ頻ニ勸メテ、出來テ見レバ困ルト云フヤウナ、甚ダ矛盾ナルコトデアルト存ジマスルガ、内地ノコトハ別トシテ、朝鮮臺灣ニ於テハ、何カ此邊ニ付テハ斯ウ云フコトヲ獎勵シテ、此方面ニ仕事ヲ與ヘルトカ云フコトニ付テ御考ガゴザイマセヌカ、此際ニ承リタイト思ヒマス

○政府委員(今井田清徳君) 御答へ致シマスルガ、至極御話ノコトハ御尤ノコトデ、

左様ニ致シタイト考ヘテ居リマス、一體朝鮮人ハ米ヲ作ルコトヲ、ドウ申シテ宜シイカ非常ニ好ンデ米ヲ作りタガリマス、或ハ水ノ便ノ惡イ所マデ米ヲ作りマス、三年ニ一遍出來レバ宜イト云フヤウナ所迄ヤルト云フコトデアリマス、ソレカラ從來地方ニ依ッテ多少相違ガアリマスガ、主力ヲ米ニ注グ傾向ヲ持ッテ居リマスノデ、此爲ニ米作ノ不良ナル場合ニハ直チニ生活ニ困ルト云フヤウナ、農家ノ經營方法トシテモ米ノミニ主力ヲ注グ結果、農家ノ經營ニ困難ヲ感ズルト云フ狀況デ、今後ハ必シモ米バカリニ主力ヲ注グベキデハナイト考ヘテ居リマス、從テ他ノ方面ニ農家ノ努力ヲ向ケ經營ヲ轉換シテ行クト云フコトニ付キマシテ、特ニ考慮イタシテ居リマス、遽ニ大多數ノ者ヲ之ニ轉換スルコトハ困難デアリマスガ、一例ヲ申シマスレバ、從來棉ノ獎勵ニ付キマシテハ多少ノ施設ヲ致シテ參ッタノデアリマスガ、今日ノ狀況カラ見マシテ、特ニ斯様ナ方面ニモ力ヲ注グコトノ必要ヲ認メマシテ、實ハ明年デ豫算ニ其點ノ經費ヲ計上イタシマシテ、成ルベク棉作ノ方ニ出來ルダケ努力シ、米作トシテ不適當ナル土地ヲ轉換シタイト云フ方法モ取ッタノデアリマス、棉ノ獎勵ハ内地産業ト何等抵觸ス

ル所、ガナイ、謂ハバ國策上ノ必要ガアルノ
デアリマス、斯様ナ方面ニモ相當ニ力ヲ注
グ積リテ計畫イタシテ居リマス、其外滿洲
カラ粟ヲ多量ニ輸入イタシテ居リマスガ、
是モ出來ルダケ朝鮮内デ自給シタイト云フ
考カラ致シマシテ、粟ノ農産ノ獎勵或ハ馬
鈴薯、甘藷ノ獎勵ト云フヤウナ畑作ノ獎勵
モ致シテ居リマス、成ルベク米バカリニ主
力ヲ注ガズ、多角形ノ農業經營ヲ取ルヤウ
ニト云フノデ考慮イタシテ居ル次第デアリ
マス、ソレカラ先程藤原サンノ七年度ノ收
穫高ニ付キマシテ御答致シマシタガ、間違
テ居リマシテ、千六百四十三萬石、斯様ニ
相成ッテ居リマスカラ、訂正イタシテ置キマ
ス

○政府委員(平塚廣義君) 只今御質問ガゴ

ザイマシタ臺灣ノ狀況ニ付テ、大要申上ゲ
テ置キタイト思ヒマス、臺灣ニ於キマシテ
ハ増産計畫ト云フ、計畫ト致シマシテハ別
段無イノデアリマス、唯河川ノ整理、或ハ
只今御話ノアリマシタ嘉南大圳デアリマス
ルトカ、所謂水利組合ノ改修等ニ伴ヒマシ
テ、自然ノ增收ヲ見テ居ルノデアリマス、
又作物ノ作り方ノ改良ニ依リマシテ、既ニ
年々多少ノ増産ヲ見テ居ルヤウナ狀況デア
リマス、併シ所謂増産計畫ト云フ計畫ハ無

イノデアリマシテ、嘉南大圳ニ於キマシテ
ハ、三年輪作ト申シマシテ、砂糖、雜穀、
ソレカラ米ト、斯ウ三年代リ合ッテ輪作ヲ致
シテ居ルヤウナ狀態デ、是ハ水利ノ關係カラ
斯ウ致シテ居ルノデアリマス、是ハ只今ハ
モウ完成イタシテ居リマスルガ、昨年ノ總
體ノ收穫ト本年トノ收穫ヲ考ヘマシテモ、
餘リ多クノ差ガナクテ、非常ナ増産ヲスル
ト云フ狀態ニハ相成ッテ居ラスノデアリマ
ス、左様御承知ヲ願ッテ置キマス、唯臺灣ハ
御承知ノ通りマダ開墾ヲ致シマセヌ土地ガ
非常ニ多イノデアリマス、此方面ニ向ヒマ
シテハ、只今御質問ノゴザイマシタ如ク、
單ニ米ノ獎勵ヲスルト云フヤウナコトハ、
此際其當ヲ得タモノデハナイト考ヘテ居リ
マスルシ、又只今今井田政務總監カラ御説
明ノアリマシタ通り、内地ト互ニ提携ヲシ
テ、米ノ統制ト云フコトニ付キマシテハ十
分考慮イタシテ、相當ノ施設ヲ致シタイト、
斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、就
キマシテハ今後開墾ヲスル方面ニ向ッテ、如
何ナル方針デ進ムカト云フコトガ、最モ考
慮ヲ要スル點デアリマスルガ、此點ニ付キ
マシテハ、臺灣ニ於キマシテハ、幸ニ溫度
ノ關係、氣候風土ノ點ヨリ致シマシテ、所
謂天恵ガゴザイマスルノデ、或ハ「ラミー」

ノ獎勵デアリマスルツカ、「ヒマシ」油デア
リマスルトカ云フヤウナ、特殊植物ヲ増植
イタシマシテ、サウシテ一面ニ於キマシテ
ハ、日本全國ト致シマシテ極メテ必要ナル
是等ノ原料ヲ供スルト云フコトガ、適切ナ
ル方策デアラウト考ヘテ居リマスルノデ、
サウ云フ特殊作物、或ハ又藥草等ニ向ッテ
モ、尙ホ研究ヲ重ネマシテ進ンデ参リタイ、
獎勵シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次
第デアリマス、ソレヲ相伴ヒマシテ臺灣
ノ開發ヲ圖ル、斯ウ云フ方針デ進ム積リデ
ゴザイマス、一應之ダケヲ申上ゲテ置キマ
ス

○阪本鈺之助君 誠ニ當ヲ得タ御計畫デ喜

ビマスルガ、本省ノ政府委員ニ伺ヒマスル
ガ、臺灣米ハサウスルト朝鮮程ニハ輸入ガ
多クテ御困リニナルト云フヤウナ事實ハ無
イノデゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 此臺灣米ノ生産ハ、

御承知ノヤウニ二期ニ分レテ居リマシテ、
一ツハ暮カラ掛ケテ來ル糯等デアリマス、
ソレカラモウ一ツハ端境ニ近クナッテ出マ
ス米デアリマスノデ、二度ニ別レマス關係
上、朝鮮程ニハヒドクナイノデアリマスル
ケレドモ、併シソレデモ數量ガ餘計出マス
レバ困リマスカラ、相當ナ調節ヲ致シタイ

ト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○藤原銀次郎君 午後カラ此會ガゴザイマ
スカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開キマス

○藤原銀次郎君 サウスレバ臺灣ト朝鮮ト

ニ關係シタコトダケヲモウ一ツ本省ノ政府

委員ニ承リタイ、此米穀要覽ニ依リマス

云フト、大正十年ニハ臺灣米ガ約百萬石デ

ゴザイマスナ、約百萬石内地ヘ參ッテ居リ

マス、ソレガ昭和六年ニハ三百萬石ニナ

テ居ル、茲デ約十年間ニ三倍ニ至ッテ居ル、

朝鮮米ノ大正十年ニ三百二十萬石ノモノガ、

昭和六年ニハ八百六十一萬石ニナッテ居リ

マスカラ、是ハ三倍ヨリハ少シ少クナッテ

居リマスガ、約三倍近クニナッテ居ル、極ク

之ヲ大ザッパニ議論ノ仕易イヤウニ申シマ

スト云フト、約三倍近クニナッテ居ル、兩方

共約三倍近クニナッテ居リマスガ、之ヲ合セ

マスト云フト約千二百萬石、昭和六年ノ勘

定ニ致シマス、朝鮮ト臺灣ノ米ガ合セテ

千二百萬石弱デアリマスガ、内地ニ參ッテ

居リマス、此既往ノ趨勢カラ考ヘマスルト

云フト、今後五ヶ年間ニ又是ガ倍ニナッテ、

千二百萬石ガ五ヶ年間ニ二千四百萬石ニナ

ルモノト、既往ノ趨勢カラ見ルト考ヘナク

テハナラヌ、是ハ臺灣ガ天候ニ惠マレテニ

期作ガ取レル、朝鮮ガ先刻政務總監ノ御説明ニアリマシタ通りニ、朝鮮ノ道民ノ生活ノ程度ガ低イトカ、色ミナ事情ノ爲ニ米ノ生産ト云フモノハ、臺灣竝ニ朝鮮ニ於テハ、少クトモ内地ヨリ有利デアルト思ヒマス、有利デアルカラスノ如ク、澤山ノ米ガ出来テ、サウシテ澤山ノ米ガ内地ニ來ルノデアラウト思フノデアリマス、ダカラシテ私ハ是ハ朝鮮總督府ニ於テ今後非常ニ御獎勵ニナル、ナラナイニ拘ラズ、臺灣總督府ニ於テモ之ヲ御獎勵ヲ爲サル爲サラナイニ拘ラズ、此趨勢ト云フモノハ若干ノ期間ハドウシテモ繼續スルコトト思ヒマスカラ、サウスルト先ヅ既往ノ實蹟カラ之ヲ推シテ考ヘマス、今後五箇年間ニ是ガ千二百萬石内地ニ朝鮮臺灣カラ來ルノガ殖エテ、是ガ二千四百萬石ニ累計シテナル、サウスルトサウ云フ風デアッタトシタナラバ、ドウモ非常ニ先刻モ御話ノ通り、季節的ニ之ヲ買テ調節スルナドト云フコトヲ仰シヤッタ所ガ、季節的ニ之ヲ買フト云フノハ内地及朝鮮臺灣ヲ籠メテ約三百萬石ノ御豫定ニナッテ居ルノデアリマスガ、而モ此三百萬石モ農林大臣ノ御説明デハ、斯ウ數字ハ豫定シタダケレドモガ、買フンデヤナイ、見セ金ガ、使フンデヤナイ、見セルト

之ヲ使ハナクテモ大丈夫ダ、斯ウ云フ御説明デアッタガ、此數字トハ大變御説明ガ違フノデ、是ハ私ハ大臣ガ御出ニナッテ御説明ヲ承ッテモ宜イト思ヒマスガ、數字ノコトデアリマスカラ、政府委員カラ一ツ承リタイ

○政府委員(荷見安君) 大正十年ノ朝鮮カラノ移入額ハ、米穀要覽ノ四頁ノ所ニゴザイマスガ、二百九十萬石ニナッテ居リマス、ソレカラ臺灣カラノ移入額ハ百三萬石ニナッテ居リマス、デ只今御話ノアリマシタ昭和六年ハ、朝鮮カラ七百九十九萬石、臺灣カラハ二百六十九萬石ト云フ數字ニナッテ居リマスノデ……

○藤原銀次郎君 チョット御説明中恐入リマスガ、此表デハ大正十年ハ朝鮮カラ内地ヘ移出シタノハ三百二十萬石、昭和六年度ニハ八百六十一萬石ト書イテアリマス、アナタノ御説明トハ少シ違ヒマス

○政府委員(荷見安君) 私ノハ四頁ヲ申上ゲテ居リマス、只今申上ゲマシタノハ大正十年ノ數字デ四頁ノ表デアリマス、只今申上ゲマシタヤウナ數ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ六年ハ矢張り非常ナ多數ニ上ッテ居リマシテ、是ハ藤原サンガ御話ニナッテ數トハ違ヒマシテモ、大勢ニ於テハ

變リハナイノデアリマス、ソレハ六年ト云フノハ非常ナ大豐作デゴザイマシテ、五年產米ハ御承知ノ通りニ朝鮮ハ千九百十八萬石ト云フノデアリマシテ、平年ハ千六百萬石位ガ普通デアリマスガ、三百萬石餘計取レタ年柄ニナルノデアリマスノデ、是ハ只今申上ゲマシタ四頁ノ所ノ產額ヲ御覽下サレバ分リマス、朝鮮ノ方モ可ナリノ大增收デアッタノデアリマスガ、ソレ等ノ爲ニ可ナリ餘計ニ入ッテ居リマス、其コトハ併シ藤原サンノ本體ノ御質問ニハ餘リ關係ナイノデ、本體ノ御質問トシテ、數量ガ年々非常ニ増加スルノデアルガ、其増加スルモノヲ只今ノヤウナ施設デ以テ止メ得ルヤ否ヤト云フコトノ御質問ト考ヘマスガ、ソレデゴザイマス、私共ハ此統制法ニ依リマスル季節調節ノ問題、ソレカラ朝鮮、臺灣ニ於ケル移出調節ノ問題ト云フコトデ、相當ノ效果ハ擧ゲ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ季節調節ノ買入ハ約三百餘萬石ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ前ニ農林大臣ガ申上ゲマシタノモ、是ハ買フノデアリマシテ、買ッテ賣ルノデアリマス、唯六百萬石ノ方ノ豫定ノ方ハ、是ハソレダケノ資力ヲ備ヘテ居レバ、買ハヌデモ濟ム場合ガ多イダラウト思フ、殆ド買ハヌデモ宜イデヤ

ナイカト云フコトニ申上ゲタヤウニ考ヘテ居リマスノデ、附加ヘテ置キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 大分時間モ立チマスカラ、是デ休憩イタシマス

午後零時二十一分休憩

午後一時四十六分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 午前ニ引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○久米田新太郎君 私ハ先日大臣ニ御質問申上ゲマシテ、説明ヲ聽カズニ決算委員ノ都合デ此席ヲ去ッタノデアリマス、重ネテ今日御質問申上ゲマス、極ク簡單ニ申上ゲマス、先日大臣ノ説明ノ内ニ積極的ニ三百萬石ハ買フガ、六百萬石買フヤウニハシテアルケレドモ、到底此六百萬石ヲ買フト云フヤウナコトハナカラウト、マアコニ現ハシタヤウナモノダト云フヤウナ風ナ説明ヲ聽キマシタガ、先程藤原サンモ其ヤウナ質問ガアッタヤウニ考ヘテ居リマスガ、現今ノ米價ノ最低、最高ノ立テ値ノコトカラ考ヘマスルト、自然米ト云フモノハ高クナケレバйкаスト、我國デハ考ヘルト云フ説ガ、隨分農會邊リニ浮ンデ居リマスルカラシテ、最低價格モ引連レテ餘リ安クハサレヌデヤナイカ、然ラバ最低價格ヨリ下廻リヲシマ

シタ場合ハ、六百萬石マデハ御買入レニナラネバナラヌ筈ダト、尙ホ引連レテ其翌年モ左様ナ有様ニナリマスレバ又六百萬石、即チ千二百萬石ト云フ米ハ政府ガ御持抱ヘニナラナケレバナラナイ此米穀法ノ制度ヂヤナイカト私ハ思フテ居リマスルガ爲ニ、政府ニ於テハ唯六百萬石ハ出シテ居ルケレドモ、到底サウ云フモノハ買フヤウナコトハナイト云フ御説明ヲ聽キマシタガ、此點ニ於テハ如何様ナ御考ヘデアラウカ、私共ハ餘リ最低價格ガ高イ、斯ウ云フ現狀ガ買ハネバナラナイコトニナリハセヌカ、御買入レニナルノハ米穀統制法ニ依テ之ハ已ムヲ得ヌコトト致シマシテモ、今後ハ此米ヲ以テ來ヌト云フ譯ニ行キマセヌカラ、當然處分ヲナサレナクチャナラナイ、尙ホ付加ヘテ申上ゲマスルガ、米穀統制法ハ以前ノ米穀法規トシテモ即チ餘リ安イ時ニ買フテ、サウシテ足ラナイ最高價格ヲ以テ賣ルノデアルカラ値合損金ハ出サナイト云フコトガ、此法規カラ見ルト當然ナルヤウニ思ヒマスルケレドモ、實際ハソレニ反スルガ爲ニ斯ウ云フ多額ノ損金ヲ御出シニナルノダラウト思ヒマスガ、之ハ萬已ムヲ得ナイ、即チ米ガ古米ニナレバ品質ガ變リマスカラ……此邊ノ點ハ私共モ米ハ商買シタコト

ガアリマスカラ承知イタシテ居リマスルガ、其點ニ付キマシテ政府ノ御方針ハ如何様ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、吾々ハ實際ハ心配シテ居ル問題デアリマスカラ、之ヲチヨット御尋ネシテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 三百萬石ノ調節

的調節ハ是ハ實行イタス豫定デアリマス、但シ此米ハ御承知通り其年度内ニ買ッテ賣ルト云フ趣旨デ、大體ノ方針ト致シテ居リマス、ソレデモ尙ホ今後公定價格ニ依ル賣渡シ、買入レハ、公定價格ノ所ニ米ノ價ガ來ナケレバ起ラナイ問題デアリマス、御心配ノ點ハ最低價格ガ相當ニ高イモノニナルト云フト、今日ノ米價竝ニ米ノ需要ノ狀況カラ見ルト、常ニ買ハナケレバナラヌ場合ガ起キテ、六百萬石ト云フ豫定立テテ居ル資金デアリマスカラ、ソレヲ皆ナ買出シニ使ハナケレバナラヌノデヤナイカ、ソレガ惡ク行キマシテ二年モ續イテシマウト云フヤウナコトニナリハシナイカ、サウ云フ御懸念、藤原サンノ御質問ニモサウ云フ御懸念ガアッテ御質問ガゴザイマシタ、ドウモ六百萬石ト云フ數字ヲ出シマシタモノデスカラ、サウ云フ風ナ御懸念ガ起ッテ來ルノデアラウト思ヒマスレドモ、我々當局ノ見

込デハ、六百萬石一年ニ買ッテ、下値ノ調節ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトハ先ヅ最惡ノ場合デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其最惡ノ場合ヲ二箇年續クト云フヤウナ非常ナ事態ヲ想像シマシテ、ソレニモ應ジ得ルト云フ用意ヲ茲ニ致シテ置カウ、實際ノ運用ハ事實ニ於テハ、其中デソレ程大キナ資金ヲ要セズシテ公定價格ヲ維持シテ行ケルモノデアラウト、斯ウ豫測シテ居ルノデアリマス、六百萬石ノ米ヲ買フト云フノハ、是ハマア大シク買方デ、之マデ一度モ實行シタコトハアリマセヌ、六百萬石ノ米ヲ最低價格以下ニナッテ其時價デ買フト云フノデヤナイ、最低價格其モノデ買ッテヤルト云フコトゾ臨ムノデアリマス、最惡ノ場合ニハ千二百萬石モ一年ニ買ハナケレバナラナイ用意ヲ有ッテ臨ム、ソレデアリマスレバ、米價ノ實際ハ最低價格ヲ割ラズシテ停マルベキモノデアラウ、假ニ最低價格ヲ割ラウトスレバ多少ノ買附ヲ……買附ト申スヨリハ申込ニ應ジテ居ル譯デアリマス、モウ下リサウダカラ最低價格デ買ッテ賣ッタ方ガ都合ガ好ウゴザイマスカラ、最低價格デドシノ買フト云フ政府ガ態度ヲ示シマスナラバ、ソレ程多クノ實際ノ買入レヲ致サナクトモ最低價格ヲ維持スルト云

フコトハ出來ルノデアリマセヌカト云フヤウナ見込ヲ有ッテ居リマス、唯非常ナ豐作ノ場合デアルトカ、或ハ非常ナ不景氣ノ爲ニ、米ノ消費ガ激減スルト云フヤウナ時代ガ起リマスルト、全部ノ損失ヲ招カナケレバナラヌト云フヤウナ時代ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ極ク稀レナ場合ニ起ルノデ、是マデノ例ヲ見マシテモ、毎年ノ米ノ買入レハ三百萬石位ガ一番多イ時デアッタノデアリマス、先ヅ實際ノ場合トシテハ、三百萬石以內ノ買入レガ事實ニ於テ起ル、然ルニ一方ニハ季節ノ調節ノ買入レガ一方ニアルノデアリマス、假リニ三百萬石買ヒ……季節調節トシテ、三百萬石ヲ買ヒ、尙ホ普通ノ公定價格維持ノ爲ニ三百萬石ヲ買フト云フコトニナリマスレバ、此處デ又四、五百萬石ノ米ヲ其時分ニ全部買フ譯デアリマセヌガ買フト云フコトガ、是ハ不斷ノ用意ニナッテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト今ノ公定價格維持ノ爲ノ買入レト云フコトハ、サウ巨額ニ上ラズシテ公定價格ヲ維持シテ行ケルモノデアラウ、斯ウ云フ見込デ居リマス譯デアリマス

○久米田新太郎君 尙ホ御尋ネシマスガ、是ハ少シ理窟ニ互ルカモ分リマセヌガ、私ハ此處ニ六百萬石マデ買フ、千二百萬石マ

デ、買フ資金モ用意ガシテアルト、斯ウナリ
マスルト云フト、唯徒ラニ六百萬石ヲ買
フト云フコトヲ御示シニナツタ譯デナク、
必シモ何時カハ斯ウ云フ時代モ來ルノ
デ、サウ云フ場合ハ六百萬石マデハ買ハ
ナクテハナラヌト云フ此處ニ必要ヲ感ゼラ
レマシテ、此見込ヲ出サレタモノダト思
ヒマセガ、尙ホ朝鮮ノ御方ガオイデニナ
リマセヌガ、私ハ是ハ荷見サンニ御尋ネシ
マスルト、朝鮮ノ米ハ毎年ノ收穫増收ハ固
ヨリデアリマスケレドモ、品質ノ改良ヲ非
常ニ致シマスガ爲ニ此米ハ内地ニ參リマシ
テ、内地ノ産米ノ殆ンド中間以上ノ價格ノ
維持ヲ有テ居ルト思ヒマス、加之近時收穫
モ非常ニ良クナツテ來テ居ルノデアル、臺灣
モ左様ナ轍ヲ踏ンデ居リマスルガ、此米ヲ
日本ニ移入シタ、サウ云フ唯簡單ナ意味デ
此移入ヲ防グト云フコトハ不可能デアラウ
ト、私ハ是ハ想像イタシテ居リマス、實際
ニ日ミノ相場ガ明カニ、深川ノ市場ニ於テ
モ現ハレテ居リマスカラ御覽下サイマスレ
バハッキリ分リマス、又朝鮮ノ私ハ作柄ノ
模様ハ存ジマセヌガ、聞ク所ニ依リマスル
ト相當日本ノ人ガアスコニ行ッテ、安イ地面
ヲ買ヒ或ハ開墾ヲ行ッテ、サウシテ此米ノ品
質ノ改良、或ハ増收等ニ付キマシテハ、最

善ノ努力ヲサレテ居ルモノダト思ッテ居リ
マス、是ガ自然増收モ出來テ來ルモノダト
思ヒマスルカラシテ、私ハ朝鮮ハ成ル程豐
凶ハ甚シイ所デ、是ハ參考ニ申上ゲマスル
ガ、昭和五年デアリマシタカ、先程荷見サ
ンノオ答ノ中ニ、千九百何十萬石ノ産額ガ
アツタガ、翌年ハ千四百萬石以下デアツタ
私ハ記憶イタシテ居ル、殊ニ南ノ方ニ向ヒ
マシテハ皆無ノ場所ガアツタ、五、六十萬石
モ出來ル場所ガ皆無ノ場所ガアツタ、サウ云
フ所ノ人ハ本年ハ何ヲ食フダラウ、滿洲ノ
粟ヲ食フデアラウ、但シ滿洲ノ粟ヲ買フト
シテモ金ガナイデヤナイカト云フコトヲ、
我々ハ素人眼デ懸念ヲ致シタ、所ガ其年ハ
滿洲ノ粟モ穫レナイデ、其邊ノ人ガ矢張り
飢エテ居ッタト言フ、後デ聞イテ見マス、
サウ云フ年ハ朝鮮ノ農民ハ草ヲ採ッテ食ッテ
居ル、斯ウ云フコトヲ聞クノデスカラ、實
ハ朝鮮ノ御方ニ聞イテ見ヤウト思ッタ、謂ハ
バ草ヲ幾分食ッテ居ルト云フト、矢張り賣米
ニ對シテハ餘リ買ハナイ、是ハ朝鮮ノ國カ
ラ言フト、ドウシテモ米ヲ作ッテ賣ラナケレ
バ、段々朝鮮トシテモ文明ノ力ガ強クナッ
テ來マスカラ、農民モ金ガ要ルダラウ、サ
ウスルト云フト自然朝鮮米ヤ臺灣米ノ内地
輸入ハ増スデアラウ、是ハ統計ノ上ニハ、キ

リト現レテ居ルコトダト思ッテ居リマス、私
ハ先程荷見サンヨリノ朝鮮米ノ統制ノ御説
明デハドウデアラウカ、是ノ輸入ヲ防グコ
トガ出來ルダラウカ、斯ウ云フコトヲ御聞
キシタイト思ッテ居ル、私ノ言フノガ間違ヒ
カ知レマセヌガ、能ク解ルヤウニ、朝鮮ノ
コトヲ御承知ナラバ私ハ承リタイト思ッテ
居リマス

○政府委員(荷見安君) 先程申上ゲタノ
ハ、此米穀統制案ニ依ル朝鮮米ノ季節的ノ殺
到防止ノ方策ガ、此法案ノ實行竝ニ朝鮮ニ
於ケル總督府ノ施設、民間ノ協力トニ依ッ
テ、相當目的ヲ達シ得ルデアラウト云フコ
トヲ申上ゲタノデアリマシテ、成ル程御話
ノ通りニ昭和五年産米ハ千九百十八萬石デ
アリマシタガ、昭和六年ニハ千五百八十七
萬石ト云フヤウニ變ッテ居リマス、ソレハ午
前中政務總監カラモ御話ガアリマシタヤウ
ニ、大體ノ朝鮮ノ段當リ收穫量ト云フモノ
ハ、一段歩一石位ノ見當デアリマスカラ、
昭和五年産米ノ千九百萬石ト云フノハ異常
ノ豐作、是ハ貴方モ御承知ノ通りデアリマ
ス、サウ云フ風ナ事情ニナツテ居ルノデ、六
年分ハ少シ平年作ヨリ下ッタ位ノ程度ノモ
ノト思ヒマス、ソレカラ朝鮮米ノ統制方策
ガ、午前申上ゲマシタヤウナ所デ目的ヲ達

スルヤ否ヤト云フ問題デアリマスカラ、モ
ウ一度申上ゲテ見タイト思ヒマス、大體朝
鮮米ノ内地ノ米價ニ惡影響ヲ及ボシ、從ッテ
朝鮮米ソレ自體ノ價ニモ良イ影響ガアリマ
セヌデ、出來秋ニ於テ雙方ニ移入ノ統制ト
云フモノヲ圖リマセヌト害ガアルト云フコ
トハ、是ハ誰モ認メテ居ル所デアリマシテ、
之ヲ統制スル爲ニハ、ドウ云フ方法ニシタラ
宜イカト云フコトハ、昭和四年ノ米穀調査會
ノ當時カラ盛シニ論議セラレタ問題デアリ
マス、ソレデ其調査會ノ結果、ドウ云フコト
ガ出來タカト申シマス、朝鮮米ノ内地ニ殺
到スルコトヲ防止スル爲ニ、朝鮮總督府デ以
テ施設ヲ講ジヤウ、其施設ト申シマスノハ、
農業倉庫ヲ拵ヘ商業倉庫ヲ拵ヘマシテ、ソ
レニ低利資金ヲ融通シテ、出來秋ニ小農ガ
投資ヲスル、内地ニ米ガ殺到スルノヲ防ガ
ウ、斯ウ云フ意味ノ施設ヲ始メタ譯デアリ
マス、併シ是ハ何年計畫カデヤルコトデア
リマシテ、最初カラ經濟的ノ施設ガ效果ヲ
十分ニ現スト云フコトハ是ハ問題デアリマ
スガ、段々相當ノ效果ハ得テ居ルノデアラウ
ト考ヘテ居リマス、今度ノ米穀統制調査會
デモ色々審議ニナリマシテ、其際ニ或ハ朝
鮮米ノ移入數量ヲ管理シタラ宜イデヤナイ
カ、或ハ許可制度ヲ以テ統制ヲシタラ宜イ

チャナイカト、色々御議論ガ出マシタケレドモ、先ヅ現在ノ經濟狀況、社會狀況ノ下ニ於キマシテハ、其經濟的施設ニ依ッテ其目的ヲ達スルニ努メタガ宜カラウ、ソレニハ折角ヤリ始メタ所ノ、出來秋ニ於ケル内地米ノ殺到ヲ防止スル爲ノ季節的調節ノ買入レ、又ハソレニ應ズル賣渡シト云フヤウナコトガ一ツ、ソレカラ農業倉庫、商業倉庫等ノ施設ヲ充實イタシテ、低利資金ヲ供給シ、又或ハ貯藏資金デモ與ヘルヤウナ統制策ヲ、朝鮮總督府デモ講ズル、ソレガ第二デアリマス、ソレカラ尙ホ十分官廳間ニ於テモ、農林省ナリ拓務省大藏省ガ中央デハ直接關係デアリマスガ、其外臺灣總督府、朝鮮總督府等ニ於テモ十分聯絡ヲ取ッテ、十分ニ所期ノ目的ヲ達スルニ努メヤウ、ソレカラソレデ差當リノ施設ヲ講ズルトシマスガ、其外ニ將來ノ問題ニ付テハ只今御話ニゴザイマシタヤウニ、其生産米ノ増加ト云フヤウナコトガ段々行ハレマスシ、旁、此生産ノ統制計畫ト云フモノモ十分研究シテヤラウト云フコトニナッテ居リマスカラ、サウ云フ施設ガ十分ニ效果ヲ表ハシマスレバ、其季節的ノ殺到ト云フコトハ幾分緩和シ得ルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ試ミニ是ハ今年	始メタ許リデアリマシテマダ十分ニ熟サナイノデアリマスカラ、ソレカラ朝鮮ノ米穀事情、内地ノ米穀事情モ特殊デアリマシテ、季節的調節ノ買入レノミノ結果トハ考ヘラレマセヌケレドモ、今年ハ四回ニ互テ季節的調節ヲヤッテ見タ其結果ヲ申上ゲテ見マス、昨年ニ比ベマシテ米ノ收穫高ハ本年ハ四十七萬石、約五十萬石バカリ朝鮮ハ御承知ノ通り增收ニナッテ居ルソレデアルカラシテ普通デアレバ十一月カラ二月迄ノ間ニ相當澤山、昨年ヨリハ三四十萬石少クモ餘計這入ラナケレバイカヌ計算ニナッテ居リマス、ガ本年ノ十一月カラ二月迄ノ累計ヲ調べテ見マスと云フト、玄米ニ換算イタシマシテ朝鮮カラノ内地移入ガ十三萬石……十三萬一千石減少イタシテ居リマス、其中デ玄米ノ方ノ數量ハ四十萬八千石デ是モ減少シテ居ルノデアリマス、ソレデ白米ノ方ノ移入ガ先程ノ御話ノヤウナ事情ガアリマスノデ、マダ其效果モ十分デアリマセヌト思ヒマスガ、二十六萬石バカリ増加シテ居リマス、其差引ガ十三萬石許リ減テ居ル、斯ウ云フ事情ニナッテ居リマス、ソレデ白米ノコトニ付テハ、午前ニ申上ゲタヤウニ方策モ十分講ジマシテ、是ガ検査、受渡シ等ニモ幾ラカ馴レテ參リマスレバ相	當效果ヲ舉ゲルダラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、斯ウ云フ所ニ十分力ヲ含メテ是カラヤッテ行キマスレバ、相當ノ效果ハ舉ガルダラウ、是ハ見込ノ問題デアリマスノデ、ソレデヤ弱イト仰シヤラレマストサウモ言ヘルカトモ思ヒマスケレドモ、大體サウ云フ風ナ事情ニナッテ居リマス ○久米田新太郎君 見込デゴザイマスカ、見込ニ對シテ私ハドウト云フコトヲ申上ゲル譯デヤゴザイマセヌガ、斯ウ云フコトヲ御考ヘニナッテハ居リマセヌカ、私が記憶スル處ニ依リマスと云フト過去十年ノ中、年ハ覺エマセヌガ、一番澤山食シタ年ハ一人當リ平均一石一斗八升ニナッテ居リヤセヌカト思ヒマス、ソレヲ一寸調べタモノヲ有ッテ參リマセヌ、ソレカラ一番少イ年ガ一石八升デヤナイカト思ッテ居リマス、サウスルト一斗ノ差ガアルト云フト、直ぐ内地ノ人口ニ對シテモ六百萬石以上ノ差ガアル、又豐凶ニ依ッテ、現ニ最近ノコトヲ考ヘマスルト、六年産米ハ五千五百幾十萬石出タ、七年ハ五千六百幾十萬石、之ニ依ッテモ五百萬石以上ノ差ガアルノデアル、先程大臣ノ御説明ノ中ニ、先ヅ三百萬石季節ニ買フ、後ノ六百萬石ヲ買フコトハナカラウト云フヤウ	ナ御考デアル、私モチョットハサウ考ヘマスルガ、値ノ居所、景氣ノ如何ニ依ッテハ自然ニ米ガ過不足ヲ生ジテ來ルノデアル、如何ニ日本ガ氣候ガ良クテモ、豐年バカリハ續キマセヌ、不作ノ年モアリマス、何時カ又米ノ少クナル年モアラウト思ヒマス、近時ノ模様ヲ見マスと、ドウシテモ米ガ餘ッテ行クヤウナ傾向ニアリマス、是ハ國民ノ食糧一人當リノ上カラ云ッテモ不思議ナ考ヲ持ッテ居リマスノデ、全ク政府ノ段當リノ一石一斗八升ト云フモノハ、藤原サシノ先程質問ノ中ニモアリマシタガ、此見積リガ違フノデ、我々ハ矢張り平均二石三四斗ハ餘ラスベキモノト斯ウ云フヤウナ考ヘデ、實際產額ガ茲ニ差ガ出テ居ルト云フコトハ、是ハ私一人ノ想像デアリマスガ、ソコデ六百萬石ハ買ハヌデモ宜イデヤナイカト云フ御考ハモウ少シ考慮ヲ要スル所ガアリハセヌカト斯ウ考ヘルノデアリマス、又我が日本ノ米穀統制法ニ付テハ、實際之ヲヤリマスナラバ、五六百萬石、一千萬石ノ米ハ御持チニナル覺悟ガナケレバ統制ハ出來ナイ、コンナ小サナモノデヤナイト斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ人ノ見様デ違ヒマスルガ、併ナガラ今ノヤウニ斯ウ大キナ損ヲナサレテハ、結局金ノ爲メデ、良イコトハ
---	---	--	---

出來ヌジヤナイカ、斯ウ考ヘル、實際過去ヲ考ヘテ見マスト云フト、米ハ外ノモノト違ヒマシテ、モウ三ツ四ツニナルト米ト云フモノハ知ツテ居ルシ、一家ノ中ニ米櫃ノナイ所ハナイノデアルカラ、米ト云フモノハ簡單ノヤウデアリマスケレドモ、一般ニヨク知レテ居ル、斯ウ云フ品物ヲナカノ調節ナドト云フコトハサウ容易ク出來マイト思フテ居ル、其點ヲ私共言フト、先日

考ヲ持ツテモ、規則上出來ヌジヤナイカ、此點ニ於テ考ヘナガラ知ラズ識ラズ、止ムナク御損失ヲナサルコトガ多カラウト思フ、此點ハ誠ニ政府ノ御苦心ニ御同情ヲ申上ゲマス、其點ヲ餘程御考慮ニナツテ、此最低最高ナドヲ御決メニナル時分ニハ十分ナル御考慮ヲシテ戴キタイト斯ウ思フノデアリマス、ドウカ御考ヘノ點ガアリマシタナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 只今御話ノアリマシタ通りニ、日本ノ米作ノ狀況ト云フモノハ豐凶ガ一定イタシテ居リマセヌ、非常ニ大豐作ガアルカト思フト、其翌年度ハ非常ナ大凶作ヲ來タスト云フヤウナコトデアリマスカラ、米價ニ付テモ矢張り高低ガアリマスノデ、サウ云フ點ヲ考慮イタシマシテ

居ル、唯茲ニ一言附加ヘテ申上ゲテ置キタイノハ、値幅ガ餘リ狭イト、賣ツタリ買ウタリ激シクサレナケレバナラヌヤウナコトモ一ツ考慮ノ中ニ入レテ戴キタイ、私共ハ餘リ値幅ヲ狭クセシムルト云フコトハ米穀法ニ取ツテ如何カト思フ、却ツテ政府ニ於テ御心配ノ度ヲ増シ、且ツ又損失ヲ増スベキモノデヤナイカト思フ、實際政府デ御買入レニナリマスト、買ウタ最高額ニ達セヌデモ今ガ宜イ賣頃デヤナイカト云フヤウナ譯デ民間ノ時機ヲ見テ御賣リニナルヤウナ御

生産者、消費者兩方面ニ適當ナル所ニ價格ヲ維持シタイト云フノガ此米穀統制法ノ目的トシテ居ル所デゴザイマスガ、只今ノ買入レ數量ガドレ位デアレバ米價ノ調節ガ出來ルデアラウカト云フ御話ニ對シマシテハ、私ハ大臣ガ今御話ニナリマシタ通りノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレハ何カト申シマスト、是マデ季節的ノ調節買入レト云フヤウナコトハ、内地ニ於テモ行ハレテ居リマセヌシ、

朝鮮、臺灣ニ於テモ行ハレテ居ルノデハゴザイマセヌガ、其季節的調節ノ爲ニ三百餘萬石ノ買入レ價ヲ致スト云フコトニナルノデアリマスカラ、一體米トシテハ安カルベキ出來秋ノ時ニ政府ガ米ヲ買フト云フコトハ、出來秋ノ米價ヲ維持スルト云フコトニハ餘程效果ガアルト是ハ御認メニナルト思ヒマス、ソレナラバ其外ニ又大豐作ト云フヤウナコトガ起リタ場合ニハ相當ニ買ハナケレバイカヌデヤナイカ、ソレハ買入レヲシナケレバナラヌヤウナ時機ガ絕對ニナイト云フコトハ是ハ誰モ考ヘテ居リマセヌノデ、買入レヲ一ツモシナイデ宜イト云フコトニナレバ、私ハ斯ウ云フ豫算ノコトモ要ラヌト思ヒマス、但シ買入レヲ致スト致シマシテモ、政府ガ十分ナル資力ヲ以テ、是マデハ最低價格ヲ下ツタ場合ニ時價デ買ツタノデアリマスケレドモ、最低價格ヲ決メテ置イテ、ソレデ飽クマデ買ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、ソレヨリ下ルコトハナイノデアツテ、ソレデ賣ツテシマヘバ却ツテ上タ時ニ損ニナル位ナ話デアリマスカラ、サウ無暗ニ賣ツテ行クト云フコトモナイノデハナカラウカ、是マデヨク例ニ申上ゲルノデリマスガ、昭和五年產米ノヤウナ、御承知ノ千萬石以上モ餘計ニ取レタ時デモ、ア

ノ時ノ季節調節ノ買入レガ三百萬石デゴザイマシタ、ソレデ大體其買入レヲ致シテ居リマス中ニ、私ノ記憶デハ一圓位價格ガ上テ居ルカト思ヒマス、サウ云フヤウナ狀況デゴザイマスカラ、ソレ程ノ豐作ガアレバ又隨分大變ナコトデアリマスガ、ソレ以外ノ場合ニ今度ノヤウナ制度ヲ以テヤリマシナラバ、サウシテ米穀資金ガ相當ニアレバ殆ド買入レト云フヤウナコトハセズトモ、價格ヲ維持スルト云フヤウナ場合ガドウモ想像サレルノデアリマシテ、是モ御見込ノ問題デアリマシテ、ソレハ飽クマデ買ハナケレバイカヌト仰シヤレバサウカモ知レマセヌ、唯六百萬石ト云フ米ハ、是ハ一年ノ縣外移出總數量ノ半バニ當ル米デアリマシテ、其半バヲ取ツテシマウト云フコトニナレバ、ソレガ又大變ナ問題ナコトハ、是ハ御了解ニナレル問題デヤナイカト思ヒマス、ソレカラ値幅ノ問題デゴザイマスガ、是ハ御話ノヤウニ最低價格ガ高クナツタナラバ六百萬石買ツテモ間ニ合ハヌ程買入レノ申込ガアルノデヤナイカ、斯ウ云フ御話ノヤウニ思ヒマス、最低價格ト云フモノハ不當ナ高値ヲ付シテ居リマシナラバ、御話ノ通りト思ヒマスガ、大體生産費ヲ中心ト致シマシテ物價其他ノ經濟狀態ヲ參酌シテ、妥

當ナ最低價格ト云フモノガ決マルコトニナリマスレバ、凶作デ米ガ高カルベキヤウナ年ニハ、相當生産費モ高イノデアリマスカラ値段ハ高クナルト思ヒマスガ、非常ナ豐作デ政府ガ買入レヲ行ハナケレバイカスト云フヤウナ年ニハ、恐ラク生産費ハ收穫量ノ増加ノ爲ニ低下スルノデアリマシテ、最低價格ノ置キ所ト云フモノモ豐作ノ年ニハ從テ低クナル、サウスレバサウ無理ガ起ラナイモノデアラウト思ヒマス、ソレカラ最後ニ御話ニナリマシタ米ノ値幅ト云フモノガ餘リ狭イト、賣タリ買タリシテ居テ非常ナ面倒デヤナカラウカト云フヤウナ御話ノヤウニ思ヒマスガ、私モ非常ニ値幅ノ狭イ結果ヲ生ムト云フコトハ、是ハ悪クシマスト最低價格ノ方ニ値ヲ押シツケ易イ關係ガアルヤウニ思ハレマスノデ、是ハ相當ニ考慮セラレル範圍デ其間隔ト云フモノハアツタ方ガ宜イモノデアラウ、サウシマスト午前中カラ藤原サンナリ松本サンナリノ御話ガアリマシタヤウニ、利潤ノ問題アタリモ、最低價格デ押ヘテ置イテ其上デ取引サレルコトニナリマス、從テ米ノ利潤ト云フモノモ、其間ニ生産者ニハ報イラレルト云フコトニナルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニマア考ヘテ居リマス

○久米田新太郎君 尙ホ一言御伺ヒ致シテ置キマスガ、只今御説ノ中ニ、出來秋ニ米ヲ買フト云フト相場ノ維持ガ出來テ、多少値段ノ高値ヲ維持スルト云フヤウナコトニナル、是ハ其通りデアラウト私モ思ヒマス、然ルニ買ハレル時ハ値段ノ維持ガ出來マサルガ、政府ガ買ハレテ餘リ澤山ノ米ヲ御持チニナルト、民間ニ於テ假需要ト云フモノガ少ナクナル、所謂思惑買ヒ、是ガ少ナクナル爲ニ、自然餘ラナイ米モ餘ルガ如ク目先ニフラツクノデアアル、爲ニ強チ米ヲ買ウタノガ高材料トモ申サレヌ、目先ダケ高材料デアッテ聽テハソレハ弱材料ニ……安イ材料ト見ラレルヤウナ點モアル、是ハ私ノ見込デスカラ強チ其通りダトハ申シマセヌガ、過去ノ結果カラサウ云フ風ニ思ハレマス、是ハ一ツ御考ヘ置キノ中ニ入レテ置イテ貰ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○阪本鈺之助君 ドナタカ御約束ガアリマスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 今朝ホド藤原君カラ大臣ニ御質問ガ出テ居リマシタ、宜シウゴザイマスカ

○阪本鈺之助君 ドウゾ……

○藤原銀次郎君 ソレデハ御免ヲ蒙リマシ

テ、私ハ大臣ニ御尋ネ致シタイコトハ澤山アリマスガ、只今ノ久米田サンノ御話ニ關聯シタ御話ヲ先ヅ以テ片付ケテ參リマシタ方ガ議事ノ進行上都合ガ宜カラウト思ヒマスカラ、其方ノ問題カラ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、段々御話ノゴザイマス通りニ、私モ久米田サント全然同感デアリマス、我國ノ米ノ産額ガ平年作デ六千萬石、六千何百萬石ト云フヤウナ……六千萬石ヲ中心トシテ動イテ居ルヤウデアリマスガ、或ハ七千萬石トカ六千何百萬石ト云フヤウナ産額デアルヤウデアリマスガ、ソレニ朝鮮、臺灣カラ入ッテ參リマス米ガ……先ヅ假ニ内地ノ米ヲ六千萬石ト致シマスと云フト、朝鮮、臺灣カラ入ッテ來ル米ガ千二百萬石ニナッテ居リマス、是ハ此端數ガ五十萬石トカ四十萬石トカ違フトカ違ハスト云フヤウナ色々ノ御説モ午前中ニゴザイマシタケレドモ、先ヅ極ク「ランブ・サム」デ御話ヲ申上ゲタ方ガ話ガ早イト思ヒマスカラ……臺灣ノ米ガ昭和六年デ三百萬石ココヘ入ッテ居リマス、ソレカラ朝鮮ノ米ガ朝鮮總督府ノ調べデ、農林省ノ御調べトハ違フト云フ御説明モアリマシタケレドモ、假ニ朝鮮總督府ノ調べヲ土臺ニシテ御話ヲ申上ゲマスト、是ガ八百六十萬石デアリマスカラ之ヲ

約九百萬石ト見テ丁度千二百萬石入ッテ居リマス、ソコデ私ノ考ヘデハ此朝鮮、臺灣ノ米ガ内地ニ入ッテ來テ、サウシテ其内地ニ入ッテ來ル數量ガ年々加速度的ニ増加スル、是ガ十年間ニ此朝鮮ノ分モ約三倍ニナッテ居リマス、即チ大正十一年ニハ約三百萬石ノモノガ昭和六年ニハ九百萬石ニナッテ居リマス、臺灣ノ分モ矢張り大正十一年ニ七十四萬石、其前年ガ百萬石デアリマシタカラ、是ガ三百萬石ニナッタンダカラ率デ言フト三倍何分ニナッテ居リマスケレドモ、之ヲ約三倍ト極ク大雑把ニ見レバ、十年間ニ三倍ニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ工合ニ、内地ノ産額ト云フモノガ約六千萬石ト致シマスと云フト、此ノ數字ハ假定ノ數字デアリマスカラ精密ニ言ヘバ色々違ヒマスガ、先ヅ假定シテ六千萬石ト見マシテ、之ニ對シテ千二百萬石、二割ノ移入ガ今日アルノデアリマスカラ、之ニ依ッテ日本ノ米ノ値段ト云フモノヲ壓迫シテ始終米價ガ下落シテ來ル、斯ウ云フコトデ農民ノ苦痛ヲ慫ヘルト云フコトニ大體ニ於テナッテ居ルノデアアル、斯ウ私ハ思ヒマス、ソコデ先刻來政府委員カラ縷々御説明ガアリ、前回ニ於テハ農林大臣カラモ色々御説明ガアリマシテ、直接買入レト云フモノハ六

百萬石スルト云フノデアルケレドモ、是ハ
スルノデハナイ、其必要ハナイト思フト、
斯ウ云フヤウナ御説明デアリマシタケレド
モ、此朝鮮、臺灣カラ内地ノ產額ノ約二割
ノモノガ入ッテ來ルト云フヤウナ、此數字的
ニ斯ウ云フ狀態ニナッテ居ルスレバ、私ハ
之ニ對シテ朝鮮、臺灣カラ入ッテ來ル米ヲ二割
ナリ、其全體ノ二割入ッテ居ルノダカラ其
六百萬石、即チ内地ノ產額ノ約一割、ソレ
位ノ米ヲ御買ヒニナッテ所ガ、維持調節ト云
フモノハ私ハ出來ナイト思ヒマス、全體
ノ……私ハ色ミナ商賣ヲシテ居リマス、シテ
見タ經驗モアリマス、私モ若干米ノ商賣ヲ
シタコトモアリマスガ、全體ノ產額ノ一割
位ノモノヲ買ヒ持チシタ位デハ、値段ヲ維
持スルト云フコトハナカ／＼困難デアリマ
ス、況ヤ季節買入レトカ申シテ三百萬石御
買ヒニナルト云フコトデアリマスガ、併シ
是ハ又御賣リニナル、買ッテ賣ルノダカラシ
テ差引キ零ニナル、兎ニ角調節買入レノ六
百萬石、内地ノ六千萬石ニ朝鮮、臺灣カラ
來ル千二百萬石、合セテ七千二百萬石、此
米ノ値段ヲ維持シヤウナント云フコトハ私
ハ普通ノ商業觀念カラ見テ不可能ト思ヒマ
ス、ソコデ併シ大臣ハ六百萬石買ヘバ値段
ノ調節ガ出來ルガ、併シ是ハ傳家ノ寶刀デ

アッテ唯茲ニ見セテ置クノダ、買フノデナ
イ、斯ウ云フヤウナ御説明デアリマシタヤ
ウニ私ハ思ヒマスガ、ドウモ是ハ少シ御考
ヘガ、若シサウデアルトスレバ間違ッテ居
ヤシナイカ、甚ダ失禮ナコトノヤウデアリ
マスガ、サウ云フ風ニ私ノ普通ノ商業觀念
カラ見エルノデアリマスカラ、若シ我々ノ
見方ガ間違ッテ居リマスレバ御教示ヲ願ヒ
タイト斯ウ思フ、マダソレニ關聯シテ色ミ
アリマスガ、尙ホモウ一ツ附加ヘテ申上ゲ
タイノハ、假リニ六百萬石御買ヒニナッテ
此調節ガ出來ルト……私ハ六百萬石御買ヒ
ニナッテモ調節ガ出來ナイト云フ考ヘデア
リマスガ、大臣ハ六百萬石モ買ハナイデ調
節ガ出來ルト云フ考ヘデアルカラ、其間ニ
非常ナ差ガアルカラ、私共ノ考ガ間違ッテ
居リマスナラバ御教示ヲ願ヒタイト斯ウ思
フ、ソレカラ其次ニ伺ヒタイト思フノハ先
ヅ既往ノ……私ハ想像デモノヲ申上ゲルト
云フコトハ、斯ウ云フ大切ナ議案ノ審議ニ
際シテドウカト思ヒマスカラ、成ルベク此
數字ニ立脚シテ御話ヲ申上ゲタ方ガ確實デ
宜カラウト思ヒマシテ、政府カラ頂戴シタ
此數字ヲ調べテ見ルト、丁度朝鮮、臺灣兩
方共ニ十年ニ三倍ニナッテ居リマス、是ガ一
年ニ丁度約百二十萬石宛移入ガ殖エルノデ

アリマス、ソレデスカラ五年ニ約六百萬石
殖エル、今後五年ニナルト、今千二百萬石
這入ッテ居リマス此米ガ毎年百二十萬石宛
移入ガ殖エテ來ル、ダカラシテ百二十萬石
ハ此數字上カラ言ッテモ、ドウシテモ自然自
然ニ殖エテ來ルノデアリマスカラ、五年經
テバ、是ハ六百萬石殖エル、ダカラシテ今
ノ計數デ以テ基礎ヲ御立デニナレバ、此朝
鮮、臺灣ノ增加米ダケノ壓迫デモ内地ノ米
價ヲ維持スルト云フコトハ困難デアル、不
可能デアル、斯ウ云フ數字ガ出テ來ル、是
ハ私ノ架空ノ論デヤナイ、數字的ニ斯ウ云
フ數字ガ出テ來タ、ソレニ對シテ政府ハド
ウ云フ御用意ガアリマスカ、此コトノ二點
ヲ伺ヒタイ、マダ色ミゴザイマスガ、簡單
ニスル爲ニ、先ヅ之ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 前段ノ御尋ネノ
數字ニ互リマスノハ、私ノ申スコトガ間違ッ
テ居リマスレバ、政府委員カラ訂正ヲシテ
貰フコトニ致シマス、大體内地ノ米ガ平年作
約六千萬石見當、臺灣、朝鮮カラ這入ッテ
來ル米ノ最近ノ實績ガ先ヅ千萬石、或ハソ
レヲ少シ超エルト思ヒマス、併シ御讀ミ上
ゲニナリマシタ朝鮮總督府ノ調、朝鮮カラ
這入ルノハ八百何十萬石ト云フノハ實績デ
ハナカッタト思ヒマス、其細カイ點ハドチラ
デモ宜シイガ、何カ訂正スル點ガアレバ訂正
イタシマスケレドモ、約七千萬石或ハ七千萬
石ヲ少シ超エル數量デアリマス、是ハ内地ノ
需要ニ略、シツクリスル數量デアルト思ヒマ
ス、ソレデ内地モ豐作デアッテ六千二三
百萬石モ出來、又朝鮮モ同時ニ豐作デアッテ、
其程度ニ止マラズ、又百萬石モ二百萬石モ
朝鮮カラ餘計ニ這入ッテ來ル、サウ云フ時
代ニナッテ事態ガ起ッタ時ニハ内地ノ需給調
節ガ壞レルコトニナリマス、過去ニ於テモ
數字ハ違ヒマスケレドモ、サウ云フヤウナ
消費ト供給トノ關係ノ合ハナイ時ニ米價ノ
下落ガアッタノダラウト思フ、併シズット米
價ノ騰落ノ趨勢ヲ過去ニ於テ見マス、需
給關係カラモ起リマスガ、經濟界ノ好況不
況ニ依ル一般物價ノ高下ノ影響ガ非常ニ著
シイ、是ハ米穀統制法又米穀ニ對スル政策
ノミヲ以テハ大體ニ於テ如何トモ致シ難イ
點ナノデアリマス、併ナガラサウ云フ關係
ヲ其儘ニ矢張り放任シテ置クコトハ、生産
者消費者ノ爲ニ困リマスノデ此統制案ノ如
キ、又過去ニ於ケル米穀法ノ處置ノ如キモ
ノガ其自然ノ趨勢ニ對シテ或所ニ梓ヲ入レ
テ置カウト云フ精神カラ出來テ居リマス、
ソレデ御質問ノ點ニ戻リマスガ、七千萬石
ノ米ノ供給ガアル中デ、六百萬石ヤソコイ

ラノ一割見當ノモノヲ買入レタ所デ、ソレハチットモ米價ヲ維持スルコトニ役ニ立ツ所ノ力ガ少イデアラウ、色ミノ御經驗カラ、是ダケノ七千萬石カラノ數量ノモノニ一割位ノモノガ作用シテ見タ所デ、大シテ效果ガアルモノデナイト云フ御話デアリマ스가、此七千萬石全部ガ供給市場ニ出テ來テ、取引市場ニ出テ來テアルモノデアルト致シマスト非常ニ力ガ少イモノト思ヒマス、併ナガラ内地ノ六千萬石ノ生産ノ中ノ約半數ハ自家用ニ色ミナ關係デ消費サレル、ソレカラ各府縣ノ縣内デ需給ノ關係カラ外ニ出ズニ殘リマス米ガ更ニ千二百石、六千萬石ノ中ノ殘リノ千六百七百萬石ノ米ガ一般市場ヘ、管外ヘ出テ參ル米デゴザイマス、殊ニ大小都市ヘ向テ供給サレテ來ル、ソレニ朝鮮、臺灣カラ這入ッテ參リマス米ガ同ジヤウナ性質ノ米トシテ、日本ノ米ノ需給市場ヘ出テ參リマス、米穀統制ノ政策ヲ考ヘテ、需給ノ調節ヲシ米價ノ調節ヲシマス目標ニナリマス米ハ、二千數百萬石乃至三千萬石ノ間ニアルノデアリマス、ソレニ對シテ凡ソドノ位ノ働キヲ仕掛ケレバ公定價格……今例ヘバ最低價格ノ維持ガ出來ルカト云フコトガ我々ノ考ヘテ居ル要點デゴザイマス、サウシマスト過去ノ經驗ヲ見マシ

テモ、最低價格維持ノ爲ニ調節買ヒト云フコトハ……今度ノ新統制法デハ調節買ヒト申スコトハ少シ當ラナクナッテ、其價格デ其儘買上ゲルノデアリマ스가、最低價格維持ノ爲メノ買上ゲト云フコトハサウ大キナ數量デナクとも、極端ナ最惡ノ場合ヲ考ヘナイ限り效果ガアリ得ルモノト考ヘマス、是ハ過去ノ經驗カラ見マシテ、尙ホ今度ノ新統制法案ガソレニ優ッテ居ルト思ヒマスルノハ、過去ハ一ツノ基準價格ヲ設ケテ置キマシテ、ソレヨリ下廻レバ買フ、例ヘバ二十圓ト云フ基準ガアリマシテソレヨリ下廻レバ買フ、過去ノ經驗ヲ見マスト十八圓ニナリ十七圓ニナルト云フ時ニ買ッテ、又十八圓ニ上ガレバ十八圓デ買フ、十九圓ニナレバ又十九圓デ買フト云フ、上ニ賣上ゲテ居リマスカラ、基準ニ到達スル迄ハ相當引上ゲテ來ナケレバナラヌ、今度ノ新調節案デハ最低價格ノ所ニ行キマスレバ、最低價格デ買ッテヤル、米ガ更ニ十八圓、十六圓ニ下ガレバ其値段デ買フト云フノデナク、二十圓ノ所ナラバ二十圓デ買フト云フノデ、其影響ハモット適確ニ行クデアラウト思ヒマス、ソレデ買ッテモ宜ケレバ買ハヌデモ宜イト云フ形デ過去ノ米穀法ハ出來テ居リマス、併シサウ云フコトデナク必ズ買フト云

フ態度デ臨ンデ、相當ニ大キナ、假ニ三千万石ト見マスレバ、六百萬石買フ肚ヲ此方ガ持ッテ居ルトシマスルト、先ヅ二割ノ數量ヲ指定シタ大キナ市場デ取ルノデアリマ스는、是ハ三千万石、供給ガ一年ニズット來ルモノデアリマシテモ、或一定ノ市場ニ於テ一年中ダラダラ六百萬石買フト云フノデナクシテ、最低價格ヲ維持スル爲ニハ、申込ミガアレバ市場ニ於テ相當ナ數ヲ取上ゲルト云フコトニナルノデアリマスカラ、其働キハ可ナリ有效ニ利ケテ、大シタ數量ノ買上ゲヲシナクトモ、無論豐凶ノ差ガ通常ノ變化デアル場合ニハ、之ニ應ジ得ルノデアルト思ヒマス、御想像ノ如ク七千萬石ノ米ノ一割ヤソコイラヲ唯操作スルノデハ、大シタ效果ハアルマイト仰セラレマ스가、第一ニ目標トナル米ガ凡ソ三千万石以内ノ米デアリマス、而モソレハ最低價格ヲ維持スルニ必要ナル時ニ、集散市場ノ要點要點ニ於テ賣ルト云フコトニナルノデアリマシテ、相當巨額ナ米ヲ買上ゲルト云フ態度デ臨ムノデアリマスカラ、其效果ハ過去ノ經驗ニ徴シマシテモ、餘程有力ニ響クモノナンデアリマス、更ニソレニ關聯シマシテ……

○藤原銀次郎君 チョット失禮デスガ私ノ中上ゲタ移入ノ數量ガ間違ッテ居リマスカ
○國務大臣(後藤文夫君) 八百六萬石ト云フ……計算ノ仕方ガアルノデアリマ스가、大シタ何デアリマセヌ、何デモ出廻リ季節ガ重複シテ曆年ニ入ッテ居リマ스가、ソレハ七百萬石デモ八百萬石デモ何方デモ同ジデアリマス……之ニ對シテ朝鮮、臺灣ノ米ガ近年非常ニ増産シテ、十年ニ三倍増産スル、其勢ヲ以テ今後又五年ナラ一倍半ノ増産ニナル、更ニ十年經テバ今ノ又三倍ノ増産ニナル、サウシマスト朝鮮臺灣ニ於ケル米ノ消費ガ特別増加セザル限り、其増産サレル部分ハマア市場トシテハ内地ヲ求メル外ハ大體ナイ、スルト御推測ノ如ク行クモノトシマスレバ、是迄ノ増加ヨリモ内地ヘ來ルモノガ一層割合ガ大キナル、生産全體ニ對シテノ増額デアリマス、消費ノ分ヲ差引シテ變ラヌトスレバ、今迄ノ増加ノ割合ヨリモット餘計ノ數量ガ入ッテ來ルト云フコトニアナル譯デアリマス、サウスルト六百萬石程クラキ一年ニ買ッテ行クトスレバ、臺灣カラ來ル米ヲ吸上ゲルノニモ其力ハ盡キテシマッテ、サウシテ現在ノ儘ノ狀態ニ需給ノ關係ヲ直スダケデモ、モウソレダケノ金ガ要ルデヤナイカト云フ御話ノヤウデアリマス、是ハ朝鮮、臺灣ノ當局ノ方

カラ御説明ヲ申上ゲル方ガ一層適切デア
カト思ヒマスガ、過去ノ十年間ニ於ケル朝
鮮、臺灣ニ於ケル米ノ増加ノ速度ト云フモ
ノハ、大變ニ激シカッタノデアリマス、是
ニハ唯モウ自然ノ推移デ増加シタト申シマ
スヨリモ、米ノ増産ニ關スル各種ノ施設ガ
非常ナ速度ヲ以テ行ハレタト云フコトニ關
係ガアル、矢張り在來通りノ方針デ朝鮮、
臺灣ガ參リマストシテモ、耕地ノ改良、開
墾、色ミナ點ガ今後ニ於テ、今日迄ノヤウ
ナ速度デハ進マナイト思ヒマス、ソレハ土
地ノ狀況ガ今迄ハサウ云フコトノヤリ易イ
所デズトヤッテ行キマシタ爲ニ、非常ナ幼
稚ノ狀態カラ或所マデ來タノデアリマス、
今後ハサウ云フ速度デハ開墾トカ、土地ノ
改良トカ云フコトハ進マナイト考ヘルノデ
アリマス、進メヤウト思ヒマシテモ進マセ
得ナイノデアリマス、況ヤ全體ノ米穀ノ生
產政策ヲ考ヘテ見マシテ、朝鮮、臺灣等ニ
於キマシテモ、唯徒ニ増産ヲスルト云フ事
柄ガ必シモ朝鮮、臺灣ノ人達ノ利益デナイ
ノデアリマシテ、増産ガドン／＼行ハレ、
而モ米價ヲドン／＼押シテ來テ、齊シク内
地ノ市場ヲ目掛ケテ來ルモノトスレバ、無
暗ニ増産スルコトガ必シモ利益デアルト言
ハレナイ狀態デアリマス、サウ云フコトハ

朝鮮臺灣ノ當局者及土地ノ人ミモ追ミト考
ヘテ來ツツアル問題ノヤウデアリマス、從
テ朝鮮、臺灣ノ米ノ生産増殖ニ對スル今後ノ
計畫ト云フモノニ付テハ、相當ナ調整ガ加
ヘラレルコトガ我々ハ必要デアラウト思ヒ
マス、其點ニ付テハ拓務省初メ兩總督府ノ
關係ノ人達モ考慮シテ居ラレルヤウデアリ
マス、デ此將來ノ日本ノ米ノ増産ト云フ事
柄ガドウ云フ風ニ行フガ宜シイカ、又ソレ
ヲドウ云フ工合ニ調整シナケレバナラヌカ
ト云フコトハ、斯ウ云フ統制制度ノ側面ニ
存在シテ居ル一ツノ大キナ問題ダト思ヒマ
ス、是ハ御承知デモアリマセウガ、統制委
員會ニ於キマシテモ大分議論サレテ問題デ
アリマシテ、我國ノ人口増加其他ノ産業發
達ノ趨勢カラ見マシテ、或時期ニハ非常ニ
寧ろ米ノ不足ヲ感ジタ時ガアリ、今後モ今
日モ餘リ加減ノ狀況ニアルカラト云ッテ、永
久ニ増加ヲサセナイ政策ヲ執ルナドト云フ
ヤウナコトハ言ハレナイ、殊ニ豐凶ト云フ
モノガアッテ、米ノ生産ハ伸縮スルノデアリ
マス、ガ、併シ又施設ニ依ッテ米ノ増産ニ
關スル調整ヲシテ、或時期ニハ相當ノ獎勵
ヲシテ速度ヲ早メルコトモアルシ、或時
期ニハ又此速度ヲ緩メナケレバナラヌ、
今日ノ場合ハ或期間相當速度ヲ緩メテモ宜

シイノデハナイカ、サウ云フ施設ガ米穀統制
制度ト併セテ一面ニ行ハレルコトヲ必要ト
スルト云フヤウナ御答申モアッタヤウデア
リマス、之ヲ政府部内各方面ニ於キマシテ、
相當今後考ヘテ參リタイト思フテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、從テ藤原サンノ今數字ヲ
舉ゲテノ御話トハ、私共ノ見込ハ大分違ヒ
ガアルト云フコトニ相成ルノデアリマス
○藤原銀次郎君 是ハ二段ニ分レテ居リマ
スカラ、二段ニ分ケマシテ伺ヒタイト思ヒ
マスガ、私ハ内地產ノ平年作ノ米ガ六千萬
石ト見マシテ、ソレニ朝鮮、臺灣カラ參リ
マス分ヲ千二百萬石ト見マシテ、或ハ千萬
石ト見テモ宜シイ、先ヅ之ヲ七千萬石ト見
テ、サウシテ其大臣ノ御考ハ七千萬石位ニ
御考ヘニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、先
ヅ之ヲ七千萬石ト見マシテ一向差支アリマ
セヌガ、此七千萬石ト見テ、是ガ日本ノ現
在ニ於テノ需要ト供給トビツタリ合フンダ
ト云フ、斯ウ云フヤウナ御説明ノヤウデア
リマス、ソコデサウスレバ、其七千萬石ノ中
ノ約三千萬石位ガ市場デ賣買セラレテ居ル
米デアッテ、アトノ四千萬石ト云フモノハ自
家用ニナッテ、賣買セラレナイ米デアアルカ
ラ、三千萬石ヲ目標ニシテ此價格調節ヲ
スルノデアアルカラ、ダカラ其三千萬石ノ……

私ノ考ヘノヤウニ七千萬石ヲ目標トシテ調
節ヲ考ヘルノハ間違ヒデアッテ、實際ハ三千
萬石ヲ目標トシテ調節ヲスレバ宜イノダ、
斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ承ハリマシタ、ソ
レハ私ハ見解ガ大分違ヒマス、是モ私ハ少
シ違フ所ガアリマスケレドモ、之ヲ申上ゲ
ルト非常ニ長クナリマスカラ、是ハ私ハ此
際ハ申上ゲマセヌ、他日或ハ申上ゲルカモ
知レマセヌガ、假ニ大臣ノ御説ノヤウニ三
千萬石ト云フモノガ市場ニ賣買セラレテ居
ルノダカラ、其三千萬石ヲ目標ニシテ調節
スレバ宜イト、斯ウ云フ御説ヲ是ナリトシ
テ考ヘテ見マシテ、然ラバ其三千萬石ヲ目
標ニシテ何程ノ調節買ヲ……平年トシテハ
何割ノ米ヲ買ヘバ此調節ノ目的ヲ達スルカ
ト斯ウ云フコトガ、大臣ノ御説ニ附屬シテ
出ナケレバナラヌ、三千萬石賣買スルノダ、
ソレダカラ……三千萬石ヲ標準ニシテ賣買
ヲスル、併シ政府ハ之ヲ一ツモ買ハヌデモ
値段ノ調節ハ出來ルト、斯ウ云フ御説デ
ハ、御説ニナルマイト思フ、三千萬石ダカ
ラ其三千萬石ノ一割ヲ買ヘバ宜イ、或ハ二
割ヲ買ハナケレバイケナイ、二割ト見マシ
テモ六萬石、一割ナラバ三萬石、ソコデ
此三千萬石ノ價格ヲ調節スルニハ、其何割
ヲ買フカト云フコトガソコデ目標ガナケレ

バナラヌ、ソレデアリマスカラソレヲ伺フ
ノデアリマス、是ハ久米田サンモ御同感ダ
ラウト思フ、私ハサウ云フ所デ何百萬石ヲ
買フトカ、或ハ其市場ニ現ハレテ來ル米ノ
中ノ何割ヲ買フトカ云フ、茲ニ目標ガナケ
レバナラヌ、ダカラ其目標ヲ伺ヒタイ、斯
ウ云フノガ私ノ第一問デアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 三千萬石ト云フ

ノハ、マア大分ギリギリ……少シ大キク見
タ言葉ナンデス私ノ方カラ申シマス……

ガ三千萬石デ宜シウゴザイマス、其三千萬
石ノ米ガ管外ニ出テ、集散市場へ全部來ル
カト云フト必シモサウデナイ、管外ニ出ル
所ノ米ト、朝鮮カラ入ルモノト計算スルト

サウ云フ數字ガ出ル、矢張り中央ノ集散市
場、或ハ地方ノ集散市場等ニ於ケル米ノ出
方ノ厚薄ガ、米價ト云フモノニ非常ニ影響

スルノデアリマス、其場所ヘ向テ作用ス
ル力ハ、全國カラ米ノ三百萬石ヲ平均ニ各
地方カラ買上ゲルト云フノト違テ、ズット

力ヲ持チマス、從テ三千萬石ノ米ヲ假ニ目
標ト致シマシテ、其割ノ例ヘバ三百萬石
ト云フ米ヲ、集散市場デ一年間ニダラ／＼
三百萬石取ルト云フノデアリマセヌカラ、
米價ガ下ラウトスルト云フ時ニ、ソレヲ上
ゲル爲ノ必要デ、最低價格デ買上ゲテヤル

ト云フコトデ買フノデアリマスカラ、相當
ナカラ……先ヅソレガ三千萬石ニ對スル一
割ノ米ヲ、假ニ或時期ニ一時ニ買ッタトシ
マスレバ二倍ノ力ヲ持チマスカ、三倍ノ力
ヲ持チマスカ、相當ナル力ヲ以テ米ノ需
給市場ニ作用シテ、米價ト云フモノノ下
ルコトヲ喰ヒ止メルト云フ働キガ出テ來ル

ノデアリマス、是ハ過去ノ實驗ニ徴シマシ
テモ大抵サウ云フ工合ナ效果ヲ現ハシテ居
リマス、過去ニ於テ一時ニハ三百萬石買ッ

コトハアリマセヌ、或ハ五十萬石或ハ百萬
石ト云フモノガ一時ニ買ハレテ居リマスケ
レドモ、ソレデモ此値段ニ相當ナ影響ヲシ
テ來テ居ルノデアリマス

○藤原銀次郎君 サウ致シマス云フト、

季節ノ買入三百萬石ト云フ數字ヲ以テ、其
季節ノ際……出廻リノ時ニ安クナル、其

收穫時ニ安クナル、其安クナッタヤウナ場合
ニ之ヲ買ッテ、又端境ノ時ニ高クナッタ其時
ニ之ヲ賣ル、毎年三百萬石買ッテ三百萬石賣ッ

テ、ソレデ此全體ノ米ノ調節ト云フモノガ
出來ルト云フ御考デゴザイマスカ
○國務大臣(後藤文夫君) 決シテサウ云フ
考デヤアリマセヌ、此季節調節ノ方ハ……
私今申シマシタ三百萬石ト云フモノハ、此
季節調節ノ方ハ決シテ申シテ居リマセヌ、

公定價格維持ノ外、季節調節ノ方ノ話ハシ
テ居リマセヌノデス、三百萬石位買ヘバモ
ウ相當ノ效果ヲ發揮シ得ルモノダト云フコ
トハ、過去ノ經驗ニ徴シテサウ云フ工合ニ
豫想シテ居リマスト申上ゲタノデス、尙ホ
其上ヘ今ノ季節調節ノ方ガ加ハルノデ、是
ハ公定價格ノ調節デアリマセヌデ、時價デ
アッテ參ラウト思ッテ居リマス、寧ロ其働キ
ハ最低價格ニ近ヅケナイト云フ働キヲスル
デアラウト思ヒマス

○藤原銀次郎君 ソレデ漸ク大臣ノ御話ガ

分リマシタデスガ、詰リサウ致シマス云
フト季節調節ノ三百萬石ノ外ニ、公定價格
ヲ維持スル爲ニ調節スル米ノ買入ハ、先ヅ

平年ノ所デ三百萬石位買ヘバソレデ大抵維
持ガ出來ルダラウ、斯ウ云フ御話ノヤウニ
了解イタシマシタ……

○國務大臣(後藤文夫君) 平年ノ時ニハ、其

必要モ無イノデヤナイカト思ッテ居リマス、
需給ガビッタリト來マス場合デアレバ……、
平年ノ時ニドウシテ必要ガ生ズルカト申シ

マス、物價其他ノ一般ノ經濟界ノ不況等
ガ激シク來マシタ爲ニ、米價ガ需給ノ關係
カラデヤナクシテ此最低値段以下ニ壓サレ
ヤウト云フ時ニ、ソレデヤ幾ラノ買上ヲシ
テ立向ヘバソレヲ維持シ得ヤウカト云フノ

ガ、三百萬石モ買ヒマスレバ大概ノ時ニハ
維持ガ出來ルノデヤナイカ、實際ハサウモ
買ハズニ維持ガ出來ルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、若シ米ノ需給ガ大凡均衡ヲ
得テ居リマス時ニハ、僅カノ數量ニ對スル
操作デモ相當ナ利キ目ガアルノデアリマス、
是ハ矢張り生活ノ必需品デアルト云フ關係
カラデアラウト思フノデアリマス

○藤原銀次郎君 サウ致シマス、先ヅ非

常ナ不作トカ、非常ナ豐作トカ云フヤウナ
時ハ別トシテ、普段ノ年デアレバ一般物價
ノ變動ニ依ッテ公定價格ニモ影響ガアルシ、

金融其他ノ關係ニ於テ公定相場ニ影響ガア
ルカラ、サウ云フ場合ニハ政府ハ先ヅ三百
萬石モ買ッテサウシテ之ヲ調節スレバ、調節

ガ出來ルモノデアラウト思フ、斯ウ云フヤ
ウナ御説デゴザイマスカ
○國務大臣(後藤文夫君) サウデゴザイマ
ス

○藤原銀次郎君 然ラバソレハマア第一問
ノ方ハ大臣ノ御考ヲ承ハリマシタカラ、我ミ
ノ考ハ又別ニ申上ゲルト云フコトニシテソレ

デ此質問ハ打切りマス、只今ノ第二問ニ移リ
マス、私ガ此處デ先刻チョット申上ゲタ數
字ニ、私自ラガ誤リガアリマシタカラ先ヅ
以テ之ヲ訂正イタシマス、ソレハ朝鮮ノ米

ガ約九百萬石入ッテ、昭和六年ニ八百六十萬石ガ入ッテ、臺灣ノ本ガ三百萬石入ルカラ、朝鮮臺灣カラ移入サレル米ヲ約千二百萬石見ル、ト斯ウ云フ風ニ申上ゲマシタ、ソレデ是ハ丁度大正十一年カラ勘定スルト云フト、約三倍ニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタ、所ガ此八百六十萬石ト云フコトニ付テハ色々數字ニ繰リ違ヒモアッテ、大臣ノ御考デハ私ガ千二百萬石ト申上ゲタ此數字ヲ、約千萬石ト御覽ニナッテ居ル、斯ウ云フ今ノ御話デゴザイマシタカラ、假ニマア此千萬石ト致シマシテ、サウシテ極ク計數ノ樂ナ爲ニ之ヲ十年間ニ三倍ニナッタモノト斯ウ見マスデス、間違ガアッラバドウゾ御訂正ヲ願ヒマス、丁度此臺灣ノ方ハ明カニ三倍以上ニナッテ居リマス、ソコデ朝鮮ノ方ハ丁度モ約三倍ニナッテ居リマスカラ、先ヅ之ヲ三倍ト見マス、サウスルト今日千萬石……假ニ大臣ノ御考ノヤウニ千萬石朝鮮臺灣カラ入ッテ居ル米ハ、私ノ考ニ依ルト今後十年間ニ是ハ三倍スル、既往ノ實蹟ニ徴スルト三倍スルト思フト云フコトヲ申上ゲマシタ、之ニ對シテ大臣ノ只今ノ御話ヲ承ッテサウハナラナイダラウ、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ、ソコデ是ハ丁度午前中ニ大臣ノオ出デニナ

リマセヌ時ニ、此數字ニ付テ相當ナ質疑應答ガゴザイマシタガ、朝鮮ノ方ノ當局者ノ御説明ニ依ルト、朝鮮ノ産米ハ一段當リ一石、現在ノ産額ハ一石デアル、所デ内地ノ方ハ、政府ノ御調べデモ二石四斗トカ、此需給表ニ依ッテハ一石八斗五升ト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、内地デハ多イ所ハ四石モ、四石五斗モ取レテ居ルノデアリマシテ、通俗ニ之ヲ二石ト申シテ居リマスカラ、朝鮮ノ現在ノ此收穫ト云フモノハ、段當リニ非常ニ少ナイノデアリマシテ、是ハ灌溉ノ設備ノ不完全トカ、或ハ肥料其他ノ耕作ノ不完全トカト云フコトノ爲ニ、此收穫ガ少ナイノデアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、昨今朝鮮ノ農民モ肥料ヲ施シテ良イ米ヲ作ッテ、サウシテ多量ニ作ル方ガ利益デアルト云フコトニ餘程氣ガ付キマシテ、總督府ノ御努力モアリマシタガ、農民自身ノ自覺モアリマシテ、急速度ニ肥料需要ガ殖エテ居ルト云フコトハ、我我ハ常ニ實見シテ居ル所デ、肥料ガ毎年倍通りニ賣レテ居ル、ソレガ皆米ニナル、ソレデアリマスカラ、政府デ此米ノ増産ヲ御獎勵ニナラナイデモ、又其作付段別ヲ御殖シニナラヌデモ、増産計畫ヲ御中止ニナッテモ、是ハ朝鮮ノ農民ノ努力ニ依ッテ、此米

ノ産額ト云フモノハ、加速度ニ殖エテ行クモノト私ハ思ヒマス、恰モ臺灣ノ農作ガ最初ハ肥料ヲ施シマセヌ爲ニ、大層收穫ガ少クテ、二季作デアリナガラ内地ノ一季作ニ劣ルヤウナ收穫デアリマシタガ、年々此收穫量ガ多クナッテ來ツツアル、ソレデ斯ノ如ク内地ニ三百萬石モ移出スルト云フコトニナッタノモ、朝鮮耕作ノ段別ノ増加モアルケレドモ、收穫量ノ年々増加スルト云フコトハ、大臣ハ能ク御承知ノ筈デアル、サウ云フヤウニ臺灣ト云ヒ、朝鮮ト云ヒ、此米價ガ臺灣朝鮮カラ見ルト、……内地ノ農民カラ見ルト、此米價ハ安クテ、困難ナ、非常ニ難儀シテ居ル値段デアリマスケレドモ、朝鮮臺灣ノ農民カラ見ルト云フト、外ノ作物ヲ作ルヨリハ米ヲ作ッタ方ガマダ有利デアリマスカラ、アノ勤勉ナ臺灣人ハ、努力ニ努力ヲシテ米ノ増産ヲ圖ル、又朝鮮人モ是ト同時ニドシノ増産ヲ圖ルカラ、年月ヲ經マシタナラバ、内地ノヤウナ工合ニ此作付段別ヲ殖サヌデモ、段當リ二石ノ收穫ハアルモノト私共ハ見テ居ルノデアリマス、況ヤ其外ニ灌溉用水ノ設備モ逐時改良セラレルシ、其外開墾ノ面積モ、逐時殖エテ參リマスカラ、サウ云フモノヲ加算スレバ非常ニ殖エルト思ヒマス、是ハ總督府

ニ於テ御獎勵ニナルトナラナイトニ拘ラズ、段々殖エルト見テ居リマス、若シ之ヲ總督府デ禁止デモナサルト云フナラバ又格別デアリマスケレドモ、又之ヲ禁止スルト云フコトニハ參リマスマイカラ、自然ノ儘ニ放置スレバ私ハ殖エルト思ヒマス、ソコサウスレバ、今後十年間ニ約三倍ニ、此内地ニ移入スル數量ガ三倍増加スルト云フコトハ、必ズ架空ノ想像ヂヤナイ、從來ノ數字ノ上ニ立脚シテ見テ、サウ云フ風ニ見エルノデアリマス、ソコデ一般經濟論ニナリマスガ、此農民ノ經濟、朝鮮ト日本トノ間ノ經濟ハ、非常ニ此朝鮮米ノ移入ノ爲ニ、此米バカリデアリマセヌ外ノモノニ付テモ、非常ニ影響ヲ受ケルト云フコトハ是大臣モ能ク御承知デアリマス、今後日本ノ米ノ統制ヲ考ヘルニ付テハ、此朝鮮ノ米ヲドウ云フ風ニ調節スルカト云フコトヲ考ヘナイデ、此日本ノ米ノ統制ヲ圖ルト云フコトハ私ハ頗ル危険ト思ヒマス、デアリマス故ニ假ニ是ハ甚ダ過言デ言ヒ過ギルカモ知レナイガ、言葉ハドウゾ御許シヲ願ッテ、私ノ考ヘノ通りニ若シ今後此朝鮮、臺灣ノ米ガ内地ニ移入セラレル米ガ、十年間ニ三萬石ト云フコトデアレバ一年ニ三萬石殖エル、此數字ヲ先刻間違ヘテ申上ゲ

マシタ、五年間ニ千五百萬石殖エル、ソレデ丁度十年ニ三千萬石ニナル、是ハ間違テ居レバ訂正シマスガ、チョット此處デ咄嗟ニ考ヘタノデスカラ……、ソコデサウスレバ少ナクトモ年……數字カラ言フト三百萬石ニナルト、百五十萬石ヤ二百萬石朝鮮臺灣カラ移入スル數字ガ殖エナクチャナラス、ソコデ大臣ノ御説明ニ依ルト千萬石位デ需要供給ガ丁度ビタリ合フノダ、斯ウ云フ御説明デアリマス、若シサウデアルトスレバ年々百萬石ナリ三百萬石ナリ、朝鮮臺灣カラ移入ノ増加ノ數量ト云フモノダケガ過剰ニナル、假ニ移入ノ數字ガ百五十萬石ツツ殖エルトスレバ、ソレダケ過剰ニナル、百萬石殖エタトスレバ百萬石過剰ニナル、ソコデ十年間ニ是ガ三千萬石ニナルトスレバ、二千萬石ト云フノダカラ五年間ニ千萬石殖エル、斯ウ云フ勘定ニナル、サウ云フ風ニ五年間ニ千萬石殖エルトスレバ、其殖エル數字ダケ五デ割リマスカラ二百萬石ダケガ年々過剰ニナル、ダカラ内地ノ米ノ調節ノ爲ニ三百萬石ツツ御買ヒニナル必要ガアル、斯ウ致シマスレバ更ニ朝鮮、臺灣カラシテ移入スル増加ノ數量ダケ、即チ約二百萬石、二百萬石ハ本當ノヤウデスナ、約二百萬石ダケガ過剰ニナルカラ、是

ダケノ數量ヲ政府ガ御買上ニナラナケレバ此調節ハ出來ナイと思ヒマス、サウスレバ先刻ノ三百萬石ト此二百萬石、合計五百萬石ノ米ヲ御買ニナラナケレバ……季節買收ノ分ハ別デアリマス、御買ヒニナラナケレバ目的ヲ達シナイ、斯ウ云フ計算ガ出マス、ソレニ對シテ大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) サウ云フ計算ガ出ルト云フ御話デアリマスルガ、今三百萬石買ヘバ調節ノ目的ヲ達シ得ルダラウト云フ中ニハ、朝鮮カラ入ル米モ是マデノモノハ含メテ居ルト御話シタ、ソレダケ朝鮮カラ増シテ來ル、是ハ日本全國ノ年々米ノ供給ヲ大體増サナケレバナラスヤウニナッテ居リマス、人口ノ増加カラ大體割出シテ参リマス、五六十萬石乃至七八十萬石ハ年増スノデナケレバ、平年作ガ續クモノトシマスルト需要ノ調節ガ取レナイ、内地ニ於テモ相當ノ増産ガゴザイマス、朝鮮、臺灣ノ増産ガ内地ノ急激ニ消費ガ増加シマシタ時ヲ補テ與レテ居、タヤウナ狀態ナンデ、或程度ニ増シマスルコトハ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジマシテ増シマスルコトハ、是ハ必シモ好マシクナイコトダトハ申セナイ、唯今日ノ現狀ヲ見マスト云フト需給ノ均衡ガ失ハレテ居ル時ナンデアリマス、ソ

レデ若シ三百萬石ヲ、今マデノ内地朝鮮ノ米ノ需給市場ニ現ハレルモノニ操作スルニ必要ナル數量トシマスレバ、ソレ以上ニ朝鮮臺灣カラ二百萬石モ増加シテ來レバ、二百萬石取ラナケレバナラスデハナイカ、斯ウ云フノハ數字的ニハ左様ニナルと思ヒマス、併ナガラソレハ實際ノ場合ニハサウナラナイノデアリマス、三千萬石ニ對シテ假ニ三百萬石デ價格ノ維持ニ當ルコトガ出來ルトシマスルト、二百萬石朝鮮カラ餘計入ッテ來ルト云フコトハ、私ハ三千二百萬石ト云フノガ茲ニ出テ來ル譯ニナル、朝鮮カラ……、三千二百萬石ニ對シテハ矢張り三百萬石ト同ジヤウナ割合ニ、三百二十萬石ト云フ風ニナリマス、三百五十萬石トナリマス、サウ云フ働キデ大凡、キチットサウ云フヤウニ申ス譯ニハ參リマセヌケレドモ、需要ガ過剰ニナリ、數量ガ殖エテ來ル時ニハ今申シタヤウナ働キガアッテ、米ノ數量ト云フモノハ其比例デ行ッタノデハイケナイノデ、少シ大キナ額デイカナケレバナリマセヌケレドモ、其二百萬石ヲ少シモ取ラナイト云フトイカナイノダ、斯ウ云フコトニハ、過去ノ經驗デアリマシテモ、市場ニ出テ來ル米ニ操作スルトサウハナラナイ、ダカラ三百萬石、三百五十萬石買ヘ

バ濟ムト云フヤウナコトニ相成ルト思フノデアリマス、併シ此豐凶ノ關係ガ全體ニ狂ッタ時ニハ是ハズット違フノデアリマス

○藤原銀次郎君 少シ執拗イヤウデアリマスケレドモ、モウ少シ述べサシテ戴キタイト思ヒマス、是ハ議論ガ多岐ニ互ルト云コトヲ避ケル爲ニ、總テ大臣ノ御話ヲ元ニシテ私ハ立論シテ居ルノデアリマス、ソレデ大臣ノ御話デハ六千萬石ニ「プラス」千萬石、朝鮮臺灣カラ入ッテ來ル米ガ千萬石、七千萬石アレバ現在ノ所デ需要供給ハ足りルノデアル、斯ウ云フ御説デアリマス、ソレデ其七千萬石ニ對シテ、三百萬石調節買ヒマスルノダ、斯ウ云フ御説デアッタカラ、然ラバ……是ハ少シ三段論法見タイニナッテ恐入リマスガ、然ラバ朝鮮臺灣カラハ年々二百萬石ツツ殖エテ居ル、現ニ此數字デ殖エテ居ル、先ヅ今年此米穀統制法ヲ御實施ニナッテ、直グニ其需要供給ガビタリ合フ、其外ニモウ二百萬石來ルンダカラ、此二百萬石ハ更ニ御買ヒニナラナケレバ調節ガ出來ナイノデアリマセヌカト斯ウ云フコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマスルカラシテ、只今ノ御話デハ少シ事情ニ違ヒハシナイカト考ヘルノデスガ、若シ私ガ間違デアリマシタナラバ……

○國務大臣(後藤文夫君) ドウモ私ハ、矢張り同ジヤウナ御答辯ヲ申上ゲナクチャナラヌヤウニナルノデスガ、何カ米穀部長カラ……

○政府委員(荷見安君) 今ノ藤原サンノ御話デアリマスガ、一年ニ何百萬石ト云フモノガ殖エルヤウニ私ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ數字デ朝鮮ノ……此米穀要覽ノ二十八頁ノ所ヲ先ヅ第一御覽ヲ願ヒマシテ、十一年ノ三月ガ一千四百三十二萬石……

(藤原銀次郎君「何頁デスカ」ト述フ)

三十八頁デアリマス、朝鮮ノ部ト云フ所ノ大正十一年ノ産額ヲ御覽ヲ願ヒマスト、一千四百三十二萬四千石ト云フコトニナッテ居リマス、ソレガ十二年ハ千五百一萬石、十三年ガ千五百十七萬石、十四年ガ千三百二十一萬石、十五年ガ千四百七十七萬石、昭和二年ガ千五百三十萬石、昭和三年ガ千七百二十九萬石、昭和四年ガ千三百五十一萬石、斯ウ云フ風ナ數字ニ順次ニナッテ参リマス、其間二年ニ豊凶ガゴザイマスカラ、産額モ自ラ殖エル年モ減ル年モゴザイマス、併ナガラ一年ニ二百萬石ヅツノ割合デ増加スルト云フ譯ニハ参リマセヌ、若シモ二百萬石ヅツノ大體ノ大勢デ増加スルト云フコトデアリマスルト、此産額ト云フモノ

ハ十一年カラ六年マデノ間ニハ二千萬石殖エマシテ、三千四百萬石モ産額ガ殖エルカト云フノデアリマスガ、大體千四百萬石カラ始メマシタ産額ガ、只今ノ平年作デハ千六百萬石ト云フコトニ言ハレテ居ルノデゴザイマスカラ、大體産額ノ増加ト云フモノハ、是ハ平均ヲ出シテ見マスト、十年間ニ今仰シヤル一年間ノ二百萬石位ノ増、一年間ニハ二十萬石位ノ増デハナカラウカト思フノデアリマス、段當リ收穫カラ申シマシテモ内地ニ於テハ一石程度ノ段當リ收穫カラ一石九斗程度ニ達シマスル爲ニハ四十年乃至五十年ノ年數ガカカテ居リマスノデ、朝鮮ノ過去二十箇年ノ段當リ收穫進歩ガ甚ダ遅イノデアリマスカラ、ドウ云フ工合デアルカト云フコトヲ見マスト、二十年前ニ段當リ收穫ガ八斗位ノモノガ今日九斗カラ一石ト云フノデアリマシテ、此段當リ收穫ノ増加歩合ト云フモノハ極メテ少ナウゴザイマス、勿論御話ノヤウニ最近非常ニ肥料モ能クヤリマスサウデ、ソレデ段當リ收穫量モ相當増スノデハナカラウカト思ヒマスケレドモ、大體是マデノ状況カラ見マスト、段當リ收穫カラ見マシテモ、生産總額カラ見マシテモ、御話ノヤウニ急速ナ程度ニ於テハ增收ト云フコトハ出來ナイ、從テ其移

入サレマス數量ト云フモノモ餘リ澤山出來ナイノデハナカラウカト私考ヘマスノデ、御參考マデニ申上ゲマス、尙ホ此移入數量デゴザイマスガ、移入數量ノ割合ト云フモノハ是ハ年々出産額ニ對シテ増加スル傾向ハゴザイマス、ゴザイマスケレドモ只今御話程ニハナッテ居ラナイヤウニ考ヘマス、デゴザイマスカラ何ト申シマスカ、ソレ程急激ニハ増サナイモノデハナカラウカト云フコトガ一應御考ヘガ願ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) チョット私モ附加ヘマシテ……私ノ今御答ヘシマシタノハ二百萬石ト藤原サンガ仰セラレタ其二百萬石ヲ、假ニサウ云フ工合ニ増加スルモノトシテ御話ヲシタコトナンデアリマス、今各一段當リ一石……一段當リ一石ト云フモノ

ガ倍加スルノハ必シモ容易デナイコトハナイダラウ、或ハ米穀部長ノ御説明シタ所ヨリモモット急速度デ、今日はダケ人智モ進歩シタカラ、今マデ四五十年モカカッテモ今後ハ五年位出來ハシナイカト云フヤウナ御推測モ出來ルカモ知レマセスケレドモ、今日マデノ米穀ノ生産ガ朝鮮臺灣デ増加シマシタ原因ハ可ナリ大キナ事情ガアルト思ヒマス、殊ニ臺灣ノ如キハ近年一時ニ七八十萬石モ一年ニ増加シテ居リマス、是ハモ

ウ特別ニ彼處ノ耕地改良ガ非常ニ大キナモノガ行ハレタ結果デアリマシタ、サウシテ此増産ハ其處ダケノ場所ヲ取テ見マスト……他リ區域ノ段當リノ增收ヲ別ニシマシテ、サウ云フ大キナ改良ノ行ハレタ地域ヲ取テ見マスケレバ、必シモ年々同ジ數量デ其生産額ガ繰返サレナイヤウナ場所モアルト云フ、斯ウ云フ特殊ナ事情ガ臺灣ノ米ノ生産ナドニハアッタ、ソレハ今後同ジヤウナ増産ガ起ルトハ想像サレナイヤウナ事情デアリマス、併シ御承知ノヤウニ全體的ニ改良ガ行ハレテ、面積デ段歩モ殖エテ來レバ、段當リノ増産ト云フモノガ相當ニ豫想サレ得ルデハナイカ、ソレハ或程度ニ起リ得ルノデアリマスガ、併シ私御想像ノヤウナ程度デハ行キ兼ねルト云フヤウナ見解ヲ持テ居リマス、ソコデ百萬石ヅツ殖エテ十年間ニ千萬石ヅツ殖エマスカ、又モウ少シ減リマスカ、或ハモウ少シ多クナルカ、サウ云フ所ハ假ニ想像ヲ付ケテ見マシテモ、一方ニ内地全體ノ米ノ需要ト云フモノノ増加ハ、平均スレバサウ見ナケレバナラナイ、是ハ經濟界ノ好況不況ニ依ッテ變化スルノデアリマスケレドモ、長イ目デ見マストズット需要モ増加シテ來ル、ソレデマア七千萬石ト云フコトヲ今年申シマスルノハ來年

ニナレバ七千五百萬石、再來年ニナレバ八千萬石ト言フタ方宜イカモ知ラス、サウ云フヤウナ計算ヲ推シテ見ル、實際ノ場合ニハモト變化ガアリマス、サウシマスルト朝鮮、臺灣等ノ植民地ノ米ノ生産ガ、内地ノ米ノ需給關係ニ可ナリ大キナ影響ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、私共ハ決シテ否ミマセヌ、ソレデ今度ノ季節米調節等ニ付キマシテモ、植民地米ニ付キマシテ相當働キカケナケレバナリマセヌノデアリマス、又植民地自體ニ於テモ色ミナ調節ノ方法ヲ講ズル、施設ヲスルト云フヤウナコトデ努力ヲ始メテ居ルヤウナ譯デアリマス、デサウ云フ方法ガ全體トシテ考ヘラレテ參リマスレバ、今後植民地米ノ増加ガサウ急激ニ著シク内地ノ米價ヲ壓スル、其影響ガ從テ米穀特別會計ノ、我々ノ持ッテ居ル見込ヲ直ニ叩キ壞ハシテシマフト云フコトニハ、容易ニ相成ラナイデアラウト考ヘマス

○藤原銀次郎君 先刻政府委員ノ御説明デハ、此生産高ノ産額ノ方ノコトヲ御説明ニナリマシタ、私ハ同ジ其表ノ中ノ此内地ヘ移出シタ數量ヲ土臺ニシテ御話シテ居ル、ソレデアリマスカラ内地ヘ移出シタ數量カラ申上ゲマスレバ、大正十一年ニハ二百九十六萬石ト出テ居リマシタカラ、之ヲ私ハ約三百萬石ト見タ、昭和六年ニ於テ八百六十萬石ト出テ居リマスカラ、之ヲ約九百萬石ト見テ、極ク「ラフ」ニ三倍ニナル、斯ウ申シタノデアリマス、又臺灣ノ方モ大正十一年ニハ七十四萬石トシテアル、臺灣カラ内地ヘ來タ米ガ、ソレガ昭和六年ニハ三百萬石トシテアッタカラ、之ヲ約三倍ニナッタ、斯ウ云フ風ニ極ク「ラフ」ニ考ヘテ申上ゲタノデアリマシテ、此數字ニ間違ガ若シアリトスレバ……、此米穀要覽ニ間違ガナケレバ、私ノ申上ゲタ數字ノ方ハ間違ヒナイト私ハ思ッテ居リマス、ソレカラ段々ニ話ガ明瞭ニナッテ來テ私モ非常ニ満足イタシマシガ、此勘定ニ依ルト五年間ニ千萬石殖エル譯ニナリマス、此勘定ニナリマス十年間ニ二千萬石

○國務大臣(後藤文夫君) 過去ヲ以テ將來ヲ其儘推ストスレバ……

○藤原銀次郎君 左様デアリマス、ソレデアリマスカラ、一年ニ二百萬石殖エルト云フコトニナル、デスカラ若シモ此七千萬石デ需用供給ガ絕對ニ出來得ルトスレバ、大臣ノ御説明ノ通り人口増加、其他ニ依ッテ米ノ需要ガ増加スレバ、ソレヲ差引スレバ餘計ニ殖エナイト云フ御説明デアリマスガ、ソコデ私ハ是ハ元ニ戻リマシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、斯ウ云フ大事業ノ御計畫ヲナサイマスノデアッテ、我ガ日本ニ於キマシテハ生活必需品中ノ必需品デアリマシテ、先日來度ミ政府委員モ御説明ニナッテ通り、チヨット之ヲ下手ニ取扱フト云フト、米騒動ノヤウナ事件ガ起ラナイトモ限ラナイヤウナ非常ニ生活ニ必要ナ、又昔カラ米ト云フモノハ舊幕時代カラ色ミノ騒動ヲ起シテ來タ歴史ノアル商品デアリマス、斯ウ云フ商品ニ向ッテ前古未曾有ノ、又餘リ海外ニモ例ノナイヤウナ、我國ニ於テモ例ノナイヤウナ、斯ウ云フ大計畫ヲ御斷行ニナルトスレバ、ドウカ私共ニサウ云フコトニ付テ、政府ハ斯ウ云フ計畫ヲ講ズルノダト云フコトヲ、只今御話ノヤウナコトヲ、數字デ御示シテ願ヒタイ、我々ハ過去ニ於テノ計算ヲ推シテ行ッテ、十年間ニ三倍シテ居ルノデアルカラ、過去ニ於テモ三倍シテ居ルシ、又朝鮮、臺灣ノ今日ノ實情カラ見テモ、將來ハ矢張り同ジ數字デ殖エルデアラウ、斯ウ云フ風ナコトヲ申上ゲテ數字的ニ伺フノダカラ、政府ガ是ダケノ大計畫ヲナサルノニ、數字的ニ之ヲ御説明ナサルト云フ材料ガ必ズオアリニナッテ居ルダラウト思フ、唯殖エナイト思フ、人口ノ増加モアルカラ差引キ宜イト思フ、二百萬石來ルト云フコトニナッテ居ルケレドモ、朝

鮮モサウハ殖エナイカラ大丈夫ダと思フ、サウ云フ風ニシテ、數字的ノ御説明ガナイモノデアリマスカラ、ドウモ何ボ伺ッテモ我々ニ十分ニ了解ガ致シ兼ねルノデアリマス、ダカラ我々ガ此數字ニ依ッテ御質問ヲ申上ゲタ時ニハ、政府ニ於テモ矢張り君ハサウ云フケレドモ、政府ハ斯ウ見テ居ルト云ッテ、政府ノ數字ヲ以テ御説明ヲ願ヘレバ、先刻ノ例ヘバ政府委員ノ御話ニナッテ通りニ、産額ノ方ヲ出シテサウハ殖エナイト仰シヤルケレドモ、私ハサウヂヤナイ、内地ニ移出ノ數量額ハ殖エテ居ル、斯ウ云フ工合ニ數字的ニ申上ゲマシタラ非常ニ話ガ早イト思フガ、如何デスカ

○松本眞平君 是ハ少シ藤原サンノ方ト、政府ノ方ノ間ニ喰違ヒガアルト私ハ思フ、藤原サンハ三十九頁ノ一番最初ノ行ヲ御覽ニナッテ朝鮮ノ輸出ト云フ、輸出米ノ漸次増加シタ割合ヲ御話ニナッテ居ルノデ、是ハ其通りデセウ、併シ一方政府ノ方デハ、朝鮮ノ産額ハ左様ニ殖エナイ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、ソコニ數字ノ喰違ヒガアルダラウト思フ、藤原サンノ御話モ御尤デアルシ、政府ノ御話モ御尤デハアリマスガ、要スルニ産額ヲ基礎トスレバモウ是ハ今ノ荷見サンカラ御話ノ通りデアルシ、唯朝鮮

カラ内地へ移出シタト云フ分量カラ言ヘバ
藤原サンノ御話ノ通りデアル、併ナガラ無
イモノガサウ殖エル譯ニモ行キマセヌノデ、
是ハ一ツ藤原サンノ方ノ數字ハ政府委員ノ
方ノ數字ト、何處カ之ヲ押付ケテ話ヲセ
ヌト云フト、何時マデ行テモ喰違フダラ
ウト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 數字デ尋ネルノ
ダカラ數字デ答ヘロト云フ御話デアリマス
ガ、數字モ大體見込ノモノハ御手許ニ差上
ゲテアルノダト思ッテ居リマス、將來ノ内地
ニ入ッテ來ル朝鮮米ノ推算ニ付キマシテ
ハ……

○藤原銀次郎君 私ガ伺ヒマスノハ其數字
デナイノデス、此米穀統制法ニ依ッテ今後
調節トシテ御買上ゲニナル數字ヲ六百萬石
ト豫定シテ、季節買上ゲノ數字ヲ三百萬石
ト豫定スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
ス、ソコデ六百萬石ニ付テ質問ヲ前回來度
度イタシマシタ所ガ、ソレハ六百萬石ト豫
定スルノダケレドモ、實際六百萬石ヲ買上
ゲテ、二箇年ニ亙ッテ千二百萬石買上ゲル
ト云フノデハナイ、唯示シテ居ルダケダト
云フ御話デアリマス、ソコデ私ハ、然ラバ
ト云フノデ今日迄色ミ質問ヲ申上ゲタ所ガ、
マア三百萬石ハ、季節買上ゲノ外ニ三百萬

石位ハ買上ゲナケレバ此調節ガ出來ナイデ
アラウト云フコトヲ今日初メテ大臣カラ伺ッ
タ……

○國務大臣(後藤文夫君) チョット前提ガ
違フト先キノ話ガ違ヒマスガ、三百萬石位買
上ゲレバ調節ノ必要ノアル時ハ調節ニ應ジ得
ルカラト云フノデ、今後毎年三百萬石買ハネ
バナラヌト云フコトハチットモ豫想シテハ居ラ
ナイ、最低價格ヲ維持スルニ付テハ、最低價格
ノ申込方來タト云フ時ニ應ズルノデ、六百
萬石ト云フコトハ、資金ノ限度ヲ決メル上
ニ、餘分ノ餘力ヲ常ニ十分ニ持タネバナラ
ヌカラ之ヲ決メテ居リマスケレドモ、實際

働ク時ニハ三百萬石デ效果ハ舉ガルダラウ、
斯ウ云フノデアリマス、ソレナラ來年三百
萬石、再來年ト、毎年ソレヲヤルノカト云
フト、必要ノナイ時ニハヤリマセヌ

○藤原銀次郎君 必要ノナイ時ハヤリナイ
コトモ分ッテ居リマス、併シ凡ソ三百萬石位
買フンダト云フ肚ヲ以テ此數字ヲ御出シニ
ナッタト思ヒマスガ……

○國務大臣(後藤文夫君) 買フ必要ノアル
場合ハ三百萬石買フ

○藤原銀次郎君 ソレデ宜シウゴザイマス、
サウスルト云フト其前提ノ下カラ云フト、
ドウシテモ朝鮮臺灣カラ輸入スル數字ガ年

年二百萬石ヅツ殖エル勘定デアルカラ、是
ハ需要供給ノ外ニ殖エルノデアルノダカラ、
其數字ダケハ餘計ニ御買上ゲニナラネバ大
臣ノ御説明ニナラナイデヤアリマセヌカ、
斯ウ云フコトヲ伺ヒマシタ、ソレデ其必要
ガナイ、人口増加モアッカリ色ミスルカラト
云フ御話デアリマス、併ナガラ人口増加ヲ
幾ラト見テ、輸入數量ガ幾ラト見テ、ソレ
デ之ヲ斯ウ云フ工合ニ政府ハ見テ居ルカラ、
君ノ言フヤウナ工合ニナラナイノダ、斯ウ
云フ工合ニ數字ノ御説明ヲ願フコトガ出
來ルナラバ話ガ分ル、斯ウ云フコトヲ申上
ゲタノデアリマス

○國務大臣(後藤文夫君) 其數字ハ差上ゲ
テアル筈デアリマス

○政府委員(荷見安君) ソレハ「將來五箇
年間ニ於ケル米穀ノ推定需給概算」ト致シマシ
タ一枚刷リノ表ガ御手許ニ差上ゲテアリマ
ス筈デアリマス、參考材料ノ中ニ入ッテ居ル
譯デアリマス、サウシテ「最近五箇年ノ實
績ヲ參酌シ參考資料ノ一トシテ米穀部ニ於
テ試ミニ推算セルモノナリ」ト云フ數字ノ
表ヲ一ツ差上ゲテアル筈デアリマスガ……
○國務大臣(後藤文夫君) 今ノ數字ニ附加
ヘテ藤原サンニ申上ゲマスガ、將來ノ見込
ヲ立テルト云フコトハ非常ニムヅカシイノ

デス、一應ノ過去ノ計數カラ現ハシタ推算
デアリマス、朝鮮カラ米ノ出テ來マス事情
ハ、増産ノ爲メノ時モアリマセウシ、又經
濟界ノ事情ニ因ル時モアリマシテ、色ミナ
變化ガアルノデアリマス、ケレドモ大體過
去ヲ以テ將來ヲ推シタト云フソレガ數字デ
アリマス

○藤原銀次郎君 ソレデゴザイマシタラバ、
此數字ヲ能ク拜見イタシマシテ此問題ニ付
キマシテノ御質問ハ、之ヲ拜見イタシマシ
タ上デ……私ハ之ヲ拜見イタスコトヲ失念
イタシタモノデスカラ、之ヲ拜見イタシマ
シテ更ニ繼續イタシマスコトニシテ、今度
ハ私ガ大臣ニ伺ヒタイト思ッテ居リマシタ
私自身ノ問題、是ハ今ソレニ關聯シタ問題
デ申上ゲタモノデアリマスカラ、私自身ノ
質問ヲ申上ゲタイト云フ問題ニ移リタイト
思ヒマス、前回ニ於キマシテ、私ハ昭和二
年カラ、昭和六年マデノ勘定ヲ致シテ見マ
シタ所ガ、一石ニ付テ政府ノ損ヲシテ居ル
金高ガ二十七圓ニナルト云フコトヲ申上ゲ
マシタ、所ガ大臣ハサウハナラナイダラウ
ト思フ、斯ウ云フヤウナ御話ガアリマシテ、
其點ガ不明ニナッテ居リマス、ソレデ此問題
ハ今度ノ新ラシイ統制法ヲ研究イタシマス
ルニ付テ、最も重要ナ問題デアリマシテ、

此統制法ヲ實施シテ國庫ガドレ程損ヲスル
ノデアルカ、勿論其ノ損ヲ厭フノデアリマ
セヌ、若干ノ損ヲスルト云フコトハ無論已
ムヲ得ナイコトト思ヒマスガ、併ナガラ其
損ガドレ位損ガアルノカ分ラナイデ、行キ
當リバツタリ、損ハ仕放題デアルト云フ統制
ノ仕方ヲシテ宜イノカ、斯ウ云フ譯ニハ參
リマセヌ、又ソレニ我々ハ協賛シテ行クト
云フ譯ニモ參リマセヌ、ソレデアリマスカ
ラ從來ノ過去ノ經驗カラドレ程ノ損ガア
タカ、從テソレカラ類推シテ將來ドレ程ノ
損ガアルカト云フコトヲ我々ミトシテハ詮議
ヲスルノガ、此問題ノ最モ重點デアラウト
思フ、ソレ故ニ大臣ノ御説明ガアリマシテ、
成程昭和二年カラ切ッテ勘定スルト云フコ
トハ宜シクナイト云フ大臣ノ御説ハ御尤モ
デアリマス、私ハ唯最近ノ分ヲ昭和二年
カラ勘定シテ見タノデアリマシテ、昭和
二年カラ勘定スレバ二十七圓ノ損ニ
ナルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシ
テ、大臣ノ御説ニ基キマシテ、大正十年カ
ラズツ今日ニ至ルマデノ數字ヲ全部擧ゲ
マシテ調べテ見マシタ所ガ、大正十年カラ
玆ニ私ハ御參考ニナラウト思ヒマスカラ一
應朗讀ヲ致シマス、大正十年ニハ五圓九十
六錢七厘、利益ニナツテ居リマス大正十年

ニハ、……ソレカラ十一年ニハ十八圓三十
二錢五厘損ヲ致シテ居ル、十二年ニハ十四
圓七十二錢四厘損ヲ致シテ居ル、ソレカラ
十三年ニハ二圓六十五錢六厘損ヲ致シテ居
ル、十四年ニハ十三圓八十九錢損ヲ致シテ居
ル、ソレカラ昭和元年ニハ、ドウモ此數字
ガオカシイケレドモ、此數字ガ出マスカラ
玆デ朗讀イタシマス、一百二圓八十四錢損
ヲシテ居ル、昭和二年ニハ二十八圓四十九
錢八厘損ヲシテ居ル、昭和三年ニハ三十九
圓三十一錢八厘損ヲシテ居ル、昭和四年ニ
ハ四十八圓六十五錢九厘損ヲシテ居ル、昭
和五年ニハ二十四圓二錢三厘損ヲシテ居
ル、昭和六年ニハ十四圓三十三錢一厘損ヲ
シテ居ル、大正十年カラ昭和六年マデヲ通
計イタシマシテ、二十三圓一錢七厘是ダケ損
ヲ致シテ居ル、是ハ政府カラ提出セラレマ
シタ數字ニ依ッテ私ガ此處ヘ拾ヒ擧ゲテ勘
定ヲ致シマシタ數字デアリマスカラ、大概
間違ヒナイト思ヒマスガ、若シ間違ッテ居
リマシタ御訂正ヲ願ヒマス、ソコデ今度
ハ其損ノ内譯ヲ申上ゲマスレバ米ノ賣買ノ
差損デスガ、米ノ賣價ト買價、政府デ御買
ヒニナツタ値段ト御賣リニナツタ値段ノ損デ
アリマス、米ノ賣買カラ起ッテ居ル直接ノ
損デアリマス、大正十年ニハ一圓七十九錢、

大正十一年ニハ十四圓三十七錢、大正十二
年ニハ九圓三十四錢、十三年ニハ二圓九錢
ノ益ニナツテ居リマス、是ハ利益デアリマ
ス、十四年ニハ六圓四錢ノ損ニナツテ居ル、
昭和元年ニハ十一圓八十七錢ノ損ニナツテ
居ル、昭和二年ニハ十七圓十三錢ノ損、昭
和三年ニハ九圓九十三錢ノ損、ソレカラ昭
和四年ニハ七圓九十五錢ノ損ニナツテ居ル、
昭和五年ニハ五圓六十五錢ノ損、昭和六年
ニハ三圓九十一錢ノ損デアリマス、之ヲ總
平均イタシマスト云フト七圓二錢六厘ノ損
デアリマス、ソコデ其外ニ米ノ賣買ノ損ノ
外ニ、金利、倉敷トカ云フ經費デスガ、サ
ウ云フモノノ損ガドレ位ニナツタカト云フ
コトヲ申上ゲマスト云フト、大正十年ニハ
七圓七十五錢七厘ノ益ニナツテ居リマス、ソ
レカラ大正十一年ニハ三圓九十五錢五厘ノ
損ニナツテ居ル、大正十二年ニハ五圓三十
八錢四厘ニナツテ居ル、大正十三年ニハ四
圓七十四錢六厘ニナツテ居ル、大正十四年ニ
ハ七圓八十五錢、昭和元年ニハ九十圓九十
七錢、チヨットオカシイデスガ斯ウ云フ數
字ガ出マスカラ是ハ其儘申上ゲテ置キマス、
昭和二年ニハ十一圓三十六錢八厘ノ損デア
ル、昭和三年ニハ二十九圓三十八錢八厘ノ
損デアル、昭和四年ニハ四十圓七十錢九厘

ノ損、昭和五年ニハ十八圓三十七錢三厘ノ
損、昭和六年ニハ十圓四十二錢一厘ノ損デ、
總平均ヲ申シマスト、大正十年カラ昭和六
年マデ總平均イタシマシテ十五圓九十九錢
一厘ノ損ニナツテ居ル……
○阪本鈺之助君 チヨット委員長ニ伺ヒタ
イノデアリマスガ、今御讀ミニナツタ中ニ得
ニナツタ年ガアリマスガ、ドウシテモ得ニナ
ルベキ管ノモノデナイノデスガ、ドウ云フ
譯デアリマスカ
○藤原銀次郎君 ソレハ得ニナルコトモゴ
ザイマスガ……
○阪本鈺之助君 ソレヲ一ツ御説明願ヒマ
ス
○藤原銀次郎君 ソレハ相場ノ安イ時ニ
買ッテ高クナツタ場合ハ……
○阪本鈺之助君 サウデナイ、今其實買シ
タ方ハ得ノ年モアリマセウガ、後ニ御讀ミ
ニナツタ方ハ倉敷トカ、利息トカ、或ハ事務
費トカ云フモノト仰セニナリマシタガ、事
務費トカ倉敷トカ云フモノハ得ニナルベキ
管ノモノデヤナイ、皆貸方ニナル管ノモノ
デアルト思ヒマスガ、ソコハドウ云フモノ
デアリマスカ
○藤原銀次郎君 ソレハ政府ノ方カラ……
ソコデソレハ今此表ヲ政府ニ差上ゲマシ

テ、サウシテ政府カラ更ニ詳シク御説明ヲ求メタイト私ハ希望シテ居リマスガ、モウ少シ私ニ質問ヲ繼續サシテ戴キタイト思ヒマス、ソコデ此數字ハ先ヅ一石ニ付テ、此米穀法實施以來二十三圓一錢七厘ト云フ損ニナルノデアリマスカラ、此數字ハ先ヅドウシテモ政府ニ於テモハ肯定セラレルモノデハナイカト存ジマスガ、假ニ此私ノ計算ニ間違ヒガナイトシテ、今日マデノ數字ガ此通りデアルト、先ヅ假定イタシマシテ、ソコデ私が始終度ニ御質問ヲ申上ゲマシタケレドモ、要領ヲ得ナイノハ、前回ニ於テモ私度ニ申上ゲテ置キマシタノデスガ、兎ニ角此金利、倉敷其他ノ諸經費ガカルカラ大キナ損ニナルノデアッテ、米ノ賣買カラ起リタ所ノ損ハサウ大キナル筈ハナイノダト云フ、斯ウ云フヤウナ政府委員ノ御答辯デアリマスカラ、ソコデ調べテ見ルト云フト成程其通りデ、米ノ賣買カラ起リタ損ハ七圓二錢六厘デ、金利、倉敷カラ起リタ損ガ十五圓九十九錢一厘デアリマスカラ、此方ガ非常ニ大キイト云フコトハ是分リマシタ、ガ併シ此處デ御伺ヒ致シタイノハ、此米ノ賣買ニ付テ左様ノ損ガ立ッタルト云フノハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ、先達デカラ度ニ申上ゲルケレドモ、

サウシテ色ニ御説明ハアルケレドモ要領ヲ得ナイノデアリマス、得ナイカラハハドウゾ政府ニ於テ御差支ガゴザイマセヌケレバ、斯ウ云フ損ガ起リタノハ斯ウ云フ事情デ損ガ起リタダト云フコトヲ、概略ノ御説明デ宜シイカラ、是ハ數字的ニ御説明ヲ承ハリタイ、ソレデハハ已ムヲ得ズ是ダケノ損ガ起ルベキ事情ガアッテ起リタモノデアレバ、又ソレニ對シテ我ニハ彼此レ申ス譯デヤナイ、私共ハ政府ヲ糾彈スルカ何トカ云フヤウナ、政黨ノ考ヘナドモ毛頭アリマセヌカラ、又政府委員ニ對シテ難題ヲ吹込シテ困ラセテ、ソレヲ喜ビトスルト云フヤウナ、サウ云フケチナ量兄ハ更ニアリマセヌカラ、唯此話ガ明瞭ニナッテ、此米穀法實施ヲ、今度ノ新シイ、我日本ノ開關以來初メテノヤウナ新シイ方法ヲ御設定ニナル、其參考トシテハドウシテモ既往ノ此實蹟ト云フモノヲ明カニシテ、ソレカラデナイト、私ハ此新シイ方法ニ付テ自分ノ考ヘヲ決定シ兼ネルカラ、此損ノ起リタ事情ハドウ云フ譯デアアルカ、先ヅ一番大キナ損ハ品傷ミ、格下、目減ダトカ云フヤウナコトガ一番大キナ原因デアラウト思ヒマス、ソレカラ又古米ニ付テ、此處ニ私共ガ頂戴シテ居ル此表ニ依リマシテモ、是ハ昨日來段々

問題ニナッタ所デアリマスガ、一月三十日ノ調ニ依ッテモ、五年度ノ米ガ六百五十萬石モアル、六年ノ米ガ二百萬石モアルト、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、段々米ガ古クナルノデ格下ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトガ、此表ニ依ッテモ分ルノデアリマスカラ、ソレデサウ云フ事情ニ依ッテ此損ガ立ッタルモノデアラウト推察イタシマスガ、併シ是ハ是ダケノ數字ヲ私共ニ御提供ニナル以上ハ、其内譯、明細モゴザイマセウト思ヒマスカラ、又ナケレバナラス筈ダト思ヒマスシ、ナケレバ是ガ出來ル譯ガナインシ、是ハ簿記ニ依ッテ御計算ニナッテ居リマスカラ、譯ナク……、此材料ハ御手許ニアルベキ筈デアアルカラ、斯ウ云フ事情デ是ダケノ損ニナッタト云フ計算ヲ數字的ニ御説明ヲ願ヒ、毎日斯ウ同ジコトヲ繰返シテ申シテ、マア君ハサウ云フケレドモサウ損ハナイ、サウデヤナイ、サウ云フ損ガアル、斯ウ言ッテ議論ヲシテ居ッタ所ガ果シガナイカラ、私ハ斯ウヤッテ克明ニ實ハ數字ヲ調べテ、此處ヘ提供シタ譯デアリマスカラ、ソレニ對シテ政府カラ數字的ニ御答辯ヲ願ヘレバ一番結構デアリマス、若シ其數字ノ中ニ政府ガ公ニスルコトヲ憚ル、斯ウ云フヤウナ事柄ガゴザイマ

シタナラバ、私共不肖ナガラ其政府ノ立場ヲ諒ト致シマシテ公ニスルコトヲ差控ヘテ、或ハ秘密會ニ致シテモ宜シイシ、筆記ヲ除イテ中止シテ置イデ伺ッテモ宜シイ、兎ニ角此計數ガ米穀法ノ根幹ニナルノデアアルカラ、其今日マデノ經過ヲ明カニシテ、私共ノ誤解デアレバ誤解デ結構デス、又政府モ今後ノ統制法ヲ御實施ナサルノニ、從來ニ於テサウ云フ大キナ損ガ立ッタルスレバ、今後ハドウシタラ宜イト云フコトニ付テ御參考ニナッテ、是ガ他山ノ石ニナレバ私共モ大變仕合セト思ヒマスカラ、虚心坦懷ニ其數字デ御説明ヲ願フコトヲ私ハ希望イタシマス、若シ數字デナシニ毎日議論ヲ重ネテ參リマス、會期切迫ノ際ニ同ジヤウナコトヲ繰返シテ、質問應答ニ長イ時間ヲ要スルノデアリマシテ、他ノ同僚諸君ニモ非常ナ御迷惑ト存ジマスカラ、願ハクバ私ハ數字ニ依ッテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(後藤文夫君) 藤原サンノ御希望ニナッテ居ル所ハ初カラ能ク分ッテ居リマス、過去ニ於テ米穀特別會計ガ損失ヲ生ジテ居ル、此損失ハ具體的ニドウ云フ事情ニ依ッテソレゾレ生ジテ來タカ、サウスルト今後ノ特別會計ノ成行ヲ考慮スル時ニ、ドウナルモノデアアルカト云フコトヲ推測スル

材料ニシタイ、我ミモ矢張り過去ノ何ヲ以テ將來ヲ推シテ色ミニ推測ヲシテ居ルノデアリマス、其次第ヲ明カニ致シマスルコトハチットモ厭ハナイ所デゴザイマス、サウシテ要點ガ何處ヘラニアルカト云フコトヲハッキリ御承知ヲ願フコトモ、寧ロ希望スル所デアリマスガ、ソレヲ抽象的ニ申上ゲマスルト是マデ申シテ居ル所ニ歸スルノデアリマス、數字ハ出來ルダケハ御覽ニ入レテモ宜カラウト思ヒマスガ、個々ノ米ヲ賣タ數字ニ付テハ先日米穀部長カラ申シタヤウナ事情モアリマスルシ、非常ニ澤山ノ件數ガ多イシ、色ミノ機會ニ整理米其他ノモノニナリマスレバ、其時ニニ數量ハ少クテモ、其時ノ値段ニ依ッテ皆違ッテ居リマスカラ、サウ云フ細イモノヲ御覽ニ入レル譯ニ到底行キ兼ねルノデアリマスガ、是ハ原簿ニ付テ材料ヲ取ッテ來マセスト、今日デハソレ程正確ノモノハ得ラレマセヌ、今日十石賣タ、翌日モ二十石拂下ゲタト云フ時ト、其値段ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ、其一々ノモノニ付テノ細カイ數字ハ到底ムジカシイト思ヒマス、整理拂下ゲ米ハ何萬石ト云ッテソレヲ平均シテ見ルト幾ラニナルカト云フコトニナルノデアリマスカラ、サウ云フ細カイ所ニ觸レマセヌ

デ、略ボ大數デ御分リニナルト云フ所デ宜シケレバ御覽ニ入レテモ宜シイト思ヒマス
○藤原銀次郎君 大臣ノ御説明デ私ハ満足イタシマシタ、勿論私モ其數字ノコトヲ多少心得テ居リマスカラ、サウ云フ細カイモノヲ一々頂戴シテモ却テ此方モ迷惑ヲ致シマスシ、政府ノ此方ヘ御提供下サイマシタモノハ、皆簿記法ニ依ッテ記帳サレテ居リマスカラ、此簿記法ニ依ッテ内譯ヲ御出シニナリマススト云フコトハ、非常ニ帳簿ノ技術的ニ考ヘテ簡單ノコトト思ヒマスガ、サウムヅカシイモノヲ出シテ戴キマススト拜見スルノニ困リマスカラ、茲ニ材料ガ非常ニ要約シテ簡單ニ出テ居リマスノハ、餘程簿記法ニ精通シタ方ガ此材料ヲ御示シニナッテ居ルニ相違ナイト思ヒマスカラ、其點ニ於テ他ノ政府ノ特別會計ノ書類ヨリモ、私共ニ御提供下サイマシタモノハ總テ簿記式ニナッテ居ルノデ、我ミガ拜見スルノニ大變樂デアリマス、ソレデ此書類カラ推察スルト我ミノ満足スルヤウナ數字ガ容易ニ出來得ルト私ハ思ッテ居リマス、私ハ技術的ニ見レバサウ思ヒマスカラ、大臣ノ御説明通りデ宜シウゴザイマスカラ、ソレヲ一ツ數字のニ御説明ヲ願ヒタイ
○國務大臣(後藤文夫君) チョットモウ一

ツ申上ゲテ置キタイノハ、其表ヲ後デ寫サシテ戴キタイト思ヒマス
○藤原銀次郎君 承知イタシマシタ
○國務大臣(後藤文夫君) 多分何十圓、何十圓ト仰ッシャッタノハ石當リノ損ノ出方額ヲ御計算ニナッテ居ルト思ヒマス、何レ後デ御説明ヲ伺ッテモ宜シウゴザイマスガ、石當リト云フコトハチョット私共ニハ分リ兼ねルノデアリマス、何ヲドウ云フ工合ニ當テタモノデアリマスガ、賣タ數量ト買ッタ數量ト隨分違ッテ居リマスシ……
○藤原銀次郎君 イヤソレハ大臣ニハ御分リニナリマセヌデモ、政府委員ノ方デハ能ク御分リニナルト思ヒマス、全體ノ御賣リニナッタ數量ガ書イテアリ、其御賣リニナッタ値段ガ書イテアル、今年ハ何百萬石賣ッテ其値段ハ何百萬十萬圓ト云フコトガ書イテアル、又買ッタ方ハ是ダケ買ッテ、其値段ガ何千何百何十萬圓ト云フコトガ書イテアル、賣ッタ値段ハ幾ラニナル、差引勘定シテ幾ラノ損ニナルト云フヤウナコトハソコハ技術上カラ分リマス
○國務大臣(後藤文夫君) ソコデ其石當リト云フコトガ私ニハ分リ兼ねル……
○藤原銀次郎君 其説明ヲシテ御話スルノ

ニ簡單ニ分リ易イ爲ニ、私ガ斯ウ云フ工合ニ直シテ申上ゲタノデアリマス
○國務大臣(後藤文夫君) ソレガ此間カラ一ツノ論點デアリ、將來ノ論點ニモナルト思フノデアリマスガ、ソレハ後デ事務ノ方ヲ御伺ヒサセテ、石當リト云フ御計算ハドウシテ御出シニナッタカ、石當リト云フノハ出シ惡イ計算ノ數字ト思ヒマスガ……
○藤原銀次郎君 是ハ私が出シタノデアリマスカラ、若シ間違ヒガアリマシタラ、簿記ノ專門家ガオイデニナッテ居ラレタモノデアリマセウカラ、私ノ方ノ數字ガ間違ッテ居リマシタラ、ソレヲ御指摘ヲ願ヒマススト直グ御分リニナリマス
○國務大臣(後藤文夫君) 數字ノ方ノ御計算ハ御間違ヒナイト思ヒマスガ、今一ツ私ノ疑念ヲ致シタ點ヲ申上ゲテ置イテ、後デ事務ノ方カラ御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、米ノ賣買ヲ商賣的ニヤッテ居ルノト非常ニ行キ方ガ違ッテ居リマス爲ニ、今年何萬石買ヒマシテモ、其米ハ來年モ賣ラズ來年モ賣ラズ、其翌年ニナッテ賣ルヤウナコトガ行ハレテ居リマス、何萬石今年扱ッテソレヲ買ヒ又ハ賣ッテ、其間ニ利益ヲ擧ゲル、損ヲスルト云フヤウナ立前デ運用サレテ居リマセヌカラ、ドウモ石當リト云フヤ

ウナ問題ガ私共ノ考ヘト違テ居リマス、御話ヲ伺フタナラバ後ノ數字ハ又自ラ出テ來ルダラウト思ヒマス

○藤原銀次郎君 政府ノ帳簿方ノ人ト能ク御研究ヲ願ヒマシテ、其上デ更ニ又御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ序デ此件ニ關聯シタコトヲ伺テ置キタイト思ヒマスガ、米穀需給ノ調節特別會計現況ト云フ昭和七年十二月三十一日現在ノ數字ヲ拜見イタシマシタ、此中ニ借入金ト……

ソレカラシテ米穀證券ノ問題ハ、是ハ比較的小サイ問題デアリマスカラ、サウシテ此事情ハ明瞭ニナリマシテ、私ハ違法ト思フシ政府ハ違法ト思ハスト云フヤウナコトデアリマシタカラ、是ハ切迫ノ際ニ議論ハ後廻シニ致シマシテ、斯ウ云フコトニ付テ私ハ敢テ固執イタシマセヌカラ、是ハ私ハ矢張り政府ハ米穀證券ヲ發行シテ米ヲ買ッテ置イテ、其米ヲ賣ツタ時ニ、借入金ノ方ニ入レテ、其方ガ利息ガ安イカラ利益ダカラト云フヤウナコトヲナサルノハ商業道德カラ言フテモ宜クナイ、ソレカラシテ違法ダト斯ウ思フト云フコトヲ申上ゲテ、政府委員カラサウハ思ハスト云フコトニナッテ其儘ハ放任サレテ居リマスカラ、今此際ニ此爭ヒヲ此處デ蒸返スコトハ私ハ好ミマセ

ヌカラ、此問題ハ此儘保留シテ置キマシテ其次ニ伺ヒタイノハ此書類ノ中ニ米穀ト云フモノガ八千三百八十五萬七千八百六十八圓、斯ウ書イテアル、之ヲコチラノ方カラ

一月三十一日ノ調べノ政府所有内地米現在高ト云フノガアリマス、是ガコチラノ金ノ方ノ數字ハ十二月三十一日現在デアッテ、石數ノ方ノ現在ハ一月三十一日調べデアリマスカラチヨット困ルノデアリマスケレドモ、之ヲ引合セル時ニ於テハ私共トシテハ非常ニ困ルノデアリマスガ、若シ此兩方ノ數字ヲ同ジ日附ニシテ置イテ戴ケレバ譯ナク直グニ出來ルコトデアリマスケレドモ、一方ハ十二月三十一日ニナッテ一方ハ一月三十一日ニナッテ居ルカラドウモ……サウシテ一方ハ金デ一方ハ數量デスカラチヨット困ルンデ

スガ、併シ假ニ一月三十一日ニ是ダケノ米ヲ御有チニナッテ居ッタンダカラ十二月三十一日モ矢張り是位ノ米ハ御有チニナッテ居ッタモノト斯ウマア推算シテ、之ヲ勘定シテ見ルト一月三十一日ノ現在ガ二百八十九萬石デスカラ約三百萬石ト見テ、八千三百萬圓ヲ割ッテ見ルト云フト、一石ノ代價ガ二十九圓ニナッテ居ル、政府所有米ノ評價ガ一石二十九圓ニ評價サレテ居ル、今日ノ米價ハ二十圓ソコノモノデヤナイカト思ッテ居

リマスガ、之ヲ二十九圓ト御評價ニナッテ居ルノハドウ云フ譯デゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(荷見安君) ソレハ十二月三十一日現在ノ政府所有高モ分リマスカラ直グ差上ゲマス、サウスルト云フト今迄ノ計算ガチヨット變テ來ルカト思ヒマス、是ハ皆様ニ差上ゲマス

○藤原銀次郎君 ソレデヤドウゾ……ソレヲ拜見シタ上ニ又質問ヲ申上ゲマス

○久米田新太郎君 チヨット政府委員ノ御方ニ伺ヒマスガ、先日此問題ハ私質問ヲ致シタノデアリマスガ、然ルニ御答ニハ一月三十一日現在ノ石數ト現在ノ石數トハ三萬石殖エテ居ルト云フ御答ガアリマシタガ、左様デアリマスカ

○政府委員(荷見安君) チヨットモウ一遍御願ヒシマス

○久米田新太郎君 一月三十一日ノ現在ノ石數ガ出デ居ル、ソレデ勘當テ計算ガ、今藤原サンガ仰シヤッタヤウナ一石當リノ數字ガ出マスカラ左様カト御尋シタ所ガ、ソレハ今日ハ米ガ殖エテ居ル、モウ少シ買ッタ米ガアルカラ三百幾十萬石カ何カニナルンダ、斯ウ云フ御話ヲ聞イテ私ハ此處ヲ立チマシタガ、サウスルト其石當リノ値段ガ

二十七八圓迄落チテ來ル譯デアラウカト思ヒマシテ、今日ハソレヲ御尋シヤウト思ヒマシタガ、矢張り一月三十一日ノ現在高ヲ二百八十萬石ト見テ差支ナイデセウカ

○政府委員(荷見安君) 今差上ゲテ居リマスノハ此前米穀ノ現在高ノ狀況ヲ知ラセロト云フ御話ガアリマシタ、成ルタケ最近ノガ宜イト思ヒマシテ、一月末ノ出デ居ルノヲ差上ゲマシタ、此米穀需給特別會計現況ト云フノハ、是モ最近ノガ宜イト思ヒマシ

テ十二月三十一日ノ差上ゲマシタノデ、之ハ突合ハセル意味ニ於キマシテ差上ゲタノデヤアリマセヌカラ、突合ヒ難イノデアリマス、突合ハセタイト云フ御話デアリマスレバ、此十二月三十一日現在ノ政府所有米現在高ト云フモノヲ過去ニ遡ッテ其當時ノ數字カラ拔出シタモノヲ上ゲレバ一番分リ易イ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ今藤原サンニ申上ゲマシタ、唯現在デハ殖エテ居リマスストアナタニ此前申上ゲタノハ、其後買換ヲ致シマシテ、買換ノ中ノ引渡シノ終ラヌモノガ今アッテ、ソレカラ買入ノ受取リヲシタモノガアル譯デゴザイマスカラ、サウシマススト云フト、政府所有米ハ一月末ヨリハ今三月ノ方ガ殖エル譯ニナリマススト云フ意味合ノ話デ、別ノ話ニナリマス

○久米田新太郎君 アアサウデスカ、尙ホ

ソレデハ私ハ矢張り十二月三十一日ノ此金額ト對照シマスルデスカラ、出來マスレバ其時ノ在米ヲ御知ラセヲ御願ヒシテ置カウト思ヒマス、今日デナクテモ宜シウゴザイマスカラ

○藤原銀次郎君 私モ全然同感デアリマス、ドウカ願クバ總テ突合ハセガ出來ルヤウナ材料ヲ頂戴スルコトガ出來マシタナラバ一番我ミトシテハ拜見スルノニ好都合デアリマス、是ハ値段ノ方ハ十二月三十一日デ、數量ノ方ハ一月卅一日、朝鮮總督府ハ曆年度、コチラノ方ハ米穀年度ト云フヤウナ風ニ、同ジ表ヲ拜見シテモ根幹ガ違フト非常ニ了解ガシニクイノデ、度々質問シタリ、色々應答シテ長イ時間ヲ要シマスカラ、今後ハ出來ルダケ符合スルヤウナ數字ニシテ戴クコトヲ希望シマス、ソレカラマダ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 如何デスカ、モウ四時ニナリマスカラ、今日ハ此程度ニ致シテ、明日午前十時カラ開會イタシマス、今日ハ是デ散會イタシマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君

副委員長 男爵稻田 昌植君
委員

侯爵細川 護立君

子爵梅小路定行君

子爵青木 信光君

内田 重成君

太田 政弘君

男爵伊江 朝助君

阪本鈺之助君

丸山 鶴吉君

松本 眞平君

三橋 彌君

藤原銀次郎君

久米田新太郎君

小林嘉平治君

絲原武太郎君

國務大臣

農林大臣 後藤 文夫君

政府委員

農林省米穀部長 荷見 安君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

昭和八年三月十八日印刷

昭和八年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局